

令和4(2022)年度
学生による授業評価アンケート
分析報告書

令和5年 12月 1日

國學院大學

教育開発推進機構 教育開発センター

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

令和4年度「学生による授業評価アンケート分析報告書」の刊行に寄せて

教育開発推進機構長 石川則夫

教職員の方々におかれましては常日頃から教育開発推進機構・教育開発センターへ多々ご協力、ご支援を賜りまして誠に有難うございます。

令和4（2022）年度の学生による授業評価アンケート分析報告書をお届けいたします。先生方にはご担当授業の成果のひとつともなりますので、ご参照の上、受講生からの授業評価についてご検討いただき、今後の授業運営についてお役立ていただければ幸いです。

さて、新型コロナ禍も既に過去のことと思いがちですが、インフルエンザの流行予測も報道されており、感染症への対策も常日頃からの注意が肝心と思われまます。授業担当の先生方にはご心労いかばかりかと推察申し上げますが、教育開発センターといたしましても事態を注視し、必要な準備は怠りなく努めて行きたいと存じます。

また、この授業アンケートの結果をどう役立てるか、学部学科のカリキュラム運営にどのように活用していけばいいのか、あるいは、現在の学生にはアンケート疲れというように状況が見られるのではないかと等々、様々なご意見も頂戴しているところです。全学的なご意見ご批判をいただきながら、よりよい授業評価の方策も検討して参りたいと思います。どうか学生による授業評価アンケートの実施につきましてご理解を賜りまして、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

目次

令和4年度『学生による授業評価アンケート分析報告書』巻頭言	1
1. 調査の概要	4
1-1 調査目的	5
1-2 調査方法	5
1-3 調査対象科目	5
1-4 調査期間	5
1-5 回答率	5
1-6 回答した学生の内訳	6
1-7 設問項目	7
2. 前期集計結果	8
2-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)[設問 1~14] ※設問 12 は4章で扱うため除外	9
3. 考察(1)設問間のクロス表分析(前期)	19
○授業の実施形態に対する学生の反応について	
1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q13・Q14)	20
2. 課題の量の多さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q9×Q13・Q14)	31
3. 予習・復習・課題にかけた時間が、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q12×Q13・Q14)	32
○学生の達成度・総合満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証	
1. シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできたか(Q3×Q13・Q14)	33
2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q4×Q13・Q14)	34
3. 教員が提供した教材は理解の助けになったか(Q5×Q13・Q14)	35
4. 授業における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q6×Q13・Q14)	36
5. 理解の定着を図る工夫をしていたか(Q7×Q13・Q14)	37
6. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q8×Q13・Q14)	38
7. 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていたか(Q10×Q13・Q14)	39
○授業や関連するテーマへの関心の高まりと諸要素との相関	
授業や関連テーマへの関心の高まりとの相関(Q11×Q2・Q3・Q4・Q5・Q6・Q7・Q8・Q10)	40
4. 考察(2)本学学士課程学生の学修時間の現状(前期)	51
4-1 学士課程全体における学修時間の分布	52
4-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布	53
4-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布	54
4-4 回答学生の所属学部×学年別に見た学修時間の分布	55
4-5 回答学生の学年×所属学科・専攻別に見た学修時間の分布	56
5. 自由記述設問の検討(前期)	60
5-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係	61
5-2 代表的な肯定的意見	62
5-3 消極的意見に見られた頻出語と共起関係	63
5-4 代表的な消極的意見	64

6. 後期集計結果	65
6-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)[設問 1~14] ※設問 12 は8章で扱うため除外	66
7. 考察(1)設問間のクロス表分析(後期)	75
○授業の実施形態に対する学生の反応について	
1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q13・Q14)	76
2. 課題の量の多さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q9×Q13・Q14)	87
3. 予習・復習・課題にかけた時間が、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q12×Q13・Q14)	88
○学生の達成度・総合満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証	
1. シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできたか(Q3×Q13・Q14)	89
2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q4×Q13・Q14)	90
3. 教員が提供した教材は理解の助けになったか(Q5×Q13・Q14)	91
4. 授業における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q6×Q13・Q14)	92
5. 理解の定着を図る工夫をしていたか(Q7×Q13・Q14)	93
6. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q8×Q13・Q14)	94
7. 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていたか(Q10×Q13・Q14)	95
○授業や関連するテーマへの関心の高まりと諸要素との相関	
授業や関連テーマへの関心の高まりとの相関(Q11×Q2・Q3・Q4・Q5・Q6・Q7・Q8・Q10)	96
8. 考察(2)本学学士課程学生の学修時間の現状(後期)	107
8-1 学士課程全体における学修時間の分布	108
8-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布	109
8-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布	110
8-4 回答学生の所属学部×学年別に見た学修時間の分布	111
8-5 回答学生の学年×所属学科・専攻別に見た学修時間の分布	112
9. 自由記述設問の検討(後期)	116
9-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係	117
9-2 代表的な肯定的意見	118
9-3 消極的意見に見られた頻出語と共起関係	119
9-4 代表的な消極的意見	120
10. 教員ベスト30(専任・兼任教員) ～到達目標達成度・総合満足度に基づく～	121
11. 全体総括(まとめ)	124
資料編	133
集計データ	134
奥付	150

調査の概要

1-1 調査目的

「学生による授業評価アンケート」は、本学学生の授業に対する取り組みの実態を把握し、授業改善の基礎資料とすること、さらには基礎資料の活用により教員に自らの授業運営を振り返る機会を提供することで、学修効果を改善させ、本学学士課程教育の質保証を達成することを目的とする。

1-2 調査方法

- 本学の学生支援システムであるK-SMAPY IIを用いて、WEB上で実施。
- K-SMAPY IIでの実施に伴い配慮すべき学生に関する個人情報の管理については、教育開発センター委員会での協議に従い、細心の注意を払う体制を構築する。

1-3 調査対象科目

原則、全授業科目を対象とするが、下記の授業科目については調査・分析対象から除外した。

- 履修登録者数10名以下の科目
- 実習、卒業論文、認定科目(時間割上に配置されていない科目)
- その他、サマーセッション等の集中講義科目

1-4 調査期間

前期： 令和4年 7月 8日(金) ～ 令和4年 7月29日(金)

後期： 令和4年12月19日(月) ～ 令和5年 1月23日(月)

1-5 回答率

前期回答件数	21,143件	後期回答件数	13,305件
前期対象件数	96,374件	後期対象件数	87,924件
前期回答率	21.9%	後期回答率	15.1%

1-6 回答した学生の内訳

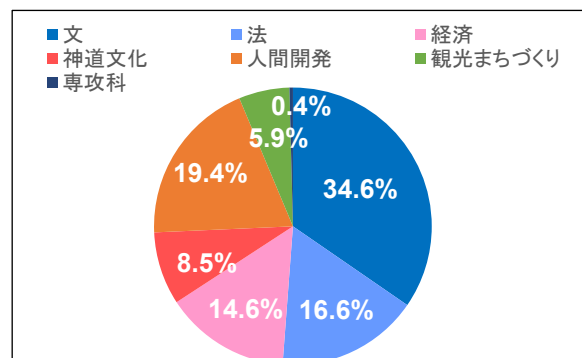
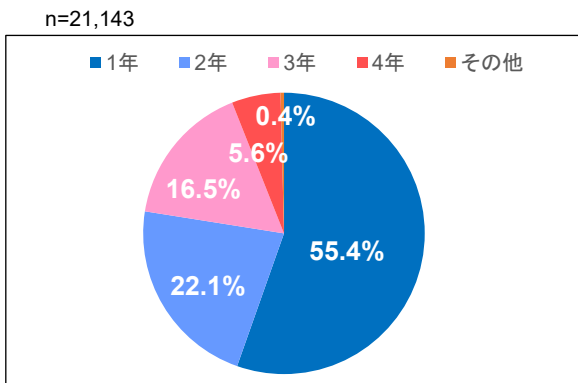
【前期】

回答した学生の学年

1年生	11,716件
2年生	4,666件
3年生	3,491件
4年生	1,180件
その他(科目等履修生、単位互換生等)	90件

回答した学生の所属学部

文学部	7,312件
法学部	3,506件
経済学部	3,094件
神道文化学部	1,791件
人間開発学部	4,101件
観光まちづくり学部	1,249件
専攻科	90件



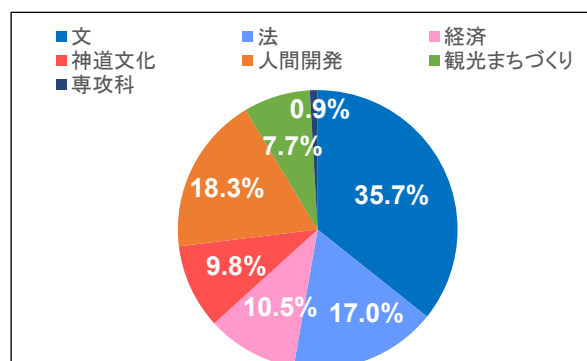
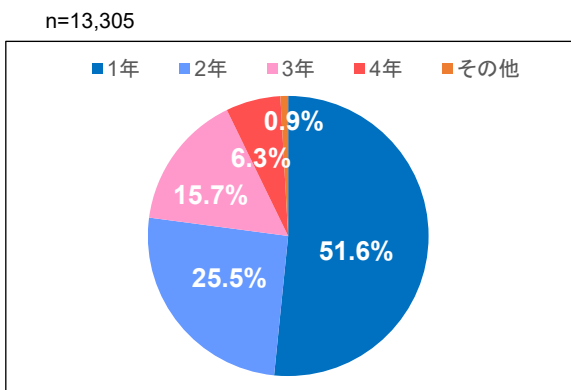
【後期】

回答した学生の学年

1年生	6,869件
2年生	3,395件
3年生	2,087件
4年生	832件
その他(科目等履修生、単位互換生等)	122件

回答した学生の所属学部

文学部	4,750件
法学部	2,262件
経済学部	1,402件
神道文化学部	1,308件
人間開発学部	2,430件
観光まちづくり学部	1,031件
専攻科	122件



※注記: 回答した学生の所属学部について

「専攻科」(神道学専攻科)生は本報告書での集計対象外であるが、神道文化学部の授業を合同で受講してアンケートに回答した者については、当該授業の回答者にカウントして集計・分析の対象としている。

1-7 設問項目

■令和4年度「学生による授業評価アンケート」設問項目一覧(前期・後期共通)

No.	設問	形式	選択肢・入力欄
1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	単一選択	対面授業・ハイフレックス授業・ブレンド授業・ライブ授業・オンデマンド授業
2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	4件法	そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない
3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	4件法	そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない
4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	4件法	そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない
5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	4件法	そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない
6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	4件法	そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない
7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	4件法	そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない
8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	4件法	そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない
9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	単一選択	多すぎる・やや多い・ちょうどよい・やや少ない・少なすぎる
10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められましたか。	4件法	そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない
11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	4件法	そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない
12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか(およその感覚で構いません)。	単一選択	学修時間ゼロ・30分未満・30～60分未満・60～90分未満・90～120分未満・120分～150分未満・150～180分未満・180～240分未満・240分以上
13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	4件法	そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない
14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	4件法	そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない
15	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。(400字以内)	自由記述	※全角400字
16	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。(400字以内)	自由記述	※全角400字

2. 前期集計結果

2-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)

Q1 この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。

■ 対面授業 ■ ハイフレックス授業 ■ ブレンド授業 ■ ライブ授業 ■ オンデマンド授業

	n=	(%)				
学士課程全体	21,143	69.5	2.1	4.4	2.0	22.1
共通教育科目	6,606	80.3	0.7	1.8	0.6	16.6
専門教育科目	13,465	65.0	2.9	5.4	2.0	24.7
文学部(専門)	4,289	62.9	1.3	2.5	1.0	32.3
法学部(専門)	2,255	57.1	2.6	1.2	5.1	34.0
経済学部(専門)	1,793	57.3	8.8	1.6	0.7	31.6
神道文化学部(専門)	1,305	61.9	0.7	14.2	2.1	21.1
人間開発学部(専門)	3,184	77.9	3.1	11.4	2.3	5.3
観光まちづくり学部(専門)	639	71.4	0.9	2.2	0.2	25.4
教職・資格課程科目	982	56.0	0.7	7.0	11.6	24.6

Q2 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	21,143	62.4	29.4	5.9	2.3
共通教育科目	6,606	58.3	30.5	7.7	3.4
専門教育科目	13,465	63.9	29.0	5.1	1.9
文学部(専門)	4,289	73.6	21.6	2.9	2.0
法学部(専門)	2,255	68.8	25.8	3.3	2.0
経済学部(専門)	1,793	57.2	33.3	7.3	2.2
神道文化学部(専門)	1,305	67.0	28.7	3.0	1.2
人間開発学部(専門)	3,184	49.2	40.0	9.1	1.8
観光まちづくり学部(専門)	639	67.8	24.7	5.5	2.0
教職・資格課程科目	982	65.9	28.8	4.3	1.0

Q3 シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	n (%)			
学士課程全体	21,143	57.1	35.3	5.7	1.9
共通教育科目	6,606	53.8	36.6	7.2	2.4
専門教育科目	13,465	58.5	34.7	5.1	1.7
文学部（専門）	4,289	64.5	30.6	3.4	1.5
法学部（専門）	2,255	60.2	33.1	3.8	2.9
経済学部（専門）	1,793	53.8	37.5	6.5	2.2
神道文化学部（専門）	1,305	60.2	35.8	3.6	0.5
人間開発学部（専門）	3,184	50.5	40.1	8.1	1.3
観光まちづくり学部（専門）	639	62.0	29.7	6.1	2.2
教職・資格課程科目	982	58.5	35.5	4.9	1.1

Q4 教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	n (%)			
学士課程全体	21,143	71.0	24.0	3.8	1.2
共通教育科目	6,606	72.5	22.8	3.6	1.2
専門教育科目	13,465	70.4	24.5	3.9	1.2
文学部（専門）	4,289	73.0	22.5	3.4	1.2
法学部（専門）	2,255	70.2	23.5	4.4	1.9
経済学部（専門）	1,793	65.2	27.6	5.5	1.7
神道文化学部（専門）	1,305	74.4	23.6	1.7	0.3
人間開発学部（専門）	3,184	67.4	27.2	4.2	1.2
観光まちづくり学部（専門）	639	74.3	21.0	3.9	0.8
教職・資格課程科目	982	70.2	24.9	4.3	0.6

Q5 教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	21,143	69.4	23.9	4.7	2.0
共通教育科目	6,606	66.8	25.7	5.3	2.3
専門教育科目	13,465	70.3	23.2	4.5	2.0
文学部 (専門)	4,289	72.0	22.6	4.1	1.3
法学部 (専門)	2,255	70.0	21.7	5.1	3.3
経済学部 (専門)	1,793	64.3	26.9	5.9	2.9
神道文化学部 (専門)	1,305	75.3	20.0		0.8
人間開発学部 (専門)	3,184	69.3	24.2	4.6	1.9
観光まちづくり学部 (専門)	639	72.3	23.0	3.4	1.3
教職・資格課程科目	982	72.1	22.2	3.9	1.8

Q6 授業における教員の説明はわかりやすかったですか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	21,143	64.2	27.3	5.9	2.6
共通教育科目	6,606	64.6	26.8	6.3	2.3
専門教育科目	13,465	63.8	27.6	5.9	2.7
文学部 (専門)	4,289	67.4	25.5	5.2	1.9
法学部 (専門)	2,255	60.8	29.4	6.0	3.8
経済学部 (専門)	1,793	56.8	31.8	7.0	4.4
神道文化学部 (専門)	1,305	69.5	24.0	4.7	1.8
人間開発学部 (専門)	3,184	63.2	28.1	6.2	2.5
観光まちづくり学部 (専門)	639	61.8	29.4	6.9	1.9
教職・資格課程科目	982	65.6	26.4	5.0	3.1

Q7 教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	21,143	61.9	29.7	6.2	2.1
共通教育科目	6,606	63.7	28.5	5.8	2.0
専門教育科目	13,465	61.0	30.3	6.5	2.2
文学部（専門）	4,289	62.8	29.2	6.4	1.6
法学部（専門）	2,255	59.5	31.2	5.8	3.5
経済学部（専門）	1,793	54.2	34.8	7.7	3.3
神道文化学部（専門）	1,305	65.4	27.7	5.6	1.3
人間開発学部（専門）	3,184	61.5	29.4	6.9	2.2
観光まちづくり学部（専門）	639	62.4	31.1	5.5	0.9
教職・資格課程科目	982	60.6	31.0	6.4	2.0

Q8 教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	21,143	61.2	27.2	8.6	3.0
共通教育科目	6,606	61.9	27.6	7.8	2.8
専門教育科目	13,465	60.9	27.0	8.9	3.2
文学部（専門）	4,289	64.8	23.8	8.3	3.1
法学部（専門）	2,255	56.9	28.7	9.7	4.6
経済学部（専門）	1,793	52.9	31.1	11.0	5.0
神道文化学部（専門）	1,305	61.9	26.6	9.7	1.8
人間開発学部（専門）	3,184	61.2	28.2	8.2	2.4
観光まちづくり学部（専門）	639	66.5	25.7	6.4	1.4
教職・資格課程科目	982	60.6	27.7	9.2	2.5

Q9 この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。

■ 多すぎる ■ やや多い ■ ちょうどよい ■ やや少ない ■ 少なすぎる

	n=	(%)				
学士課程全体	21,143	6.4	14.4	76.4	2.2	0.7
共通教育科目	6,606	6.1	14.5	77.1	1.7	0.6
専門教育科目	13,465	6.5	14.4	75.8	2.4	0.8
文学部（専門）	4,289	4.8	10.6	80.9	3.0	0.7
法学部（専門）	2,255	8.1	14.9	72.6	2.7	1.3
経済学部（専門）	1,793	8.1	18.5	69.5	3.0	0.9
神道文化学部（専門）	1,305	4.9	8.7	82.8	2.8	0.8
人間開発学部（専門）	3,184	8.1	20.3	70.2	1.1	0.4
観光まちづくり学部（専門）	639	4.1	9.4	84.8	1.7	0.0
教職・資格課程科目	982	6.0	14.6	77.5	1.7	0.2

Q10 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	21,143	68.7	27.6	2.8	0.9
共通教育科目	6,606	67.8	28.2	3.1	0.9
専門教育科目	13,465	69.1	27.2	2.7	0.9
文学部（専門）	4,289	72.2	24.9	2.3	0.7
法学部（専門）	2,255	68.7	26.9	2.7	1.7
経済学部（専門）	1,793	61.9	32.5	4.2	1.5
神道文化学部（専門）	1,305	75.2	23.1	1.4	0.3
人間開発学部（専門）	3,184	66.3	30.2	2.9	0.7
観光まちづくり学部（専門）	639	71.5	23.6	3.9	0.9
教職・資格課程科目	982	67.6	29.3	2.4	0.6

Q11 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	n= (%)			
学士課程全体	21,143	60.1	31.0	6.0	2.9
共通教育科目	6,606	56.0	32.8	7.7	3.5
専門教育科目	13,465	61.8	30.3	5.3	2.6
文学部（専門）	4,289	64.7	28.0	4.8	2.4
法学部（専門）	2,255	58.6	31.6	5.5	4.3
経済学部（専門）	1,793	54.0	35.4	7.0	3.6
神道文化学部（専門）	1,305	65.8	28.9	3.8	1.5
人間開発学部（専門）	3,184	62.9	30.4	5.2	1.5
観光まちづくり学部（専門）	639	61.5	28.0	7.0	3.4
教職・資格課程科目	982	62.5	31.0	4.3	2.2

Q13 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	n= (%)			
学士課程全体	21,143	43.3	47.6	7.0	2.0
共通教育科目	6,606	43.6	46.9	7.2	2.3
専門教育科目	13,465	43.3	47.7	7.1	1.9
文学部（専門）	4,289	41.5	49.7	7.0	1.8
法学部（専門）	2,255	43.5	45.3	8.2	3.0
経済学部（専門）	1,793	41.9	45.8	9.7	2.6
神道文化学部（専門）	1,305	43.3	48.0	7.3	1.4
人間開発学部（専門）	3,184	45.4	48.9	4.7	1.0
観光まちづくり学部（専門）	639	47.7	41.3	7.8	3.1
教職・資格課程科目	982	44.1	49.2	5.4	1.3

Q14 あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	21,143	66.2	26.2	4.7	2.9
共通教育科目	6,606	64.8	26.6	5.4	3.2
専門教育科目	13,465	66.6	26.1	4.5	2.9
文学部（専門）	4,289	69.5	23.8	4.2	2.5
法学部（専門）	2,255	63.5	27.3	4.7	4.4
経済学部（専門）	1,793	59.0	30.9	6.0	4.2
神道文化学部（専門）	1,305	69.2	25.8	3.6	1.4
人間開発学部（専門）	3,184	68.2	25.7	4.0	2.2
観光まちづくり学部（専門）	639	66.0	26.3	5.5	2.2
教職・資格課程科目	982	67.3	26.3	4.0	2.4

● 集計結果の総評

- 本学の授業評価アンケートは、全部で16の設問から成り立っています。
- 設問の構成は、大別して2つに区分できます。Q1とQ3～Q10が「教員の授業運営について尋ねた設問」で、それ以外の設問が「授業を受講した学生の意識について尋ねた設問」となっています。
- それぞれの設問について、授業科目の区分に従い、3つの区分で回答を集計しました。集計区分は、(1)学士課程全体(全回答)、(2)共通教育科目と専門教育科目と教職・資格課程科目、(3)学部別にみた専門教育科目、です。以下で各設問の結果をまとめます。
- Q1は、「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」です。学士課程全体では69.5%が対面授業で、オンデマンド授業が22.1%でした。共通教育科目や人間開発学部の専門教育科目では対面授業の割合が8割前後と全体に比べ高い一方、法学部と経済学部の専門教育科目、および教職・資格課程科目では対面授業の割合が6割未満となっています。
- Q2は、「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」です。肯定回答(「そう思う」と「ややそう思う」の合計。以下、同様の記述)の割合は学士課程全体で91.8%でした。なお、共通教育科目と人間開発学部の専門教育科目では、肯定回答が9割に届きませんでした。
- Q3は、「シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で92.4%でした。学部別に肯定回答を見ると、文学部(95.1%)や神道文化学部(96.0%)の専門教育科目が他の学部にならべて高くなっています。
- Q4は「教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか」です。肯定回答は、全ての集計区分で9割を超えており、学士課程全体では95.0%でした。特に、神道文化学部の専門教育科目では肯定回答の割合が98.0%と非常に高くなっています。
- Q5は、「教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか」です。Q4と同様に、全ての集計区分で肯定回答が9割を超えており、学士課程全体では93.3%でした。

- Q6は、「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.5%でした。なお、経済学部の特設教育科目のみ肯定回答の割合が9割に届きませんでした。
- Q7は、「教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか」です。学士課程全体の肯定回答の割合は91.6%でした。Q6と同様に、経済学部の特設教育科目のみ肯定回答が9割に届きませんでした。
- Q8は、「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で88.4%でした。学部別に肯定回答を見ると、観光まちづくり学部(92.2%)の特設教育科目のみ9割を超え、他の学部に比べ高くなっています。一方、経済学部の特設教育科目は、84.0%と他の学部に比べやや低くなっています。
- Q9は、「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は適切な分量だったと思いますか」です。「ちょうどよい」の回答は、学士課程全体で76.4%でした。学部別では文学部、神道文化学部、観光まちづくり学部の特設教育科目で「ちょうどよい」の回答割合が8割を上回っています。
- Q10は、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で96.3%でした。Q4と同様に、全ての集計区分の中で、神道文化学部の特設教育科目が肯定回答の割合が98.3%と非常に高くなっています。
- Q11は、「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.1%でした。なお、共通教育科目、および経済学部、観光まちづくり学部の特設教育科目では、肯定回答が9割に届きませんでした。
- Q13は、「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で90.9%でした。なお、他の設問では多くの集計区分で「そう思う」割合が6~7割となっていますが、Q13のみ全ての集計区分で「そう思う」割合が5割に届きませんでした。
- Q14は、「あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で92.4%でした。学部別に肯定割合を見ると、神道文化学部(95.0%)の特設教育科目が他の学部に比べやや高くなっています。

- 以上、各設問について集計結果から明らかになったことを簡潔に整理しました。令和4年度前期の授業評価アンケートの集計結果によれば、本学の授業は概ね肯定回答が多くを占める傾向でした。
- 概ね肯定回答の割合が高い中で、Q8「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」は、観光まちづくり学部の専門教育科目を除く全ての集計区分において、消極的な回答(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計)が10%以上でした。

3. 考察(1)設問間のクロス表分析(前期)

3-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q13・Q14)

【全体】

- 下の図は、学士課程全体の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、91.1%が到達目標を達成したと認識し、92.5%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態では、ライブ授業やオンデマンド授業の場合、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、対面・遠隔を問わず、それぞれの授業形態のメリットを活かしていくことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	14,686	91.1	8.9
		92.5	7.5
ハイフレックス授業	438	83.1	16.9
		86.8	13.2
ブレンド授業	929	87.1	12.9
		89.1	10.9
ライブ授業	425	92.2	7.8
		92.0	8.0
オンデマンド授業	4,665	92.0	8.0
		93.1	6.9

【文学部】

- 下の図は、文学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、91.0%が到達目標を達成したと認識し、92.6%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態では、ライブ授業やオンデマンド授業の場合、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、対面・遠隔を問わず、それぞれの授業形態のメリットを活かしていくことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	4,954	91.0	9.0
		92.6	7.4
ハイフレックス授業	80	83.8	16.3
		90.0	10.0
ブレンド授業	236	80.9	19.1
		84.3	15.7
ライブ授業	142	97.2	2.8
		95.8	4.2
オンデマンド授業	1,900	91.5	8.5
		93.7	6.3

【法学部】

- 下の図は、法学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、89.0%が到達目標を達成したと認識し、91.5%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、受講者が多いオンデマンド授業では、約9割が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	2,292	89.0	11.0
		91.5	8.5
ハイフレックス授業	66	93.9	6.1
		95.5	4.5
ブレンド授業	38	81.6	18.4
		81.6	18.4
ライブ授業	123	87.0	13.0
		88.6	11.4
オンデマンド授業	987	90.1	9.9
		89.3	10.7

【経済学部】

- 下の図は、経済学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、89.1%が到達目標を達成したと認識し、90.4%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態では、オンデマンド授業の場合、到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答した割合は94～95%と非常に高くなっています。
- 上記のことから、対面・遠隔を問わず、それぞれの授業形態のメリットを活かしていくことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	2,199	89.1	10.9
		90.4	9.6
ハイフレックス授業	169	74.6	25.4
		78.7	21.3
ブレンド授業	36	80.6	19.4
		86.1	13.9
ライブ授業	23	82.6	17.4
		91.3	8.7
オンデマンド授業	667	94.2	5.8
		94.8	5.2

【神道文化学部】

- 下の図は、神道文化学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、89.2%が到達目標を達成したと認識し、94.0%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、受講者が比較的多いブレンド授業やオンデマンド授業では9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	1,119	89.2	10.8
		94.0	6.0
ハイフレックス授業	13	76.9	23.1
		92.3	7.7
ブレンド授業	198	90.4	9.6
		93.9	6.1
ライブ授業	39	89.7	10.3
		94.9	5.1
オンデマンド授業	422	95.0	5.0
		95.7	4.3

【人間開発学部】

- 下の図は、人間開発学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、95.2%が到達目標を達成したと認識し、94.9%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	3,112	95.2	4.8
		94.9	5.1
ハイフレックス授業	100	92.0	8.0
		93.0	7.0
ブレンド授業	375	90.9	9.1
		90.4	9.6
ライブ授業	89	94.4	5.6
		88.8	11.2
オンデマンド授業	425	92.5	7.5
		93.2	6.8

【観光まちづくり学部】

- 下の図は、観光まちづくり学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、89.4%が到達目標を達成したと認識し、89.0%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態では、受講者が多いオンデマンド授業の場合、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	n (%)	
対面授業	934	89.4	10.6
		89.0	11.0
ハイフレックス授業	10	70.0	30.0
		70.0	30.0
ブレンド授業	34	76.5	23.5
		88.2	11.8
ライブ授業	7	100.0	0.0
		100.0	0.0
オンデマンド授業	264	92.0	8.0
		93.6	6.4

【1年生】

- 下の図は、1年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、91.2%が到達目標を達成したと認識し、92.4%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、オンデマンド授業では9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、対面・遠隔を問わず、それぞれの授業形態のメリットを活かしていくことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	9,001	91.2	8.8
		92.4	7.6
ハイフレックス授業	296	83.1	16.9
		87.5	12.5
ブレンド授業	573	87.1	12.9
		91.1	8.9
ライブ授業	196	91.3	8.7
		89.8	10.2
オンデマンド授業	1,650	93.0	7.0
		94.6	5.4

【2年生】

- 下の図は、2年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、89.5%が到達目標を達成したと認識し、91.3%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態では、ライブ授業やオンデマンド授業の場合、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、対面・遠隔を問わず、それぞれの授業形態のメリットを活かしていくことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	89.5		10.5	
		91.3		8.7	
対面授業	2,782	89.5		10.5	
		91.3		8.7	
ハイフレックス授業	54	83.3		16.7	
		85.2		14.8	
ブレンド授業	235	85.1		14.9	
		82.1		17.9	
ライブ授業	103	91.3		8.7	
		93.2		6.8	
オンデマンド授業	1,492	91.0		9.0	
		92.3		7.7	

【3年生】

- 下の図は、3年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、92.0%が到達目標を達成したと認識し、93.4%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、受講者の多いオンデマンド授業では、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	n (%)	
対面授業	2,244	92.0	8.0
		93.4	6.6
ハイフレックス授業	72	84.7	15.3
		86.1	13.9
ブレンド授業	80	91.3	8.8
		91.3	8.8
ライブ授業	99	94.9	5.1
		92.9	7.1
オンデマンド授業	966	91.4	8.6
		91.1	8.9

【4年生】

- 下の図は、4年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、91.9%が到達目標を達成したと認識し、96.1%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態では、受講者の多いオンデマンド授業では、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	583	91.9	8.1
		96.1	3.9
ハイフレックス授業	16	75.0	25.0
		81.3	18.8
ブレンド授業	29	86.2	13.8
		96.6	3.4
ライブ授業	25	92.0	8.0
		100.0	0.0
オンデマンド授業	527	93.2	6.8
		94.1	5.9

3-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

2. 課題の量の多さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q9×Q13・Q14)

- 下の図は、Q9「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「ちょうどよい」と回答した場合には、92.4%が到達目標を達成したと認識、94.6%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合には、前者は80.7%、後者は78.3%となっています。
- 上記のことから、課題の量が適切であれば、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ちょうどよい	16,148	92.4	7.6
		94.6	5.4
やや多い、やや少ない	3,496	88.7	11.3
		88.0	12.0
多すぎる、少なすぎる	1,499	80.7	19.3
		78.3	21.7

3-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

3. 予復習・課題にかけた時間が、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響 (Q12×Q13・Q14)

- 下の図は、Q12「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「学修無し」と回答した場合には、17.1%が到達目標を達成していないと認識、15.2%がこの授業を履修して良かったと感じなかったと答えています。また、「120分以上」の回答においても、前者が12.3%、後者は13.5%と、120分未満の「学修あり」に比べ否定回答が多くなっています。
- 上記のことから、あまり負担にならない程度で予習・復習・課題にかけた時間と、学生の到達目標の達成度や授業の満足度には関連があると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	n (%)	
学修無し	1,851	82.9	17.1
		84.8	15.2
30分未満	6,272	90.6	9.4
		92.8	7.2
30分以上～60分未満	7,638	93.3	6.7
		94.2	5.8
60分以上～90分未満	3,344	91.7	8.3
		93.3	6.7
90分以上～120分未満	1,192	90.6	9.4
		91.0	9.0
120分以上	846	87.7	12.3
		86.5	13.5

3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

1. シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできたか(Q3×Q13・Q14)

- 下の図は、Q3「シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできた」と回答した場合には、93.5%が到達目標を達成したと認識、94.8%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「授業の目的・内容・課題などについてイメージできなかった」と回答した場合には、前者は60.7%、後者は62.6%にとどまります。
- 上記のことから、授業の目的・内容・課題などについて学生が十分にイメージできるようシラバスを作成することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

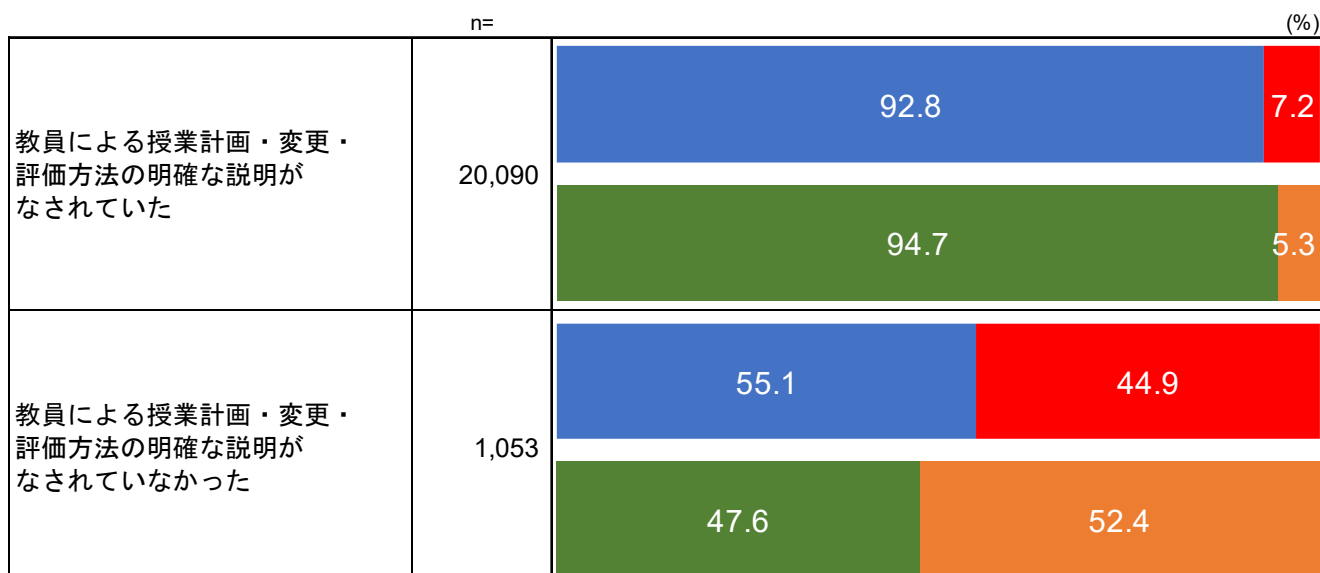
	n=	n (%)	
シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできた	19,531	93.5	6.5
		94.8	5.2
シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできなかった	1,612	60.7	39.3
		62.6	37.4

3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q4×Q13・Q14)

- 下の図は、Q4「教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていた」と回答した場合には、92.8%が到達目標を達成したと認識、94.7%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「明確な説明がなされていなかった」と回答した場合には、前者は55.1%、後者は47.6%にとどまりません。
- 上記のことから、教員が授業計画・変更・評価方法の明確な説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

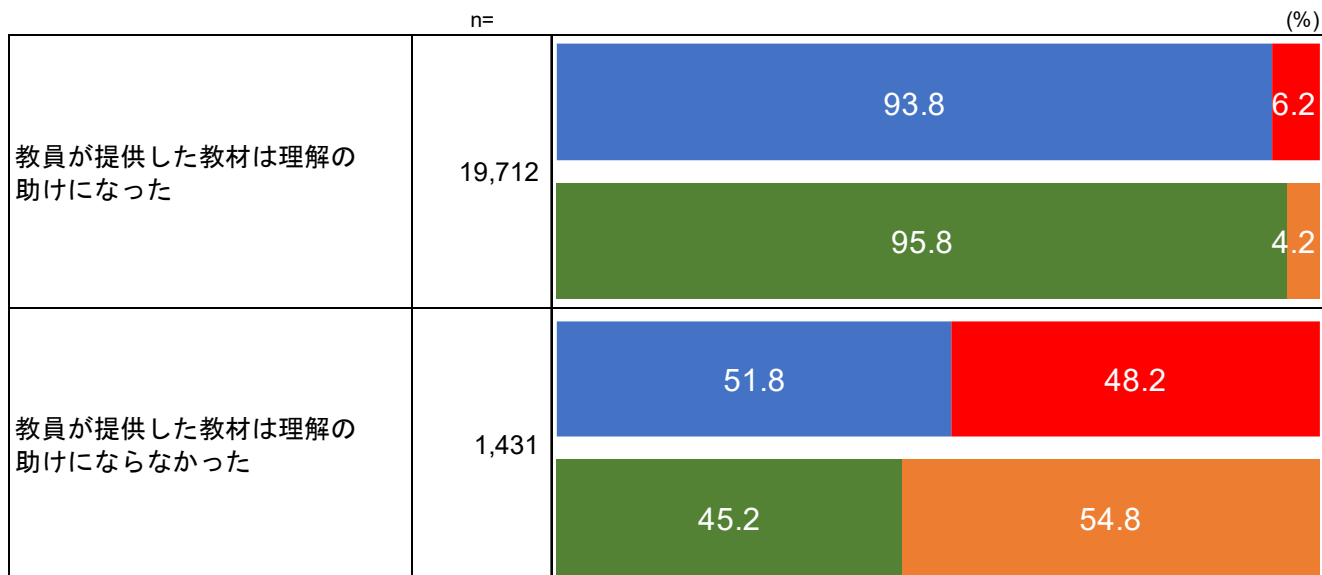


3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

3. 教員が提供した教材は理解の助けになったか(Q5×Q13・Q14)

- 下の図は、Q5「教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員が提供した教材は理解の助けになった」と回答した場合には、93.8%が到達目標を達成したと認識、95.8%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「教材は理解の助けにならなかった」と回答した場合には、前者は51.8%、後者は45.2%にとどまります。
- 上記のことから、理解の助けになる教材を提供することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

4. 授業における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q6×Q13・Q14)

- 下の図は、Q6「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「授業における教員の説明はわかりやすかった」と回答した場合には、94.6%が到達目標を達成したと認識、96.9%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「教員の説明はわかりやすくなかった」と回答した場合には、前者は51.8%、後者は43.5%にとどまります。
- 上記のことから、教員が授業でわかりやすい説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

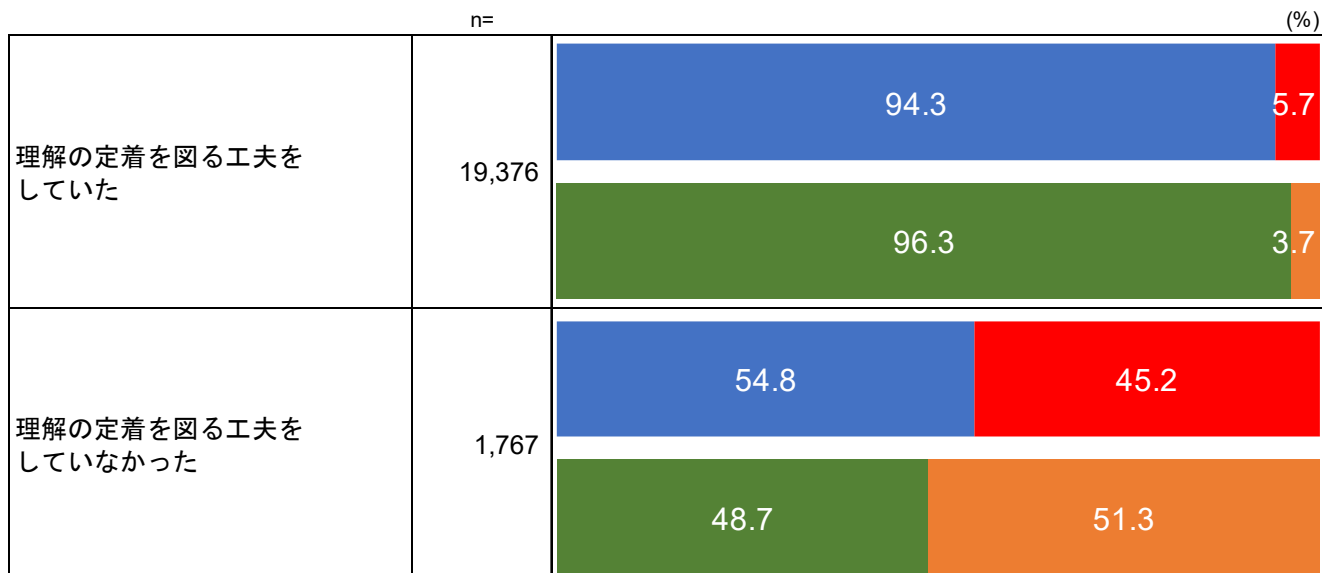
	n=	n (%)	
授業における教員の説明はわかりやすかった	19,351	94.6	5.4
		96.9	3.1
授業における教員の説明はわかりやすくなかった	1,792	51.8	48.2
		43.5	56.5

3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

5. 理解の定着を図る工夫をしていたか(Q7×Q13・Q14)

- 下の図は、Q7「教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「理解の定着を図る工夫をしていた」と回答した場合には、94.3%が到達目標を達成したと認識、96.3%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「理解の定着を図る工夫をしていなかった」と回答した場合には、前者は54.8%、後者は48.7%にとどまります。
- 上記のことから、課題や小テストなどによって理解の定着を図る工夫をすることにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

6. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q8×Q13・Q14)

- 下の図は、Q8「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「対話・フィードバックが積極的になされていた」と回答した場合には、94.1%が到達目標を達成したと認識、95.9%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「積極的になされていなかった」と回答した場合には、前者は67.5%、後者は65.3%にとどまります。
- 上記のことから、教員が対話・フィードバックを積極的に行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

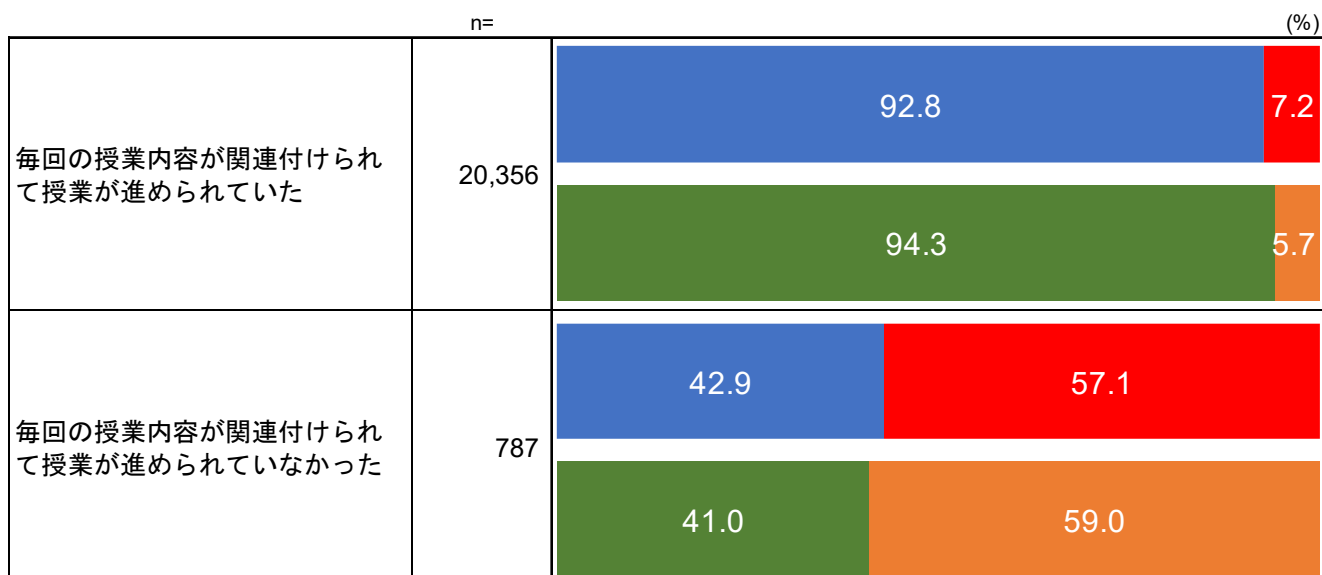
	n=	n (%)	
対話・フィードバックが積極的になされていた	18,685	94.1	5.9
		95.9	4.1
対話・フィードバックが積極的になされていなかった	2,458	67.5	32.5
		65.3	34.7

3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

7. 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていたか(Q10×Q13・Q14)

- 下の図は、Q10「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていた」と回答した場合には、92.8%が到達目標を達成したと認識、94.3%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「関連付けられて授業が進められていなかった」と回答した場合には、前者は42.9%、後者は41.0%にとどまります。
- 上記のことから、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった



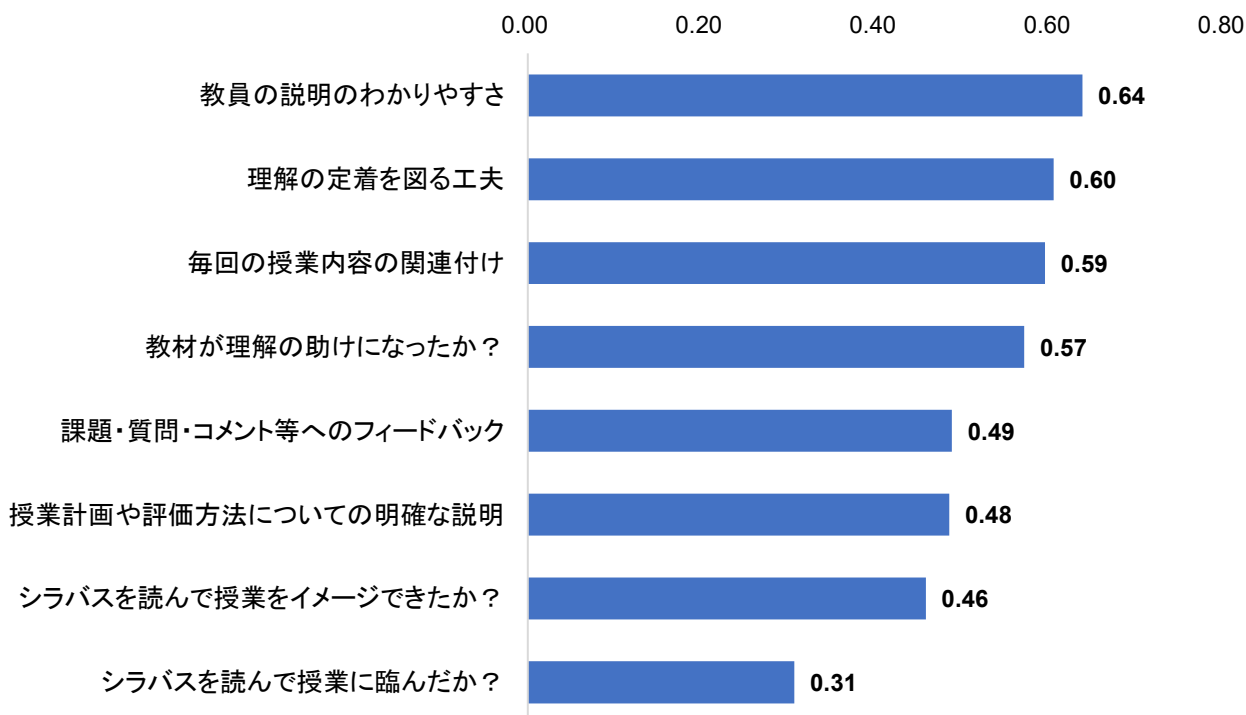
3-3 授業や関連するテーマへの関心の高まりと諸要素との相関

授業や関連テーマへの関心の高まりとの相関(Q11×Q2・Q3・Q4・Q5・Q6・Q7・Q8・Q10)

【全体】

- 下の図は、学士課程全体の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

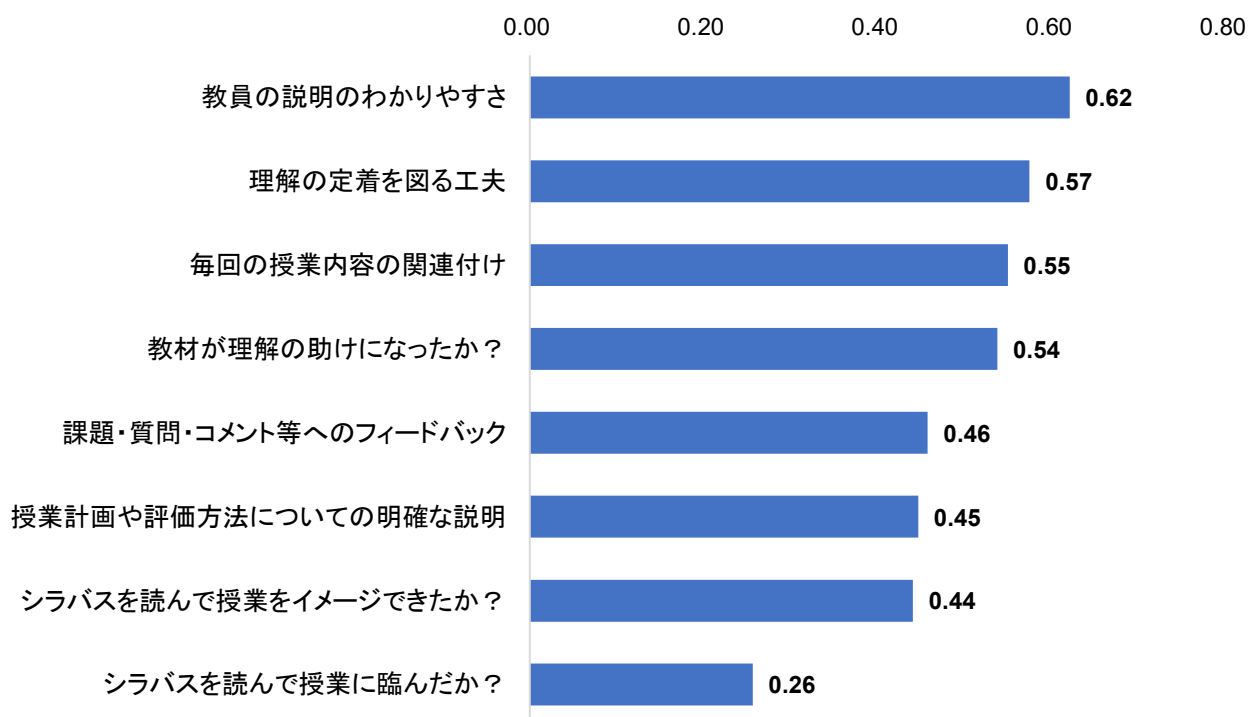
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【文学部】

- 下の図は、文学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

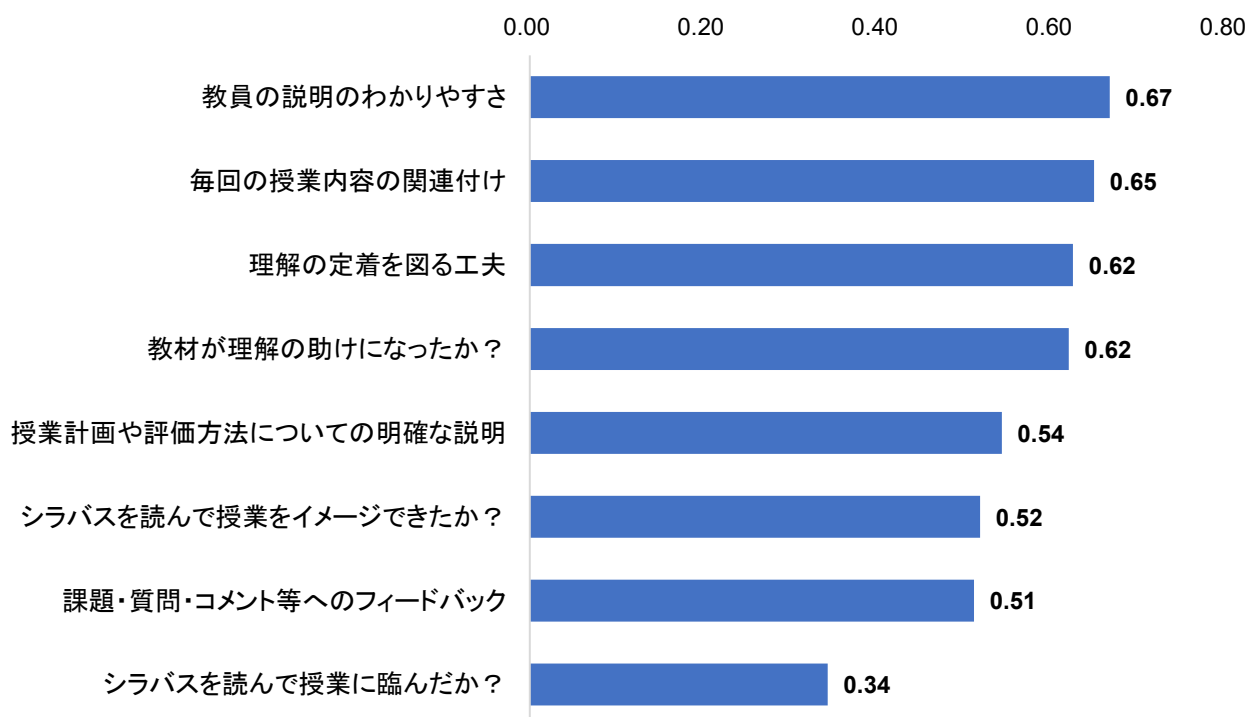
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【法学部】

- 下の図は、法学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「毎回の授業内容の関連付け」「理解の定着を図る工夫」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

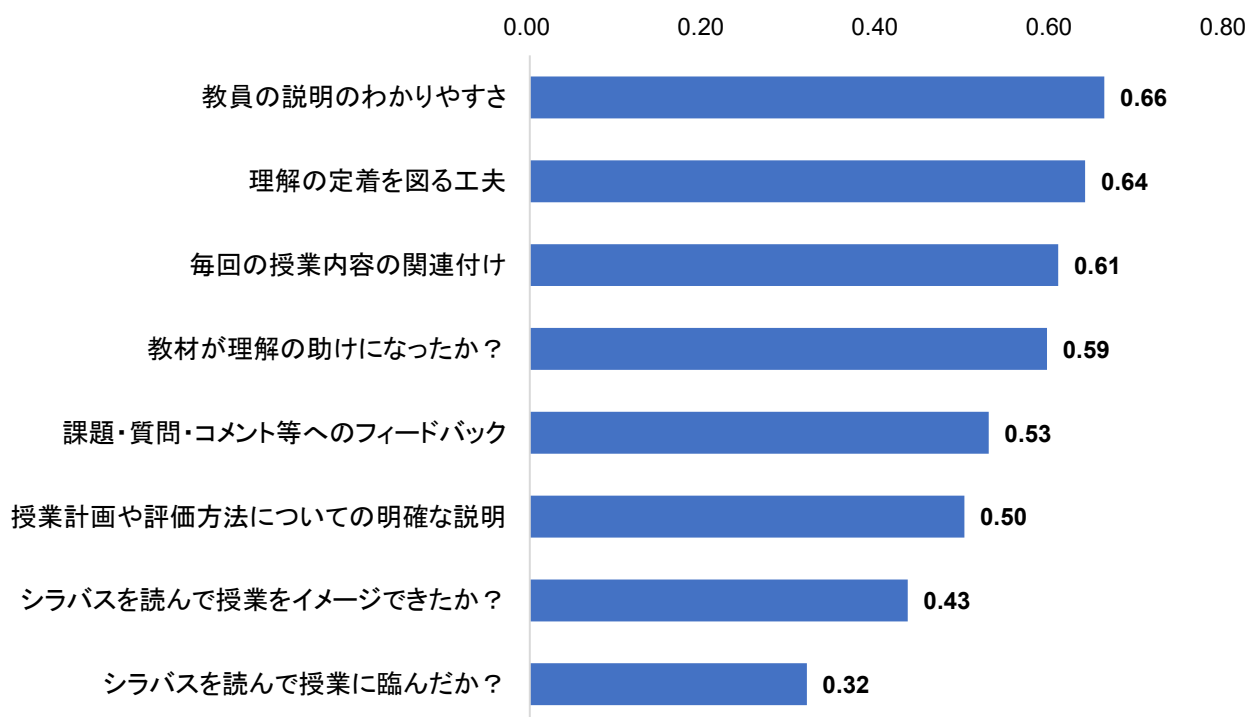
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【経済学部】

- 下の図は、経済学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

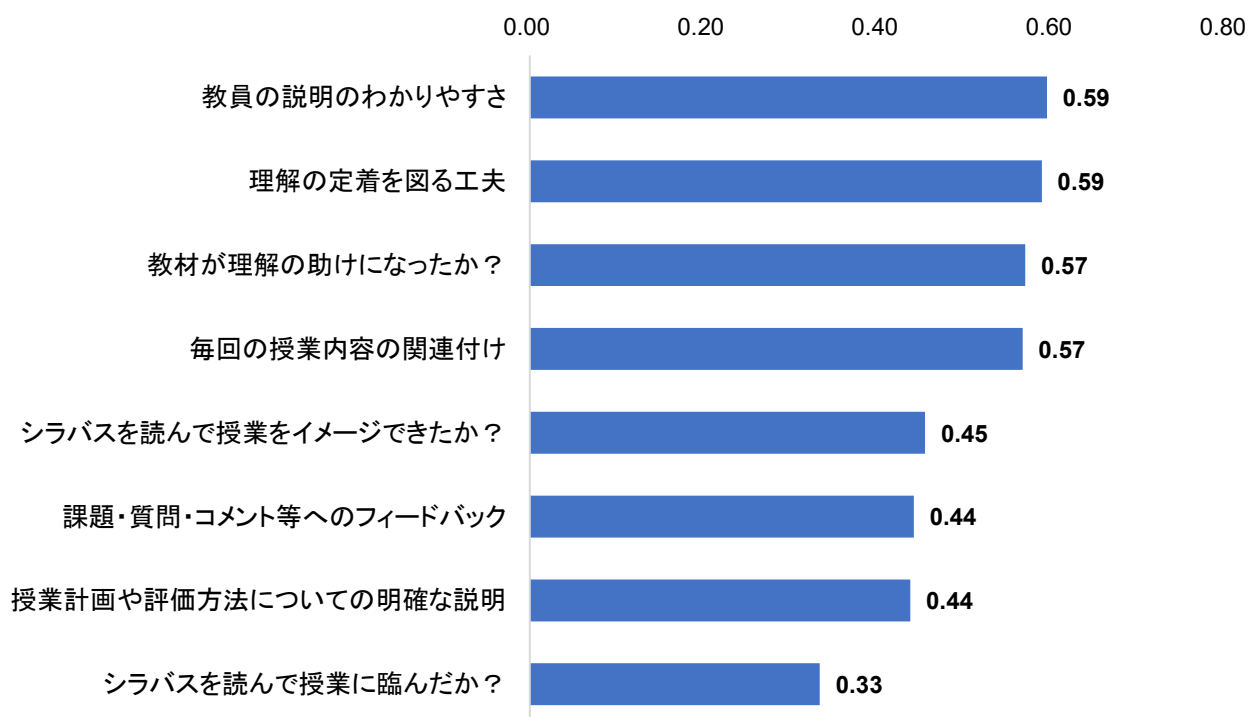
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【神道文化学部】

- 下の図は、神道文化学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「教材が理解の助けになったか?」「毎回の授業内容の関連付け」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

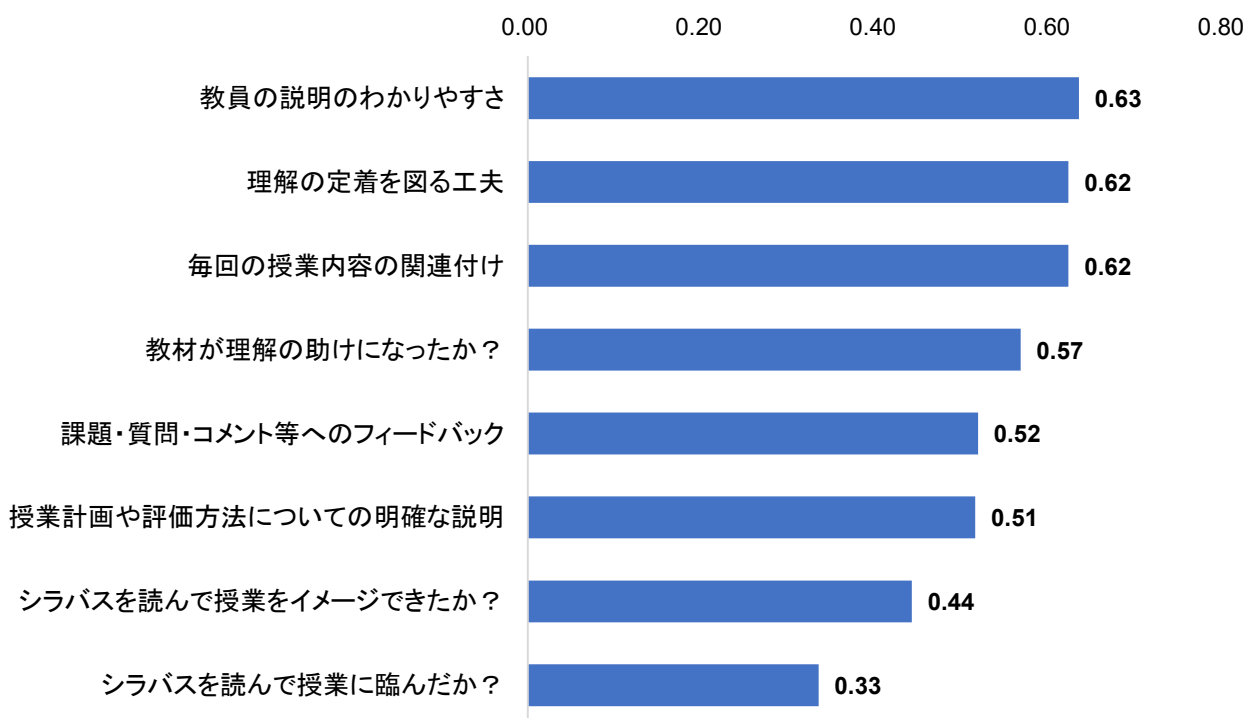
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【人間開発学部】

- 下の図は、人間開発学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目（8要素）との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

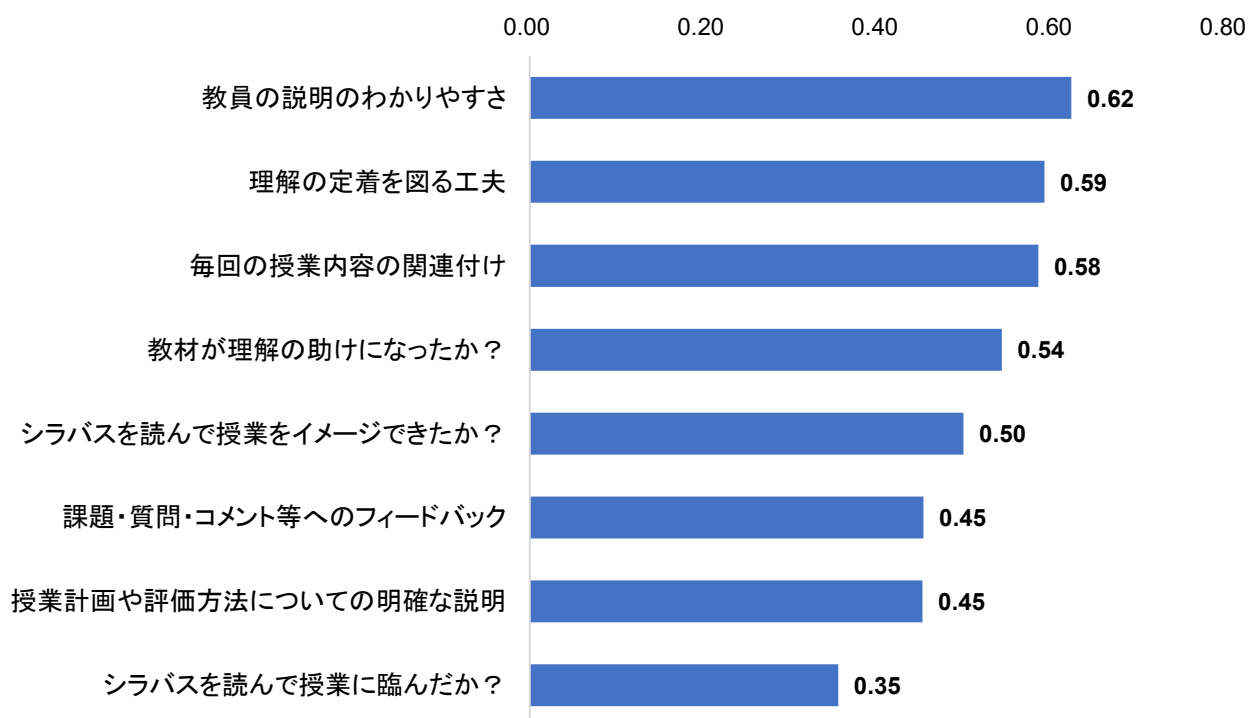
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【観光まちづくり学部】

- 下の図は、観光まちづくり学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

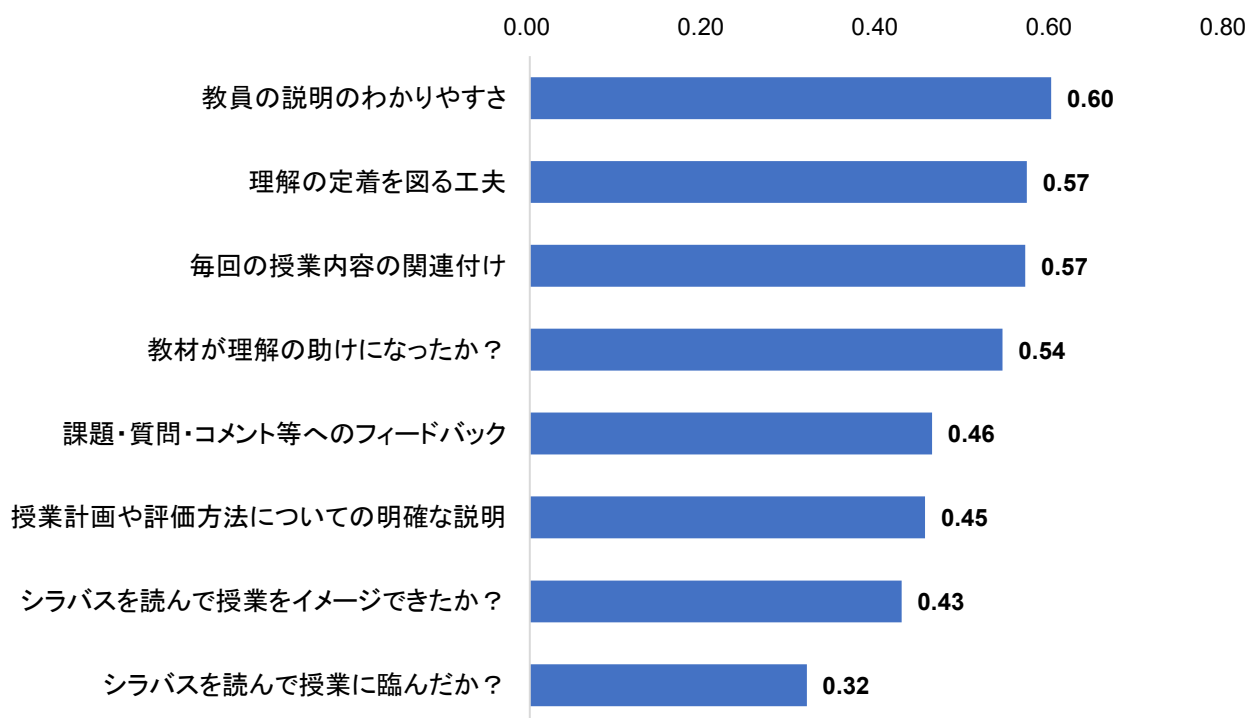
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【1年生】

- 下の図は、1年生の回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目（8要素）との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

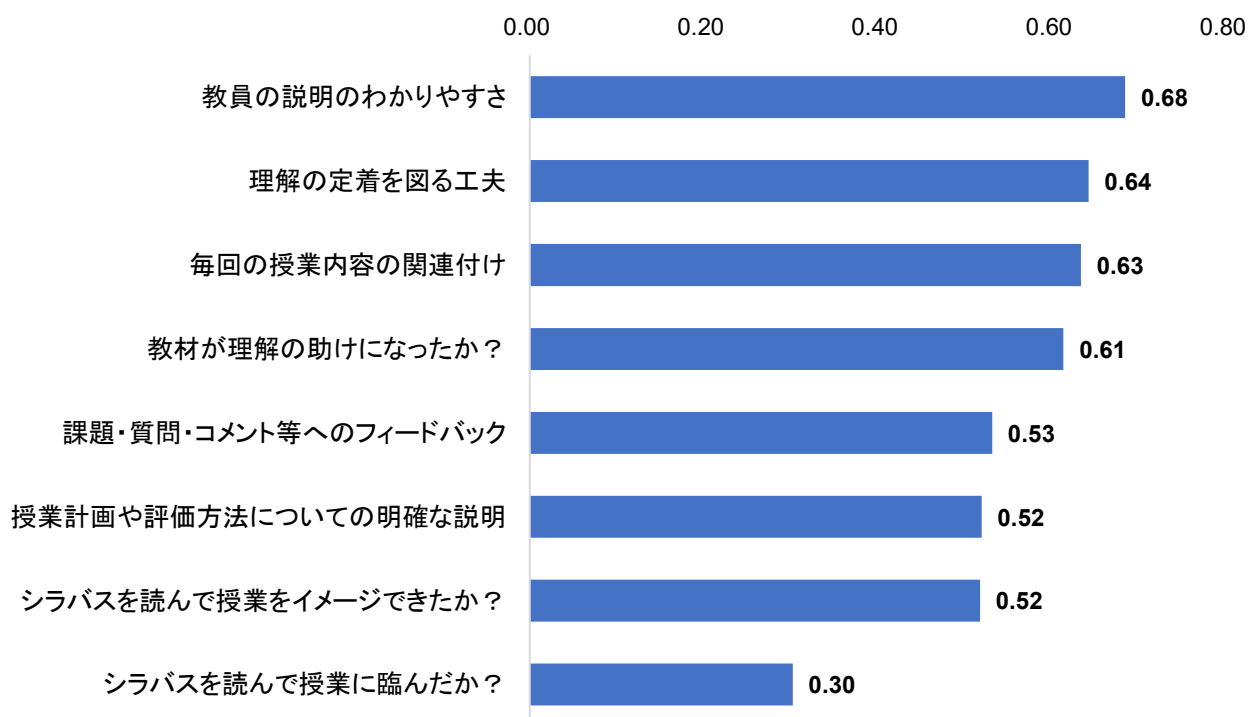
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【2年生】

- 下の図は、2年生の回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目（8要素）との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

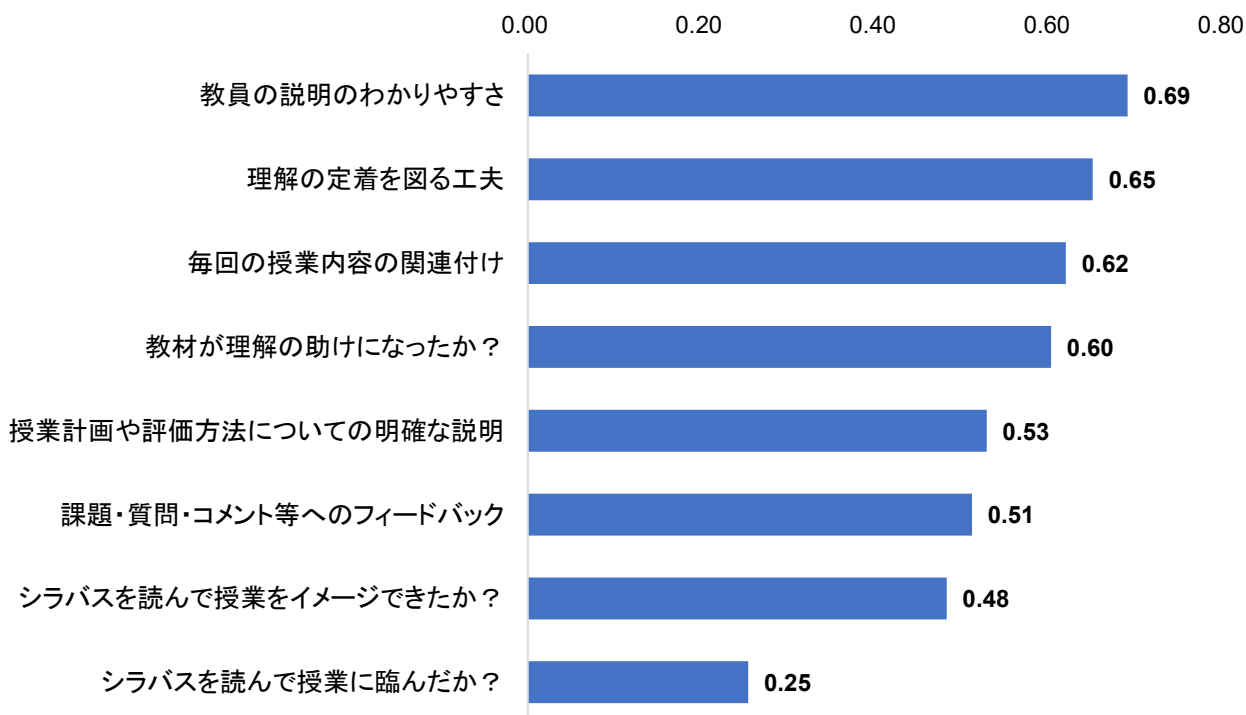
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【3年生】

- 下の図は、3年生の回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目（8要素）との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

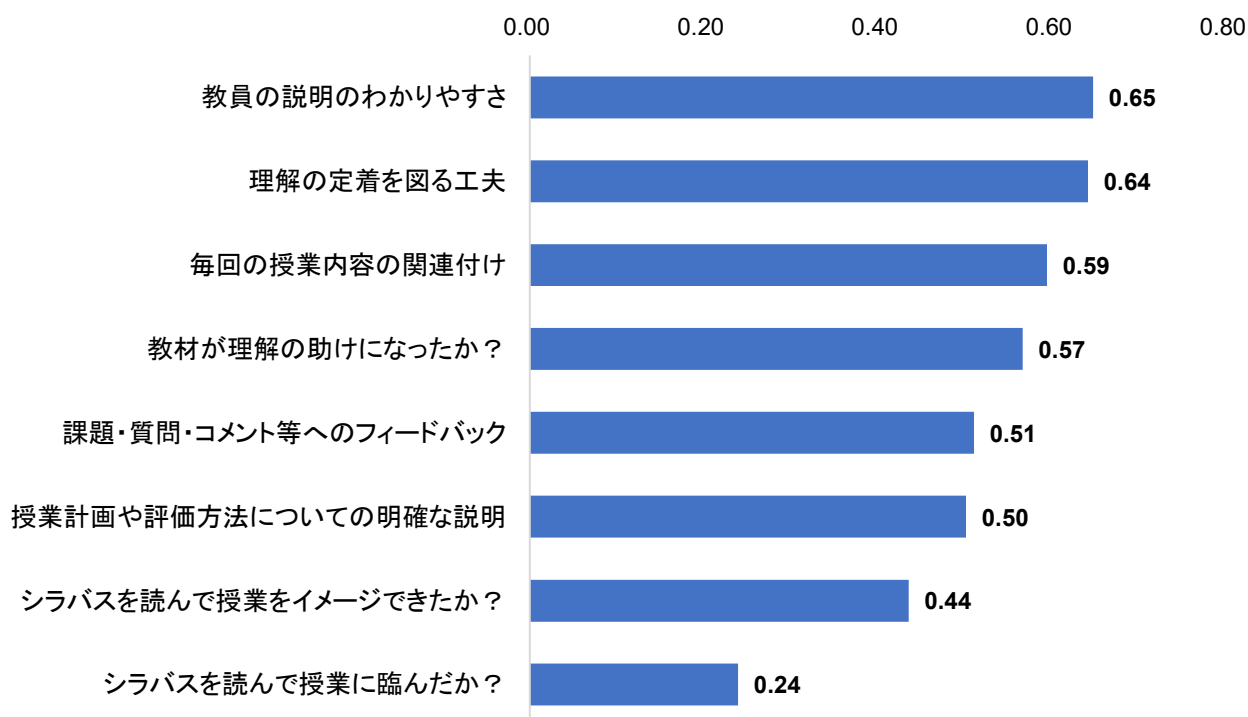
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【4年生】

- 下の図は、4年生の回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目（8要素）との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

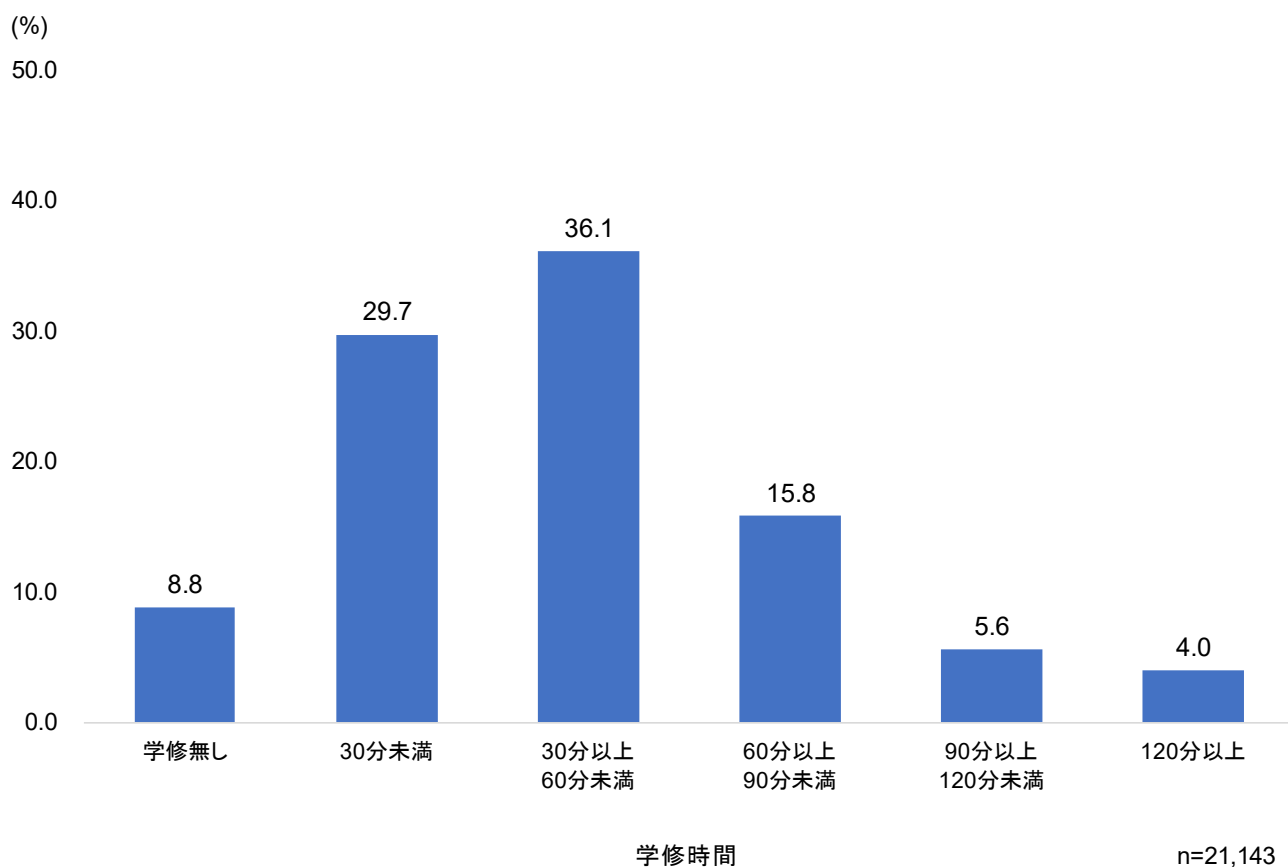
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



4. 考察(2)本学学士課程学生の授業外学修時間の現状(前期)

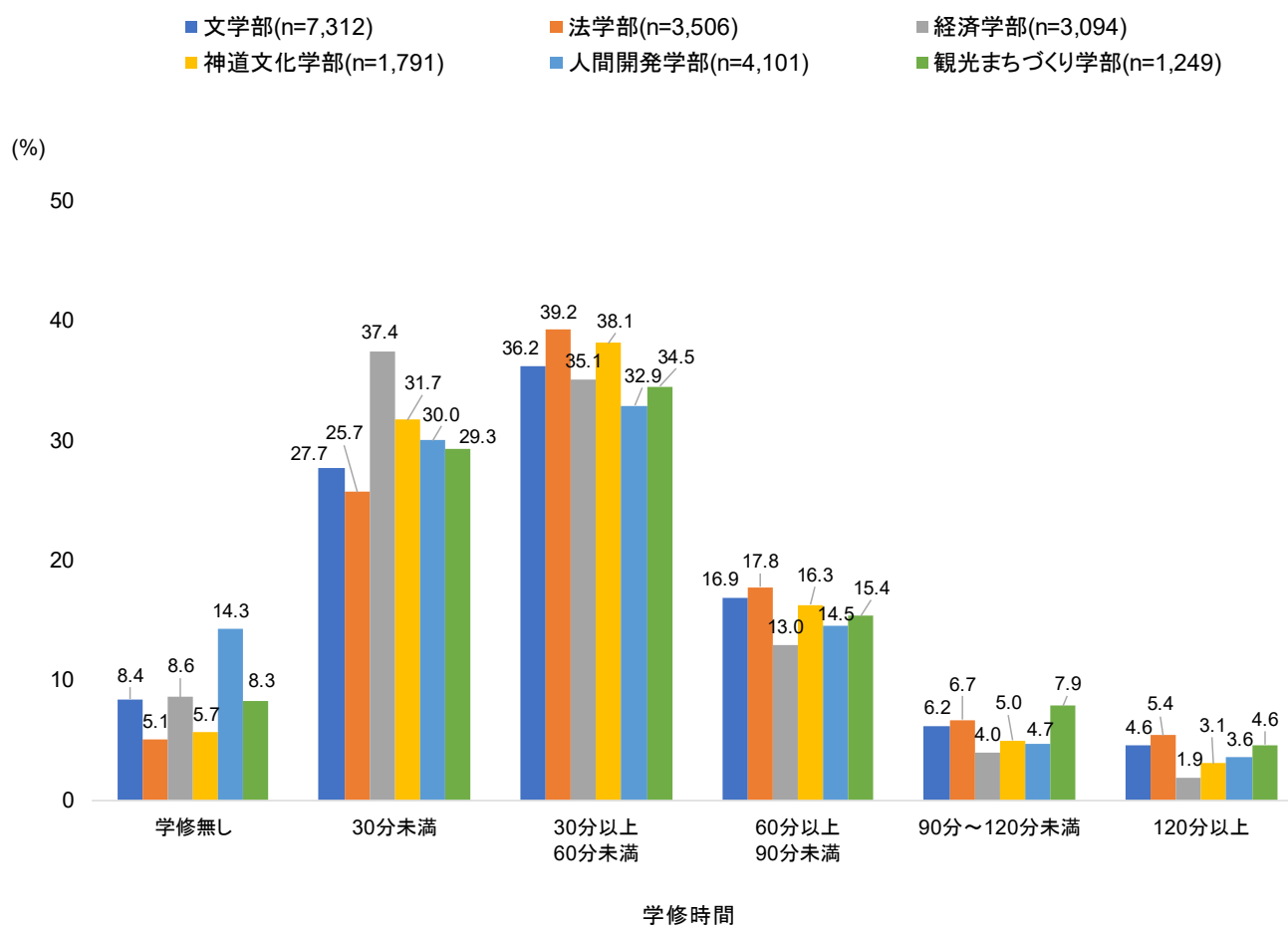
4-1 学士課程全体における学修時間の分布

- 下の図は、Q12「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」の回答結果の分布を示したものです。
- 学生課程全体の授業外学修時間としては、「学修無し」が8.8%、「学修あり(60分未満)」で65.8%、「学修あり(60分以上)」で25.4%となっています。



4-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部で区分して示したものです。
- 全ての学部において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、人間開発学部において「学修無し」の割合が14.3%と、他と比べて高くなっています。



4-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布

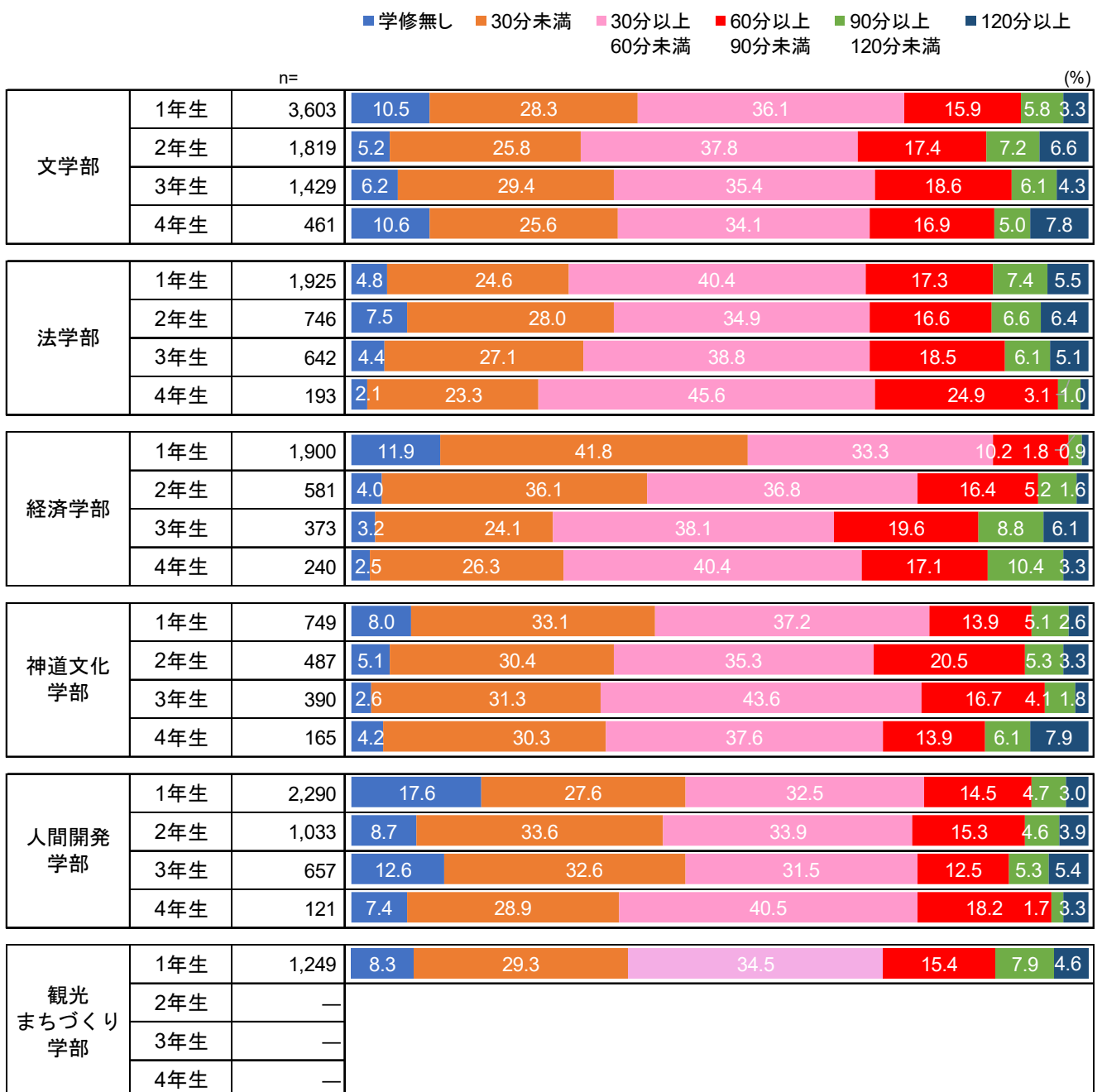
- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科・専攻において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。「学修あり(60分以上)」の割合が高いのは、法律専門職専攻(35.8%)、政治専攻(33.2%)など。一方、「学修無し」の割合が10%を超えているのは、中国文学科(16.5%)、経済学科(10.1%)、初等教育学科(12.6%)、健康体育学科(19.7%)。

■ 学修無し ■ 30分未満 ■ 30分以上 60分未満 ■ 60分以上 90分未満 ■ 90分以上 120分未満 ■ 120分以上

	n=	(%)					
日本文学科	2,931	7.5	27.1	35.2	18.2	6.9	5.2
中国文学科	369	16.5	23.8	32.8	15.2	7.3	4.4
外国語文化学科	989	8.0	26.8	39.7	14.1	6.5	4.9
史学科	2,426	8.6	28.2	36.0	17.3	5.4	4.5
哲学科	597	7.4	33.0	38.5	14.6	4.5	2.0
法律専攻	2,846	5.1	26.4	39.6	17.6	6.4	4.9
法律専門職専攻	316	5.7	23.4	35.1	22.2	8.2	5.4
政治専攻	344	4.7	22.7	39.5	15.7	8.4	9.1
経済学科	1,471	10.1	39.9	33.7	11.4	3.4	1.6
経済ネットワーク学科	92	2.2	27.2	37.0	20.7	12.0	1.1
経営学科	1,531	7.6	35.7	36.3	14.1	4.0	2.2
神道文化学科	1,791	5.7	31.7	38.1	16.3	5.0	3.1
初等教育学科	1,466	12.6	30.5	32.1	15.3	4.6	4.9
健康体育学科	1,791	19.7	33.9	29.5	11.6	3.0	2.4
子ども支援学科	844	5.8	20.7	41.6	19.4	8.6	3.7
観光まちづくり学科	1,249	8.3	29.3	34.5	15.4	7.9	4.6

4-4 回答学生の所属学部×学年別に見た学修時間の分布

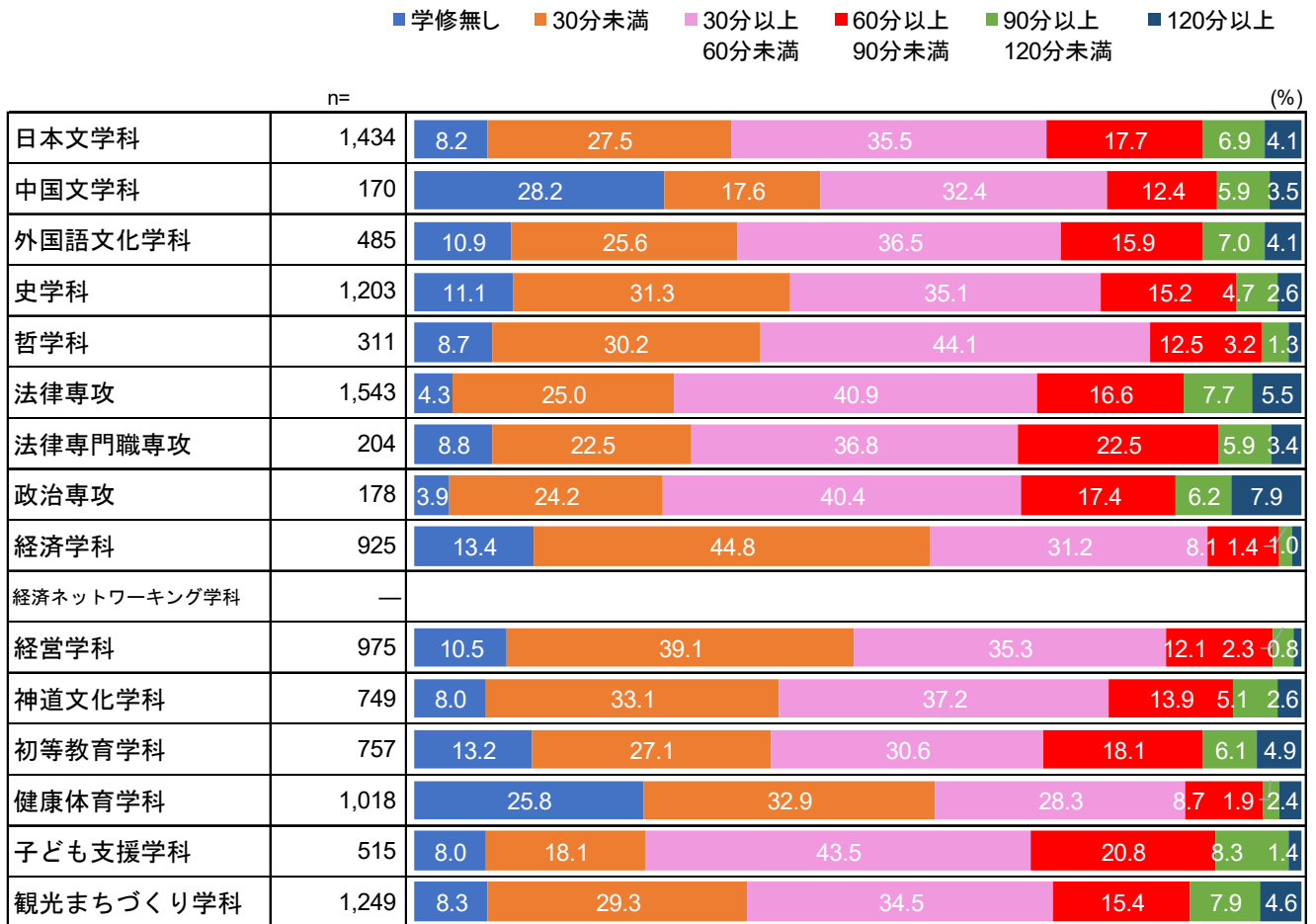
- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部×学年で区分して示したものです。
- 全ての所属学科×学年において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、文学部、経済学部、人間開発学部においては、1年生で「学修無し」の割合が10%を超えています。



4-5 回答学生の学年×所属学科・専攻別に見た学修時間の分布

【1年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(1年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、「学修無し」の割合は、中国文学科(28.2%)や健康体育学科(25.8%)が他と比べて高くなっています。



【2年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(2年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- ほとんどの所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、初等教育学科と健康体育学科において「学修無し」の割合が10%前後となっています。

■ 学修無し ■ 30分未満 ■ 30分以上 60分未満 ■ 60分以上 90分未満 ■ 90分以上 120分未満 ■ 120分以上

	n=	(%)					
日本文学科	714	4.3	21.8	36.1	20.9	8.8	7.9
中国文学科	142	6.3	35.2	31.0	15.5	9.2	2.8
外国語文化学科	302	4.6	24.8	48.0	11.3	5.3	5.9
史学科	496	6.7	25.0	38.1	17.7	5.4	7.0
哲学科	165	4.8	39.4	30.9	13.9	7.3	3.6
法律専攻	609	8.0	29.4	35.3	17.4	4.8	5.0
法律専門職専攻	40	0.0	20.0	30.0	20.0	20.0	10.0
政治専攻	97	7.2	22.7	34.0	10.3	12.4	13.4
経済学科	317	4.1	37.5	37.5	13.6	5.7	1.5
経済ネットワーク学科	—						
経営学科	264	3.8	34.5	36.0	19.7	4.5	1.6
神道文化学科	487	5.1	30.4	35.3	20.5	5.3	3.3
初等教育学科	285	9.5	36.5	34.7	12.6	3.5	3.2
健康体育学科	529	11.0	35.2	32.5	16.1	3.8	1.5
子ども支援学科	219	2.3	26.0	36.1	16.9	8.2	10.5
観光まちづくり学科	—						

【3年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(3年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- ほとんどの所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、初等教育学科と健康体育学科において「学修無し」の割合が10%を超え、他と比べて高くなっています。

■学修無し ■30分未満 ■30分以上 60分未満 ■60分以上 90分未満 ■90分以上 120分未満 ■120分以上

	n=	(%)					
日本文学科	572	8.2	34.4	30.9	15.6	5.9	4.9
中国文学科	36	5.6	11.1	33.3	30.6	5.6	13.9
外国語文化学科	182	4.9	34.1	35.2	14.3	6.0	5.5
史学科	549	4.7	23.3	40.3	21.9	6.6	3.3
哲学科	90	4.4	32.2	35.6	22.2	4.4	1.1
法律専攻	521	5.2	27.6	38.8	18.6	5.4	4.4
法律専門職専攻	59	0.0	32.2	32.2	16.9	8.5	10.2
政治専攻	62	1.6	17.7	45.2	19.4	9.7	6.4
経済学科	121	5.8	24.8	34.7	27.3	5.0	2.5
経済ネットワーク学科	—						
経営学科	252	2.0	23.8	39.7	15.9	10.7	8.0
神道文化学科	390	2.6	31.3	43.6	16.7	4.1	1.8
初等教育学科	363	14.6	34.4	31.4	9.9	2.8	6.9
健康体育学科	208	13.9	34.6	27.4	13.5	6.3	4.3
子ども支援学科	86	1.2	19.8	41.9	20.9	14.0	2.3
観光まちづくり学科	—						

【4年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(4年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 回答数が30以上の全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、日本文学科などで「学修無し」の割合が10%を超えています。

■学修無し ■30分未満 ■30分以上60分未満 ■60分以上90分未満 ■90分以上120分未満 ■120分以上

	n=	n (%)					
日本文学科	211	10.9	21.8	41.7	19.0	3.3	3.3
中国文学科	21	9.5	19.0	47.6	9.5	9.5	4.8
外国語文化学科	20	15.0	20.0	35.0	10.0	15.0	5.0
史学科	178	9.0	30.9	23.6	16.3	5.6	14.6
哲学科	31	16.1	29.0	32.3	16.1	3.2	3.2
法律専攻	173	1.7	24.3	46.2	23.7	2.9	1.2
法律専門職専攻	13	0.0	7.7	38.5	46.2	7.7	0.0
政治専攻	7	14.3	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0
経済学科	108	3.7	22.2	42.6	14.8	12.0	4.6
経済ネットワーク学科	92	2.2	27.2	37.0	20.7	12.0	1.1
経営学科	40	0.0	35.0	42.5	15.0	2.5	5.0
神道文化学科	165	4.2	30.3	37.6	13.9	6.1	7.9
初等教育学科	61	6.6	21.3	42.6	24.6	1.6	3.3
健康体育学科	36	8.3	38.9	30.6	13.9	2.8	5.6
子ども支援学科	24	8.3	33.3	50.0	8.3	0.0	0.0
観光まちづくり学科	—						

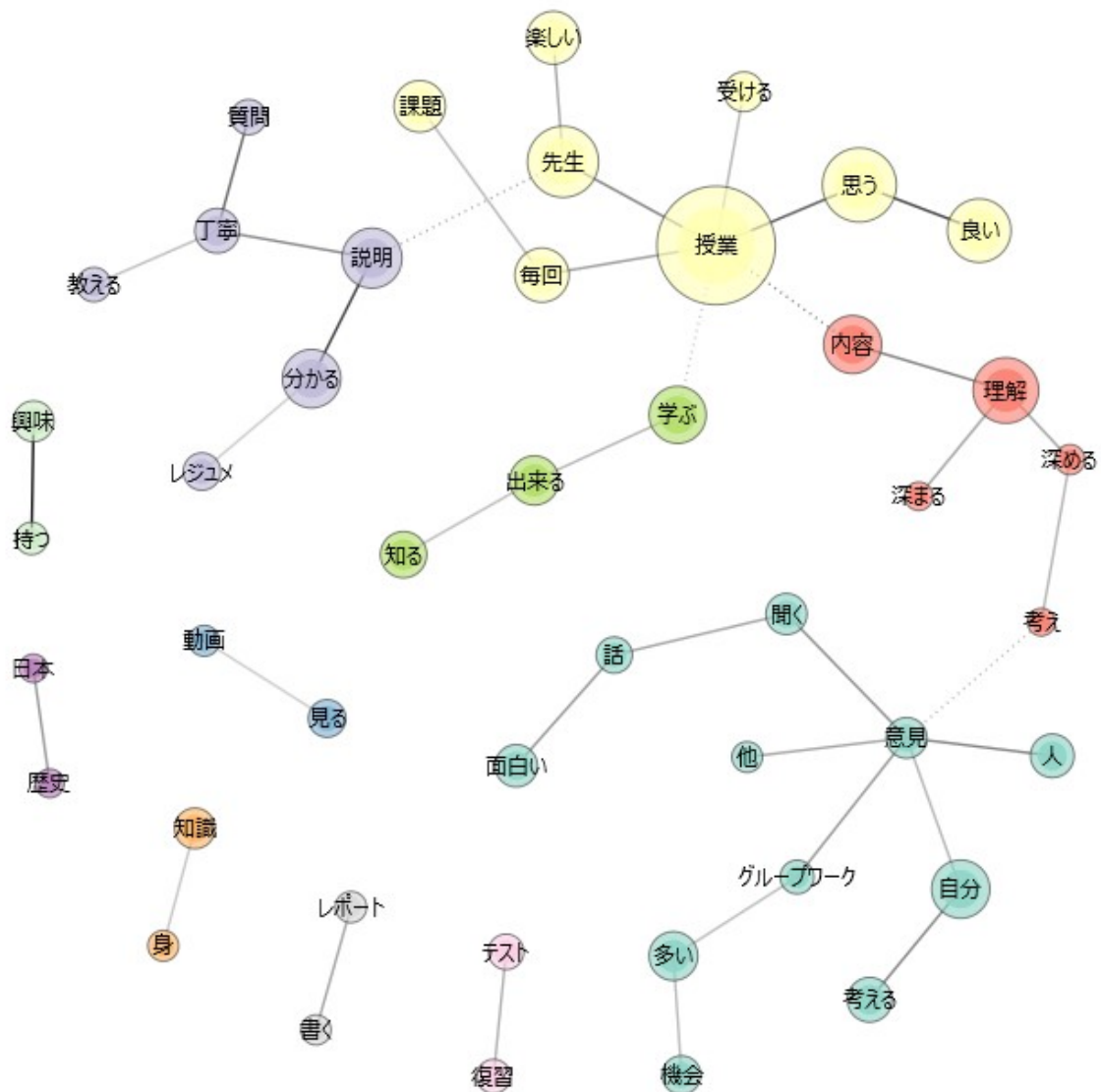
5. 自由記述設問の検討(前期)

5-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係

【Q15 この授業でとても良いと思ったこと】

- 下の図は、Q15「この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください」についてテキスト分析を行い、その自由記述の中に見られた頻出後の共起関係を示したものです。
- 図の共起関係や頻出単語を見ると「授業が非常にわかりやすく、質問にも丁寧に対応してくれた」、「先生の説明が丁寧で、レジュメもわかりやすい」、「グループワークを通して、他の人の意見を聞くことができ面白かった」といった意見が多く挙げられています。

※KH Coderを用いて分析



5-2 代表的な肯定的意見

【Q15 この授業でとても良いと思ったこと】

- 下記は、Q15「この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「授業内容」「課題・テスト・評価方法」「授業形態・実施形態」「教員」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従って、ここで記載した意見をどのように参考にされるかは、個々の先生方の裁量となります。

【授業内容について】

毎回の授業の目標や、やるべきことが明確で取り組みやすかった
ゲスト講師の授業は、実際の体験に基づいた生の声を聞ける貴重な機会だった
この授業でしか学べないことがかなりあったため、とても専門的な知識を身につけることができた
テキストが非常に難解であったが、理解するのに必要な分のみ解説されて非常にわかりやすかった
授業に飽きさせないようにクイズを出す工夫があったりして良かった

【課題・テスト・評価方法について】

毎回課題があることにより定着度が上がった
予習の課題量が多すぎず少なすぎず、毎回の予習が1時間程度でできるのがよかった
フィードバックが丁寧で、授業の内容がより理解できた
課題のテーマの自由度が高く、楽しく取り組めた

【授業環境・実施形態について】

オンラインでもきちんと顔出しをしていたので、孤独を感じず授業に参加できた
自由に授業形態を選択できたのは良かった
授業に直接出席できなかったときに、Zoomで参加できるように配慮してくれたことが嬉しかった
席を入れ替えることで色々な人と話せて楽しかった

【教員について】

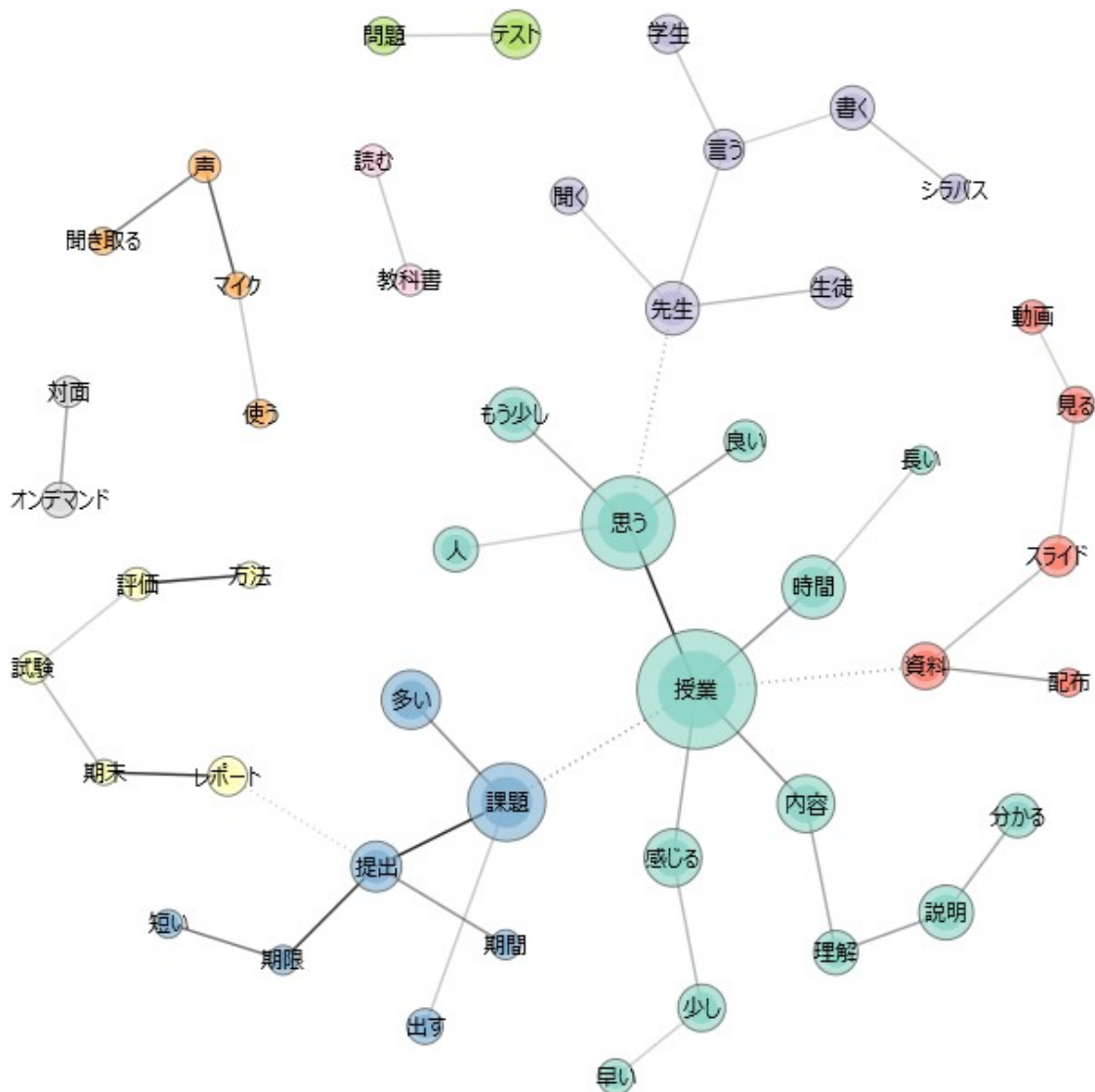
真摯に生徒たちに向き合い、一番コミュニケーションを図ってくれた
授業後に質問しに行ったが、分かりやすいように時間いっぱいまで説明してくれた
学生思いの先生で、安心して意欲的に毎回の授業を受けられた

5-3 消極的意見に見られた頻出語と共起関係

【Q16 この授業について改善したほうがよいと思ったこと】

- 下の図は、Q16「この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください」についてテキスト分析を行い、その自由記述の中に見られた頻出後の共起関係を示したものです。
- 図の共起関係や頻出単語を見ると「説明が少し早く、内容を理解するのが難しかった」、「授業で使ったスライドを配布してほしい」、「一回の課題の量が多く、提出期限まで短い」、「オンデマンドの授業時間が長い」、「評価方法がシラバスと違う」、「先生の声が聞き取りにくい時があるので、マイクを使ってほしい」といった意見が多く挙げられています。

※KH Coderを用いて分析



5-4 代表的な消極的意見

【Q16 この授業について改善したほうがよいと思ったこと】

- 下記は、Q16「この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「教員」「授業内容」「課題・テスト・評価方法」「授業環境・実施形態」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従って、ここで記載した意見をどのように参考にされるかは、個々の先生方の裁量となります。

【教員について】

生徒の関心や理解に寄り添わない独りよがりな授業
教員という強い立場を利用して高圧的な態度で授業に臨み、多くの生徒がやる気を失っていた
平気で遅刻してきて、授業時間を延ばすことはやめてほしい
教員の個人的な話が多すぎる

【授業内容について】

あまりにも内容が簡単すぎて退屈してしまった
シラバスを読んでイメージしていた以上にハードな科目だった
配布されたレジュメをただ読んでいただけという授業で、対面である意味が全く見いだせなかった
資料の情報量が多すぎるため、もう少し簡潔にまとめてほしい

【課題・テスト・評価方法について】

1回の課題が多すぎるのに、提出までの期間が短い
課題と授業内容が直結しないことがあった
アンケートの回答を示してほしい。答え合わせをしたい
シラバスには平常点100%で評価すると書かれていたのに、試験が実施された

【授業環境・実施形態について】

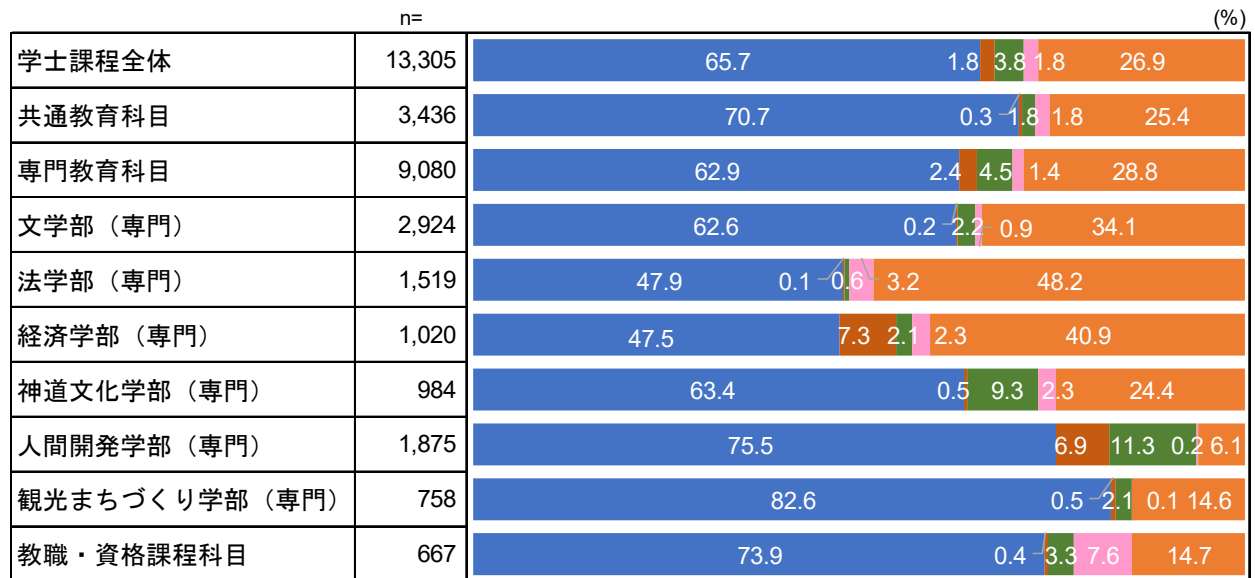
マイクの音量が小さくて聞き取りにくかった
オンデマンドではなくて、ぜひ対面の授業で受講したかった
教室が極寒で凍えそうだった
300人の大教室の授業は多すぎる。先生と生徒の距離が近い50人ほどのクラスが楽しい

6. 後期集計結果

6-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)

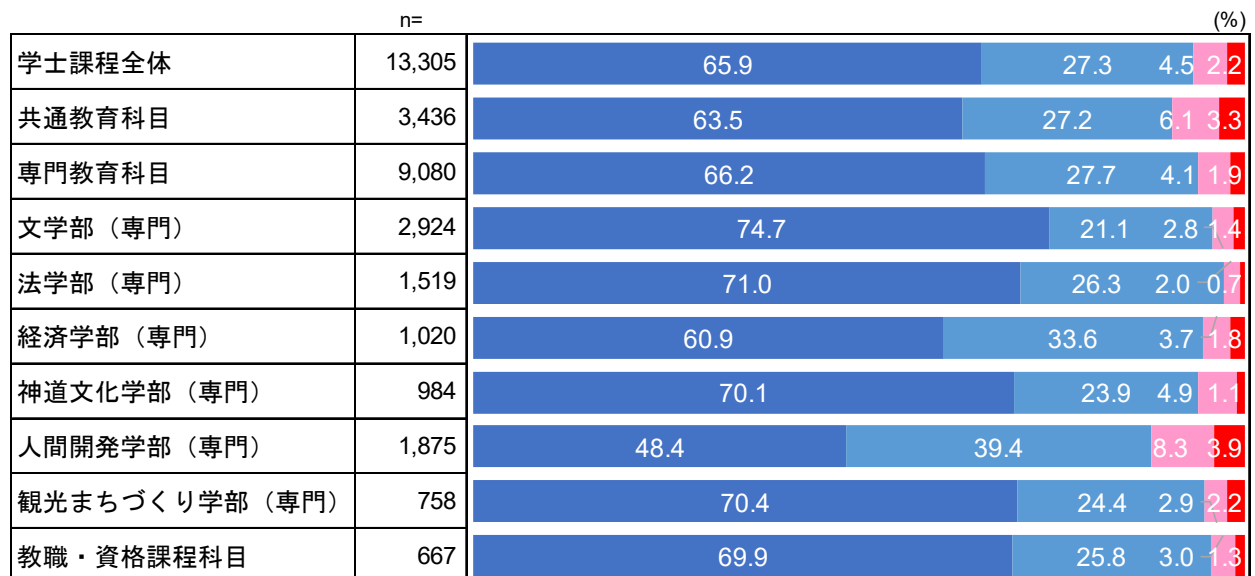
Q1 この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。

■ 対面授業 ■ ハイフレックス授業 ■ ブレンド授業 ■ ライブ授業 ■ オンデマンド授業



Q2 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



Q3 シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	n= (%)			
学士課程全体	13,305	60.1	33.1	5.0	1.8
共通教育科目	3,436	57.9	33.2	6.2	2.6
専門教育科目	9,080	60.5	33.4	4.5	1.6
文学部（専門）	2,924	68.5	27.6	3.0	0.9
法学部（専門）	1,519	61.6	33.0	4.3	1.1
経済学部（専門）	1,020	52.4	38.3	6.8	2.5
神道文化学部（専門）	984	65.0	30.1	3.6	1.3
人間開発学部（専門）	1,875	50.0	41.2	6.1	2.7
観光まちづくり学部（専門）	758	58.2	35.2	4.9	1.7
教職・資格課程科目	667	62.4	30.9	5.5	1.2

Q4 教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	n= (%)			
学士課程全体	13,305	71.7	22.9	3.9	1.5
共通教育科目	3,436	69.7	24.0	4.5	1.8
専門教育科目	9,080	72.2	22.7	3.6	1.4
文学部（専門）	2,924	76.8	19.2	3.1	0.9
法学部（専門）	1,519	69.7	25.0	3.4	1.8
経済学部（専門）	1,020	64.0	26.5	6.1	3.4
神道文化学部（専門）	984	79.1	18.1	2.0	0.8
人間開発学部（専門）	1,875	67.9	27.0	3.9	1.2
観光まちづくり学部（専門）	758	72.4	22.3	3.7	1.6
教職・資格課程科目	667	71.7	22.3	4.9	1.0

Q5 教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	n (%)			
学士課程全体	13,305	69.8	23.3	4.6	2.3
共通教育科目	3,436	65.9	26.0	5.1	3.0
専門教育科目	9,080	70.9	22.6	4.4	2.1
文学部(専門)	2,924	74.6	21.2	2.8	1.4
法学部(専門)	1,519	70.3	23.0	4.7	1.9
経済学部(専門)	1,020	60.4	26.9	6.9	5.9
神道文化学部(専門)	984	79.0	16.5	2.8	1.7
人間開発学部(専門)	1,875	66.9	25.7	5.8	1.7
観光まちづくり学部(専門)	758	72.2	21.5	4.6	1.7
教職・資格課程科目	667	71.4	21.1	5.5	1.9

Q6 授業における教員の説明はわかりやすかったですか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	n (%)			
学士課程全体	13,305	65.4	26.0	6.0	2.7
共通教育科目	3,436	63.4	27.4	6.4	2.9
専門教育科目	9,080	65.8	25.5	6.0	2.7
文学部(専門)	2,924	70.1	24.0	4.2	1.7
法学部(専門)	1,519	62.7	28.3	6.5	2.5
経済学部(専門)	1,020	56.4	28.1	7.9	7.5
神道文化学部(専門)	984	71.7	20.6	5.8	1.8
人間開発学部(専門)	1,875	63.9	26.9	7.2	2.0
観光まちづくり学部(専門)	758	65.0	25.2	6.1	3.7
教職・資格課程科目	667	66.4	27.3	4.6	1.6

Q7 教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	13,305	63.3	27.7	6.5	2.4
共通教育科目	3,436	63.2	28.1	6.1	2.6
専門教育科目	9,080	63.1	27.6	6.7	2.5
文学部（専門）	2,924	66.0	26.5	5.9	1.6
法学部（専門）	1,519	61.0	29.6	6.7	2.6
経済学部（専門）	1,020	55.0	30.2	9.0	5.8
神道文化学部（専門）	984	69.7	22.9	5.6	1.8
人間開発学部（専門）	1,875	62.3	28.7	7.1	1.8
観光まちづくり学部（専門）	758	60.7	28.2	7.7	3.4
教職・資格課程科目	667	62.8	29.2	6.0	1.9

Q8 教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	13,305	61.2	26.6	8.9	3.3
共通教育科目	3,436	60.9	26.9	8.8	3.3
専門教育科目	9,080	61.0	26.5	9.1	3.4
文学部（専門）	2,924	64.9	24.4	8.2	2.6
法学部（専門）	1,519	54.6	31.4	10.0	3.9
経済学部（専門）	1,020	51.4	29.7	11.9	7.1
神道文化学部（専門）	984	66.9	21.5	9.0	2.5
人間開発学部（専門）	1,875	61.0	26.8	9.1	3.1
観光まちづくり学部（専門）	758	63.7	26.0	7.8	2.5
教職・資格課程科目	667	66.3	25.5	6.3	1.9

Q9 この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だと思えますか。

■ 多すぎる ■ やや多い ■ ちょうどよい ■ やや少ない ■ 少なすぎる

	n=	n= (%)				
学士課程全体	13,305	5.4	13.2	78.4	2.2	0.7
共通教育科目	3,436	5.9	13.7	78.2	1.7	0.4
専門教育科目	9,080	5.4	13.3	78.0	2.5	0.8
文学部（専門）	2,924	4.7	11.6	80.2	2.8	0.7
法学部（専門）	1,519	5.1	13.2	76.4	3.9	1.3
経済学部（専門）	1,020	5.9	15.5	75.0	2.5	1.1
神道文化学部（専門）	984	6.1	6.8	82.6	3.2	1.3
人間開発学部（専門）	1,875	5.5	17.2	76.0	1.0	0.3
観光まちづくり学部（専門）	758	6.6	16.2	75.5	1.3	0.4
教職・資格課程科目	667	3.4	9.1	85.0	1.6	0.7

Q10 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	n= (%)			
学士課程全体	13,305	70.0	26.1	3.0	0.9
共通教育科目	3,436	67.1	27.5	4.4	1.0
専門教育科目	9,080	70.9	25.6	2.6	0.9
文学部（専門）	2,924	75.1	22.1	2.0	0.8
法学部（専門）	1,519	69.0	28.4	2.0	0.7
経済学部（専門）	1,020	61.9	31.2	4.3	2.6
神道文化学部（専門）	984	80.1	17.5	2.1	0.3
人間開発学部（専門）	1,875	66.0	29.8	3.5	0.6
観光まちづくり学部（専門）	758	70.6	26.8	1.8	0.8
教職・資格課程科目	667	69.9	26.4	2.7	1.0

Q11 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	13,305	62.1	29.2	5.9	2.8
共通教育科目	3,436	56.7	32.5	7.3	3.6
専門教育科目	9,080	63.5	28.3	5.6	2.6
文学部（専門）	2,924	67.3	26.2	4.3	2.1
法学部（専門）	1,519	61.0	30.0	6.3	2.7
経済学部（専門）	1,020	51.6	33.9	9.1	5.4
神道文化学部（専門）	984	73.3	20.6	3.8	2.3
人間開発学部（専門）	1,875	61.6	31.5	5.3	1.6
観光まちづくり学部（専門）	758	62.0	27.4	7.7	2.9
教職・資格課程科目	667	64.6	28.5	4.6	2.2

Q13 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	13,305	44.1	47.0	7.0	1.9
共通教育科目	3,436	43.6	46.7	7.8	1.9
専門教育科目	9,080	43.6	47.6	6.9	1.9
文学部（専門）	2,924	44.7	47.5	6.2	1.6
法学部（専門）	1,519	45.6	45.7	7.0	1.8
経済学部（専門）	1,020	38.8	47.8	8.6	4.7
神道文化学部（専門）	984	45.5	44.4	8.7	1.3
人間開発学部（専門）	1,875	42.5	50.3	6.0	1.2
観光まちづくり学部（専門）	758	42.5	48.8	6.6	2.1
教職・資格課程科目	667	48.1	44.5	5.7	1.6

Q14 あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	13,305	67.3	24.9	5.0	2.9
共通教育科目	3,436	65.0	26.0	5.7	3.3
専門教育科目	9,080	67.5	24.9	4.8	2.8
文学部（専門）	2,924	72.1	21.8	4.1	2.0
法学部（専門）	1,519	65.0	27.1	5.0	3.0
経済学部（専門）	1,020	54.6	31.7	7.1	6.7
神道文化学部（専門）	984	76.1	17.5	4.7	1.7
人間開発学部（専門）	1,875	66.0	27.5	4.6	2.0
観光まちづくり学部（専門）	758	65.3	26.8	4.6	3.3
教職・資格課程科目	667	70.0	22.5	4.9	2.5

● 集計結果の総評

- それぞれの設問について、授業科目の区分に従い、3つの区分で回答を集計しました。集計区分は、(1)学士課程全体(全回答)、(2)共通教育科目と専門教育科目と教職・資格課程科目、(3)学部別にみた専門教育科目、です。以下で各設問の結果をまとめます。
- Q1は、「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」です。学士課程全体では65.7%が対面授業で、オンデマンド授業が26.9%でした。対面授業の割合が高いのは、人間開発学部(75.5%)や観光まちづくり学部(82.6%)の専門教育科目など。一方、法学部と経済学部の専門教育科目では対面授業の割合が5割未満となっています。
- Q2は、「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」です。肯定回答(「そう思う」と「ややそう思う」の合計。以下、同様の記述)は学士課程全体で93.2%でした。なお、人間開発学部の専門教育科目のみ肯定回答の割合が9割に届きませんでした。
- Q3は、「シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか」です。全ての集計区分で肯定回答が9割を超え、学士課程全体では93.2%でした。
- Q4は「教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか」です。肯定回答は、全ての集計区分で9割を超えており、学士課程全体では94.6%でした。特に、神道文化学部の専門教育科目では肯定回答の割合が97.2%と非常に高くなっています。
- Q5は、「教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で93.1%でした。学部別では、経済学部の専門教育科目の肯定回答が87.3%と9割に届かず、他の学部に比べ低くなっています。
- Q6は、「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.4%でした。Q5と同様に、経済学部の専門教育科目のみ肯定回答の割合が9割に届きませんでした。
- Q7は、「教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか」です。学士課程全体の肯定回答の割合は91.0%でした。なお、経済学部と観光まちづくり学部の専門教育科目では肯定回答が9割に届きませんでした。

- Q8は、「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で87.8%でした。教職・資格課程科目では肯定回答が9割を超えています。一方、経済学部(81.1%)の専門教育科目では81.1%となっており、前期と比較してさらに低下しています。
 - Q9は、「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は適切な分量だったと思いますか」です。「ちょうどよい」の回答は、学士課程全体で78.4%でした。なお、文学部と神道文化学部の専門教育科目、および教職・資格課程科目では「ちょうどよい」の回答割合が8割を上回っています。
 - Q10は、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」です。肯定回答の割合は、学士課程全体で96.1%でした。なお、全ての集計区分において肯定回答が9割を超えています。
 - Q11は、「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.3%でした。共通教育科目、および経済学部と観光まちづくり学部の専門教育科目では、肯定回答が9割に届きませんでした。
 - Q13は、「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.1%でした。なお、他の設問では多くの集計区分で「そう思う」割合が6～7割となっていますが、Q13のみ全ての集計区分で「そう思う」割合が5割に届きませんでした。
 - Q14は、「あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で92.2%でした。学部別に肯定割合を見ると、経済学部(86.3%)の専門教育科目が他の学部と比べやや低くなっています。
- *****
- 以上、各設問について集計結果から明らかになったことを簡潔に整理しました。令和4年度後期の授業評価アンケートの集計結果によれば、本学の授業は概ね肯定回答が多くを占める傾向でした。
 - 概ね肯定回答の割合が高い中で、学士課程全体で消極的な回答(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計)が10%以上だった設問は、Q8「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」でした。

7. 考察(1)設問間のクロス表分析(後期)

7-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q13・Q14)

【全体】

- 下の図は、学士課程全体の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、91.3%が到達目標を達成したと認識し、92.8%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態でも、ハイフレックス授業以外は、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	8,736	91.3	8.7
		92.8	7.2
ハイフレックス授業	234	88.0	12.0
		88.0	12.0
ブレンド授業	511	90.0	10.0
		90.8	9.2
ライブ授業	239	92.1	7.9
		92.9	7.1
オンデマンド授業	3,585	90.9	9.1
		90.9	9.1

【文学部】

- 下の図は、文学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、91.7%が到達目標を達成したと認識し、93.4%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態では、受講者の多いオンデマンド授業の場合、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	3,189	91.7	8.3
		93.4	6.6
ハイフレックス授業	18	77.8	22.2
		83.3	16.7
ブレンド授業	109	85.3	14.7
		87.2	12.8
ライブ授業	77	89.6	10.4
		89.6	10.4
オンデマンド授業	1,357	92.3	7.7
		93.1	6.9

【法学部】

- 下の図は、法学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、91.8%が到達目標を達成したと認識し、93.3%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、受講者が多いオンデマンド授業では、約9割が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	1,256	91.8	8.2
		93.3	6.7
ハイフレックス授業	2	100.0	0.0
		100.0	0.0
ブレンド授業	23	73.9	26.1
		78.3	21.7
ライブ授業	66	98.5	1.5
		93.9	6.1
オンデマンド授業	915	90.9	9.1
		90.3	9.7

【経済学部】

- 下の図は、経済学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、89.2%が到達目標を達成したと認識し、89.0%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態では、オンデマンド授業の場合、到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答した割合は9割近くで対面授業と同程度になっています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	702	88.2	11.8
		89.0	11.0
ハイフレックス授業	75	77.3	22.7
		77.3	22.7
ブレンド授業	23	82.6	17.4
		73.9	26.1
ライブ授業	46	84.8	15.2
		89.1	10.9
オンデマンド授業	556	88.3	11.7
		86.5	13.5

【神道文化学部】

- 下の図は、神道文化学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、88.5%が到達目標を達成したと認識し、92.6%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、受講者が多いオンデマンド授業では、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	n (%)	
対面授業	826	88.5	11.5
		92.6	7.4
ハイフレックス授業	5	100.0	0.0
		100.0	0.0
ブレンド授業	95	89.5	10.5
		92.6	7.4
ライブ授業	28	89.3	10.7
		100.0	0.0
オンデマンド授業	354	90.1	9.9
		93.8	6.2

【人間開発学部】

- 下の図は、人間開発学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面授業の場合には、92.9%が到達目標を達成したと認識し、93.0%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、オンデマンド以外は9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	1,841	92.9	7.1
		93.0	7.0
ハイフレックス授業	129	94.6	5.4
		93.8	6.2
ブレンド授業	222	94.1	5.9
		94.6	5.4
ライブ授業	18	100.0	0.0
		100.0	0.0
オンデマンド授業	220	88.2	11.8
		86.8	13.2

【観光まちづくり学部】

- 下の図は、観光まちづくり学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、90.0%が到達目標を達成したと認識し、91.6%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態では、受講者が多いオンデマンド授業の場合、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	n (%)	
対面授業	819	90.0	10.0
		91.6	8.4
ハイフレックス授業	5	100.0	0.0
		100.0	0.0
ブレンド授業	24	91.7	8.3
		91.7	8.3
ライブ授業	2	100.0	0.0
		100.0	0.0
オンデマンド授業	181	93.4	6.6
		90.6	9.4

【1年生】

- 下の図は、1年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面の場合には、91.0%が到達目標を達成したと認識し、92.0%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、オンデマンド授業では9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、対面・遠隔を問わず、それぞれの授業形態のメリットを活かしていくことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	4,752	91.0	9.0
		92.0	8.0
ハイフレックス授業	153	84.3	15.7
		83.0	17.0
ブレンド授業	325	88.3	11.7
		90.5	9.5
ライブ授業	91	92.3	7.7
		94.5	5.5
オンデマンド授業	1,548	92.6	7.4
		93.2	6.8

【2年生】

- 下の図は、2年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、89.8%が到達目標を達成したと認識し、92.0%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態では、受講者が多いオンデマンド授業の場合、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	n (%)	
対面授業	2,075	89.8	10.2
		92.0	8.0
ハイフレックス授業	54	96.3	3.7
		98.1	1.9
ブレンド授業	81	93.8	6.2
		90.1	9.9
ライブ授業	75	89.3	10.7
		88.0	12.0
オンデマンド授業	1,110	90.4	9.6
		90.4	9.6

【3年生】

- 下の図は、3年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、94.4%が到達目標を達成したと認識し、95.7%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、受講者の多いオンデマンド授業では、9割近くが到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	1,296	94.4	5.6
		95.7	4.3
ハイフレックス授業	17	94.1	5.9
		94.1	5.9
ブレンド授業	70	92.9	7.1
		90.0	10.0
ライブ授業	55	94.5	5.5
		94.5	5.5
オンデマンド授業	649	87.7	12.3
		87.5	12.5

【4年生】

- 下の図は、4年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面の場合には、91.2%が到達目標を達成したと認識し、93.9%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態では、受講者の多いオンデマンド授業では、9割前後が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面授業	510	91.2	8.8
		93.9	6.1
ハイフレックス授業	10	90.0	10.0
		100.0	0.0
ブレンド授業	20	85.0	15.0
		100.0	0.0
ライブ授業	16	93.8	6.3
		100.0	0.0
オンデマンド授業	276	91.3	8.7
		88.8	11.2

7-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

2. 課題の量の多さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q9×Q13・Q14)

- 下の図は、Q9「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「ちょうどよい」と回答した場合には、92.7%が到達目標を達成したと認識、94.4%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合には、前者は80.4%、後者は76.1%となっています。
- 上記のことから、課題の量が適切であれば、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ちょうどよい	10,436	92.7	7.3
		94.4	5.6
やや多い、やや少ない	2,057	87.1	12.9
		87.1	12.9
多すぎる、少なすぎる	812	80.4	19.6
		76.1	23.9

7-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

3. 予復習・課題にかけた時間が、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響 (Q12×Q13・Q14)

- 下の図は、Q12「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「学修無し」と回答した場合には、15.6%が到達目標を達成していないと認識、14.0%がこの授業を履修して良かったと感じなかったと答えています。また、「120分以上」の回答においても、前者が11.7%、後者は15.4%と、120分未満の「学修あり」に比べ否定回答が多くなっています。
- 上記のことから、あまり負担にならない程度で予習・復習・課題にかけた時間と、学生の到達目標の達成度や授業の満足度には関連があると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

	n=	n (%)	
学修無し	1,020	84.4	15.6
		86.0	14.0
30分未満	4,069	90.8	9.2
		92.7	7.3
30分以上～60分未満	4,707	92.6	7.4
		93.9	6.1
60分以上～90分未満	2,189	92.1	7.9
		92.6	7.4
90分以上～120分未満	789	91.5	8.5
		90.2	9.8
120分以上	531	88.3	11.7
		84.6	15.4

7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

1. シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできたか(Q3×Q13・Q14)

- 下の図は、Q3「シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできた」と回答した場合には、93.5%が到達目標を達成したと認識、94.6%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「授業の目的・内容・課題などについてイメージできなかった」と回答した場合には、前者は57.8%、後者は58.7%にとどまります。
- 上記のことから、授業の目的・内容・課題などについて学生が十分にイメージできるようシラバスを作成することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

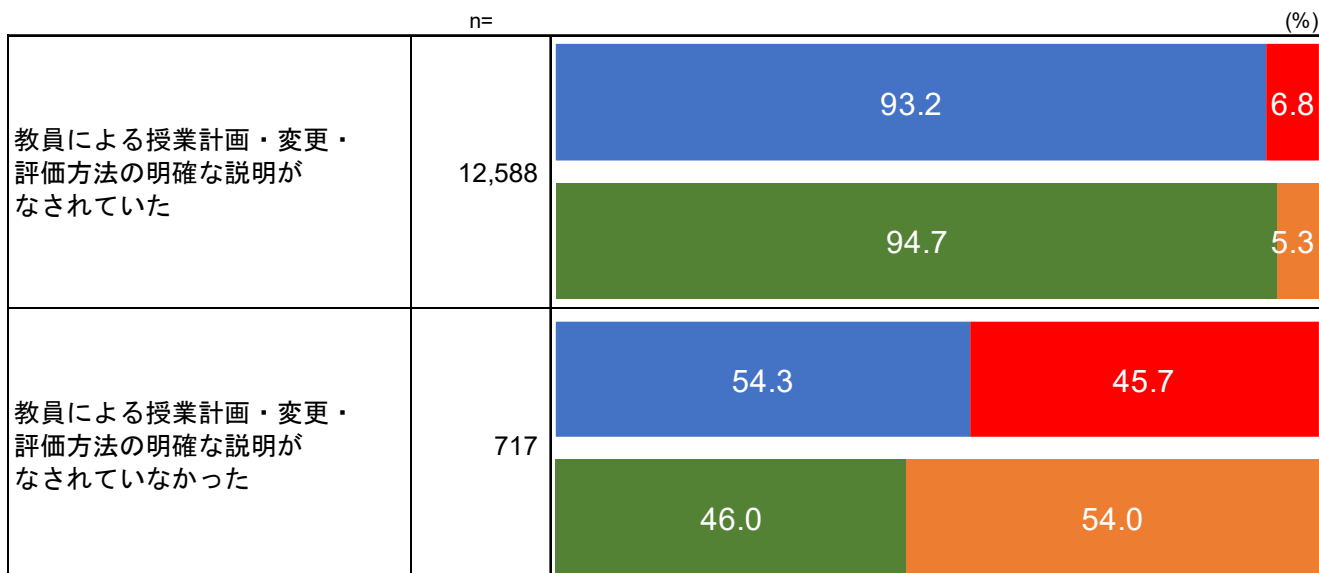
	n=	(%)	
シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできた	12,402	93.5	6.5
		94.6	5.4
シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできなかった	903	57.8	42.2
		58.7	41.3

7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q4×Q13・Q14)

- 下の図は、Q4「教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていた」と回答した場合には、93.2%が到達目標を達成したと認識、94.7%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「明確な説明がなされていなかった」と回答した場合には、前者は54.3%、後者は46.0%にとどまりません。
- 上記のことから、教員が授業計画・変更・評価方法の明確な説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

3. 教員が提供した教材は理解の助けになったか(Q5×Q13・Q14)

- 下の図は、Q5「教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員が提供した教材は理解の助けになった」と回答した場合には、94.2%が到達目標を達成したと認識、95.8%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「教材は理解の助けにならなかった」と回答した場合には、前者は49.3%、後者は41.9%にとどまります。
- 上記のことから、理解の助けになる教材を提供することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

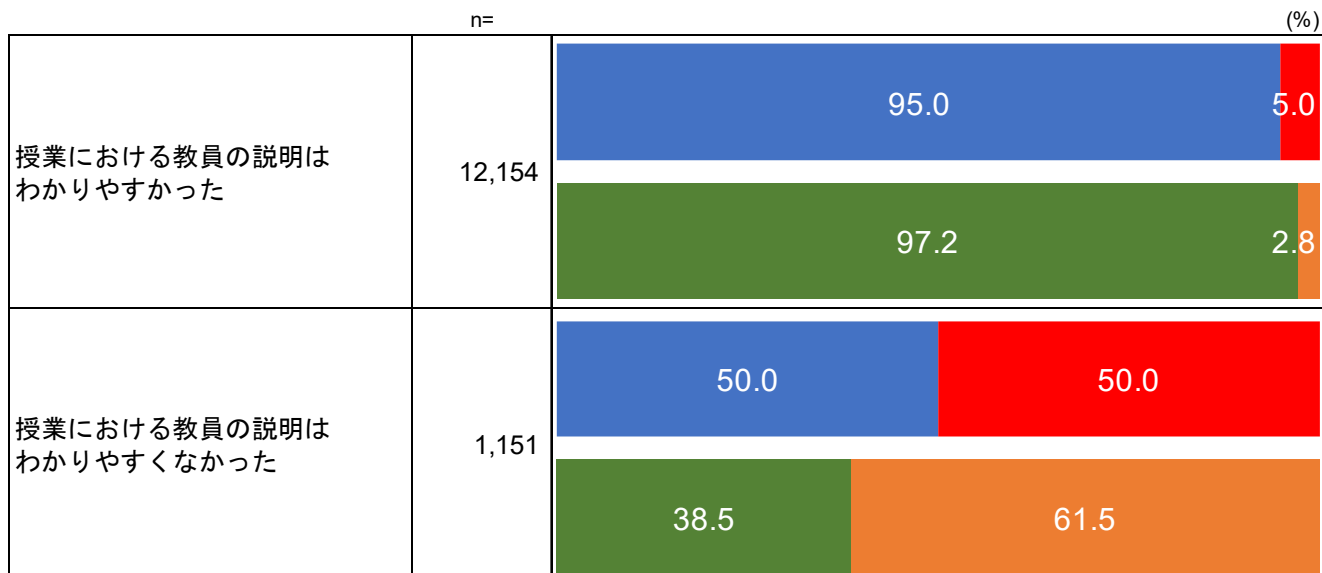
	n=	n (%)	
教員が提供した教材は理解の助けになった	12,388	94.2	5.8
		95.8	4.2
教員が提供した教材は理解の助けにならなかった	917	49.3	50.7
		41.9	58.1

7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

4. 授業における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q6×Q13・Q14)

- 下の図は、Q6「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「授業における教員の説明はわかりやすかった」と回答した場合には、95.0%が到達目標を達成したと認識、97.2%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「教員の説明はわかりやすくなかった」と回答した場合には、前者は50.0%、後者は38.5%にとどまります。
- 上記のことから、教員が授業でわかりやすい説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

5. 理解の定着を図る工夫をしていたか(Q7×Q13・Q14)

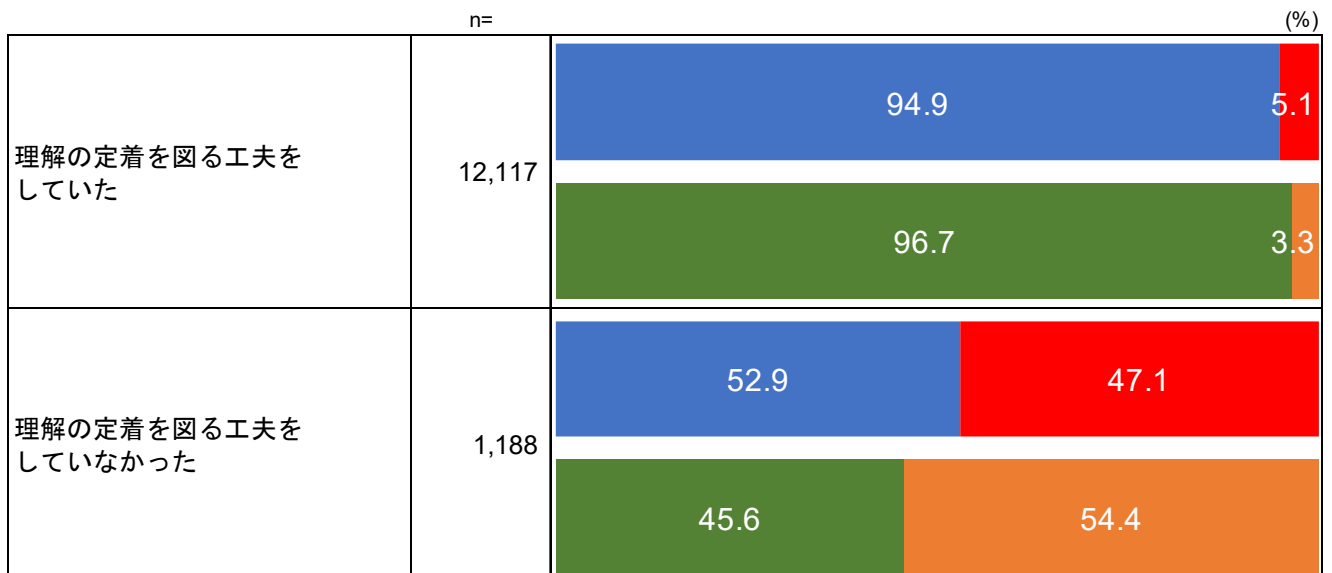
- 下の図は、Q7「教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「理解の定着を図る工夫をしていた」と回答した場合には、94.9%が到達目標を達成したと認識、96.7%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「理解の定着を図る工夫をしていなかった」と回答した場合には、前者は52.9%、後者は45.6%にとどまります。
- 上記のことから、課題や小テストなどによって理解の定着を図る工夫をすることにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

6. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q8×Q13・Q14)

- 下の図は、Q8「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「対話・フィードバックが積極的になされていた」と回答した場合には、94.5%が到達目標を達成したと認識、96.2%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「積極的になされていなかった」と回答した場合には、前者は66.4%、後者は62.4%にとどまります。
- 上記のことから、教員が対話・フィードバックを積極的に行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった

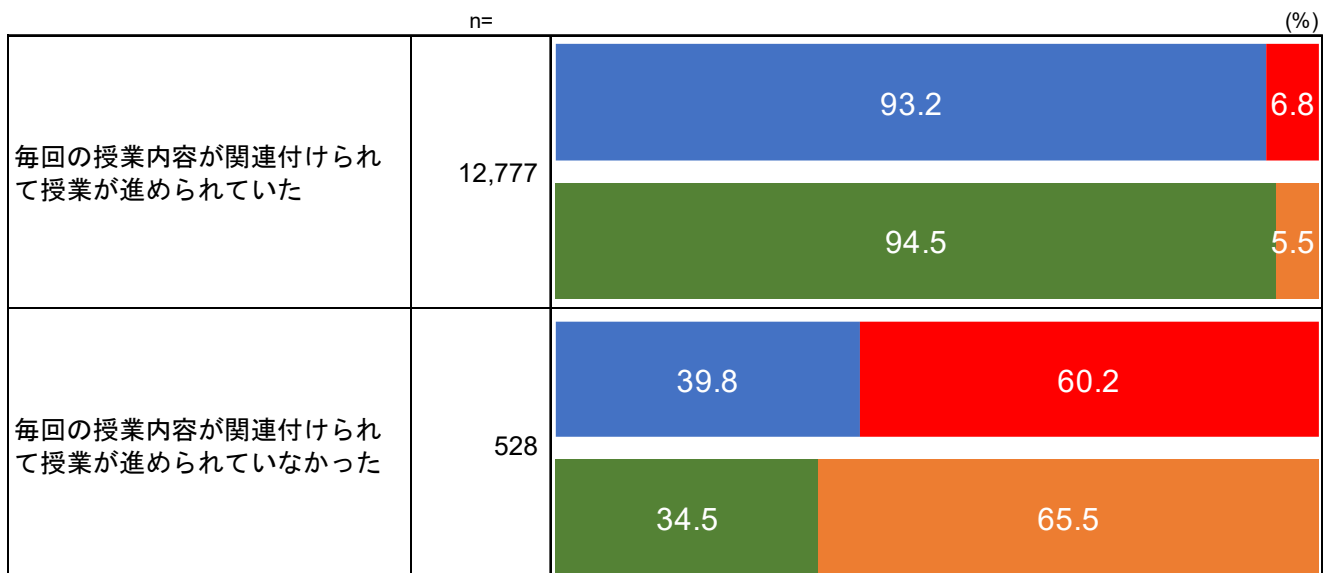
	n=	(%)	
対話・フィードバックが積極的 になされていた	11,687	94.5	5.5
		96.2	3.8
対話・フィードバックが積極的 になされていなかった	1,618	66.4	33.6
		62.4	37.6

7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

7. 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていたか(Q10×Q13・Q14)

- 下の図は、Q10「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」と、Q13「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q14「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていた」と回答した場合には、93.2%が到達目標を達成したと認識、94.5%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「関連付けられて授業が進められていなかった」と回答した場合には、前者は39.8%、後者は34.5%にとどまります。
- 上記のことから、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じた
- 学生はこの授業を受講して良かったと感じなかった



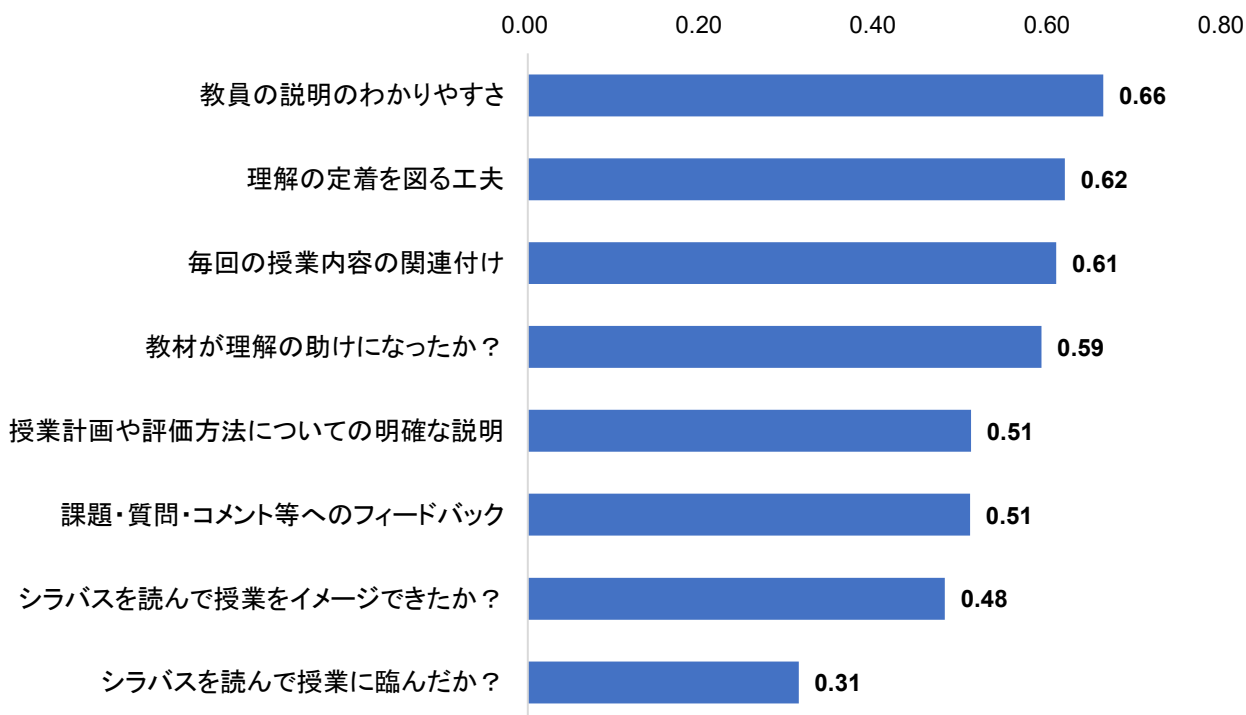
7-3 授業や関連するテーマへの関心の高まりと諸要素との相関

授業や関連テーマへの関心の高まりとの相関(Q11×Q2・Q3・Q4・Q5・Q6・Q7・Q8・Q10)

【全体】

- 下の図は、学士課程全体の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

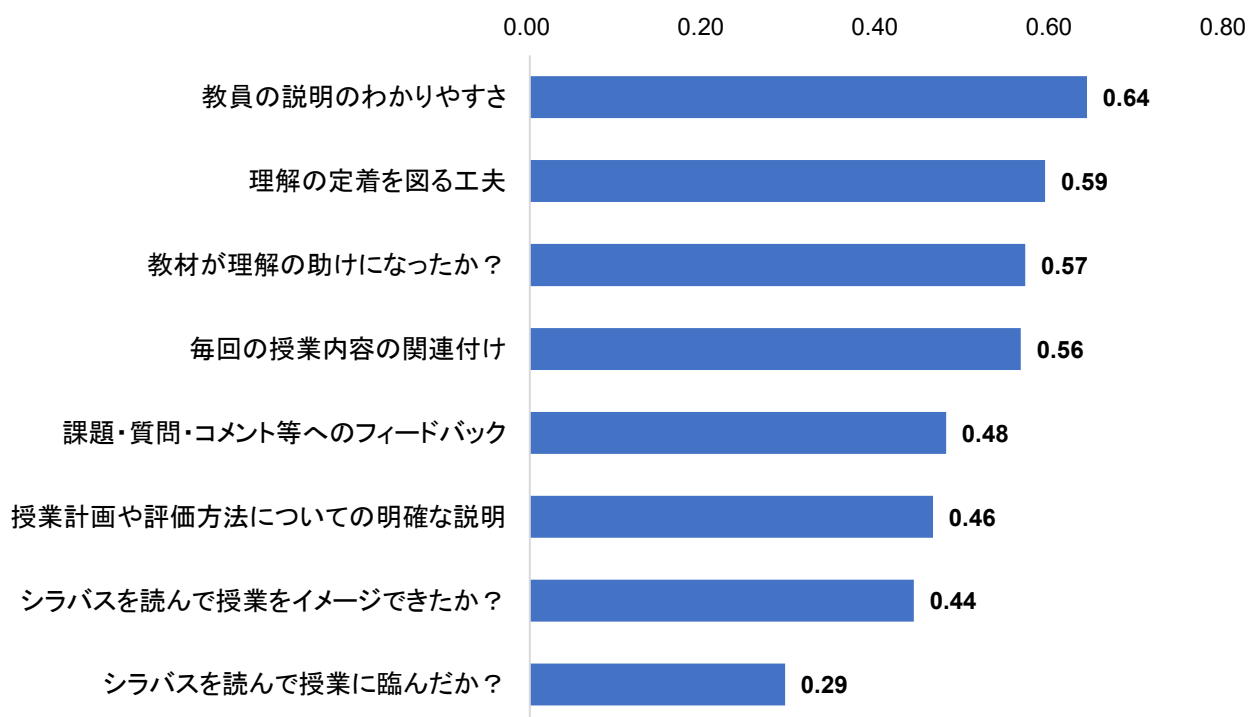
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【文学部】

- 下の図は、文学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「教材が理解の助けになったか?」「毎回の授業内容の関連付け」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心をもたらし、高めることにつながると考えられます。

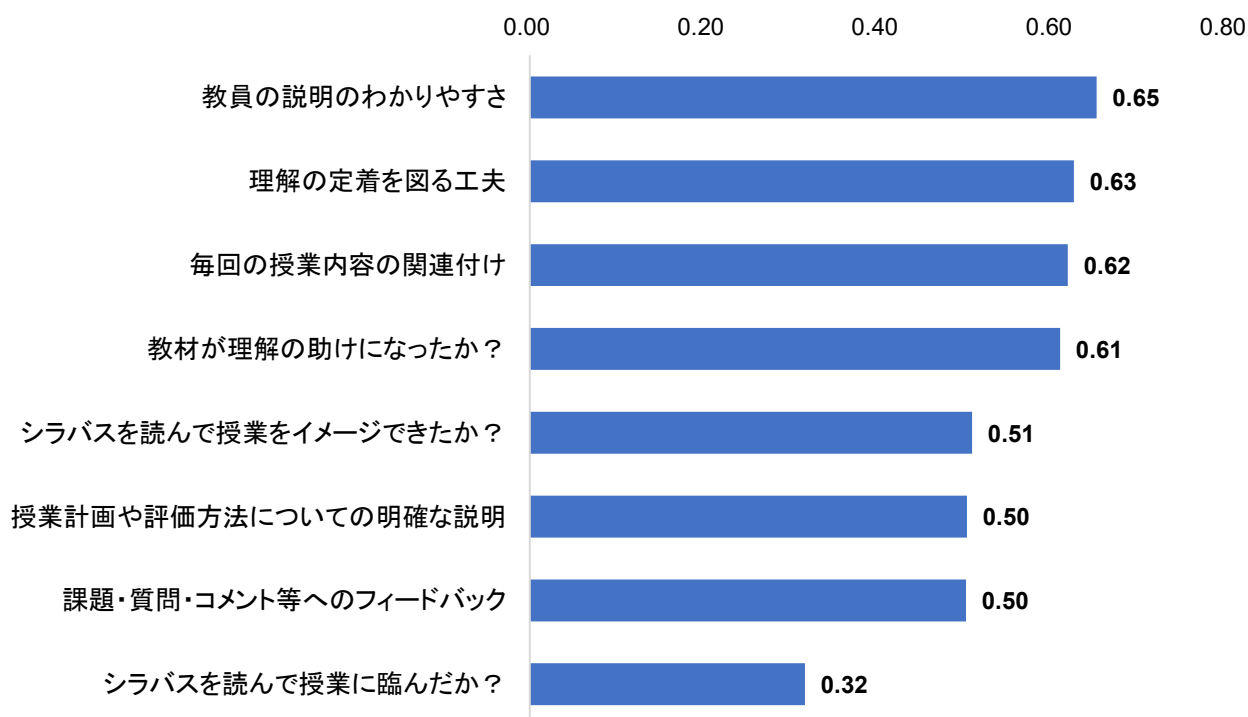
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【法学部】

- 下の図は、法学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

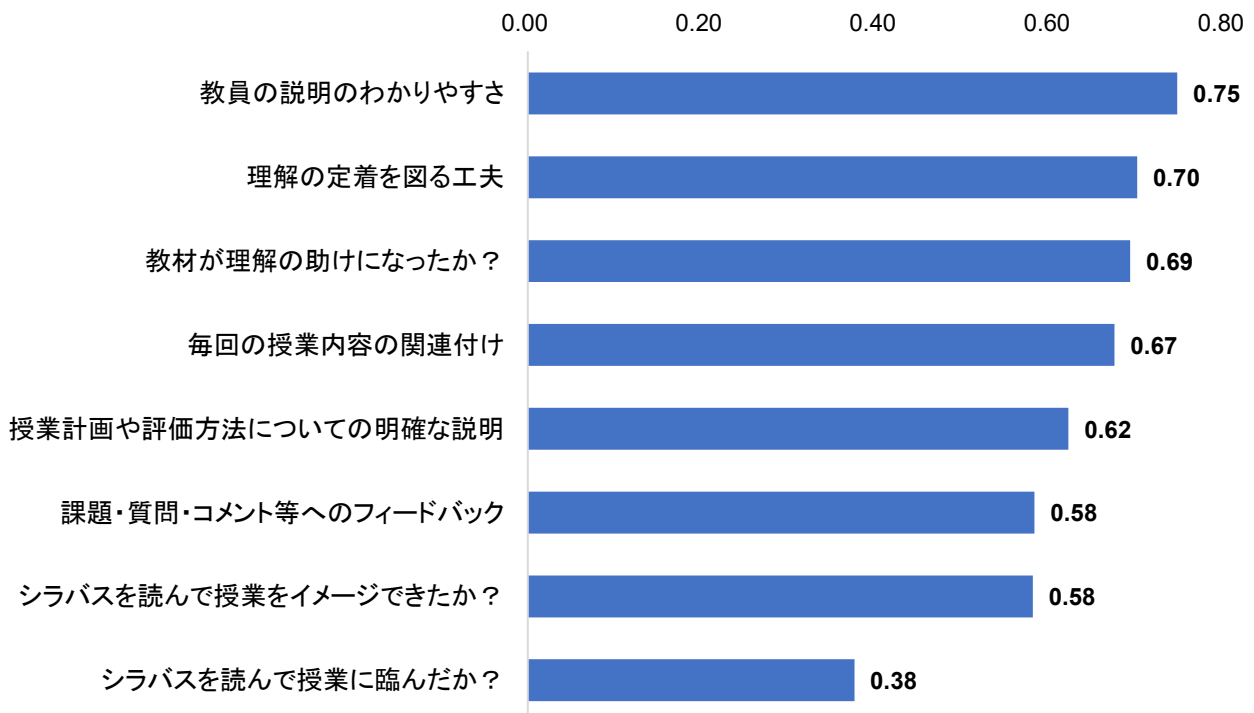
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【経済学部】

- 下の図は、経済学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「教材が理解の助けになったか?」「毎回の授業内容の関連付け」「授業計画や評価方法についての明確な説明」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

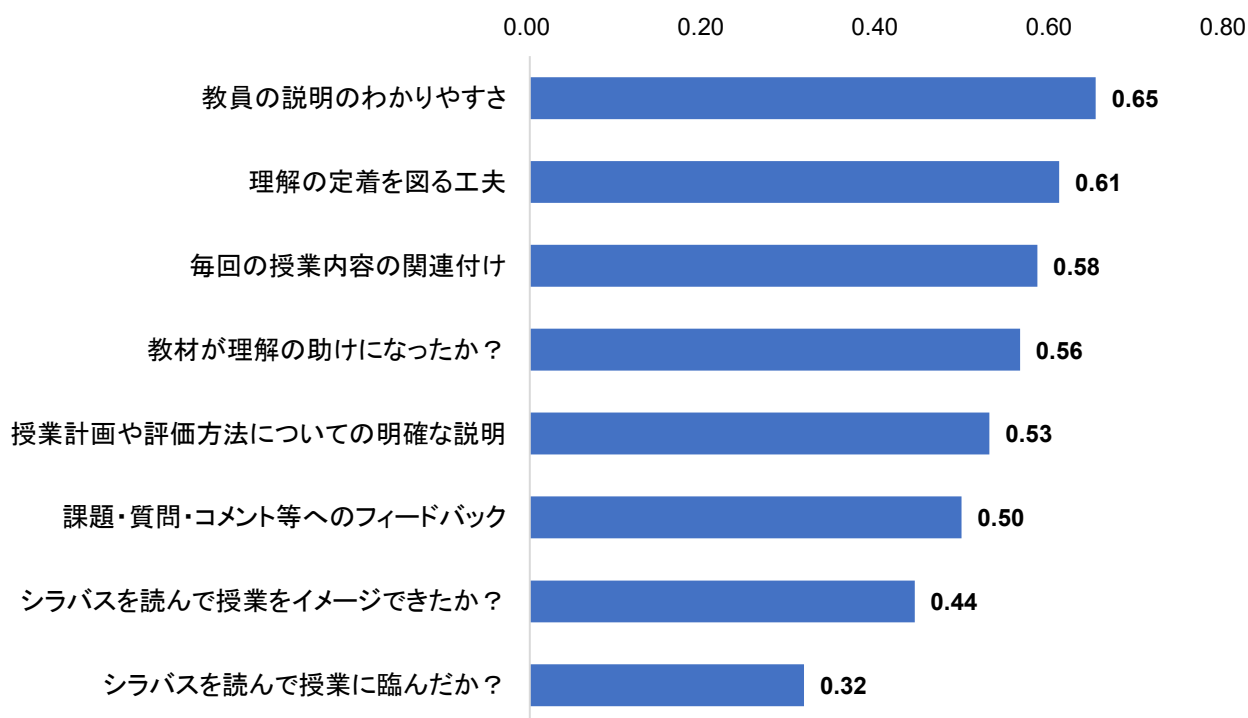
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【神道文化学部】

- 下の図は、神道文化学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

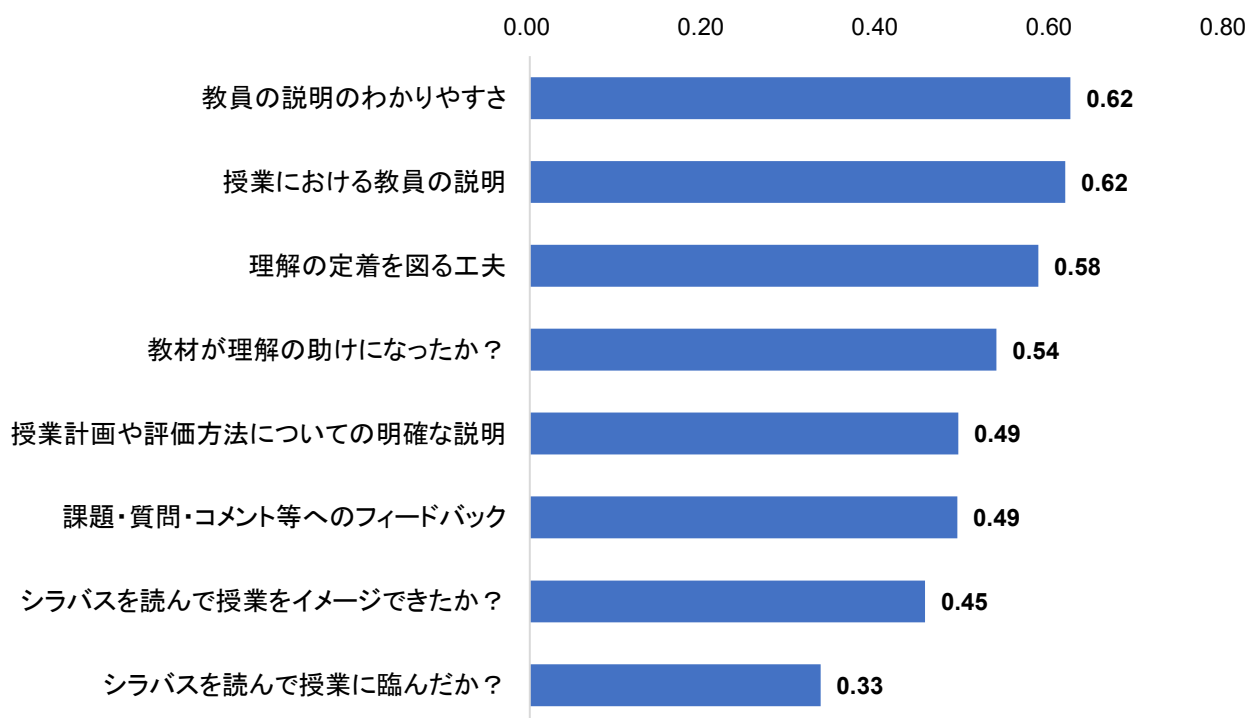
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【人間開発学部】

- 下の図は、人間開発学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「毎回の授業内容の関連付け」「教員の説明のわかりやすさ」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

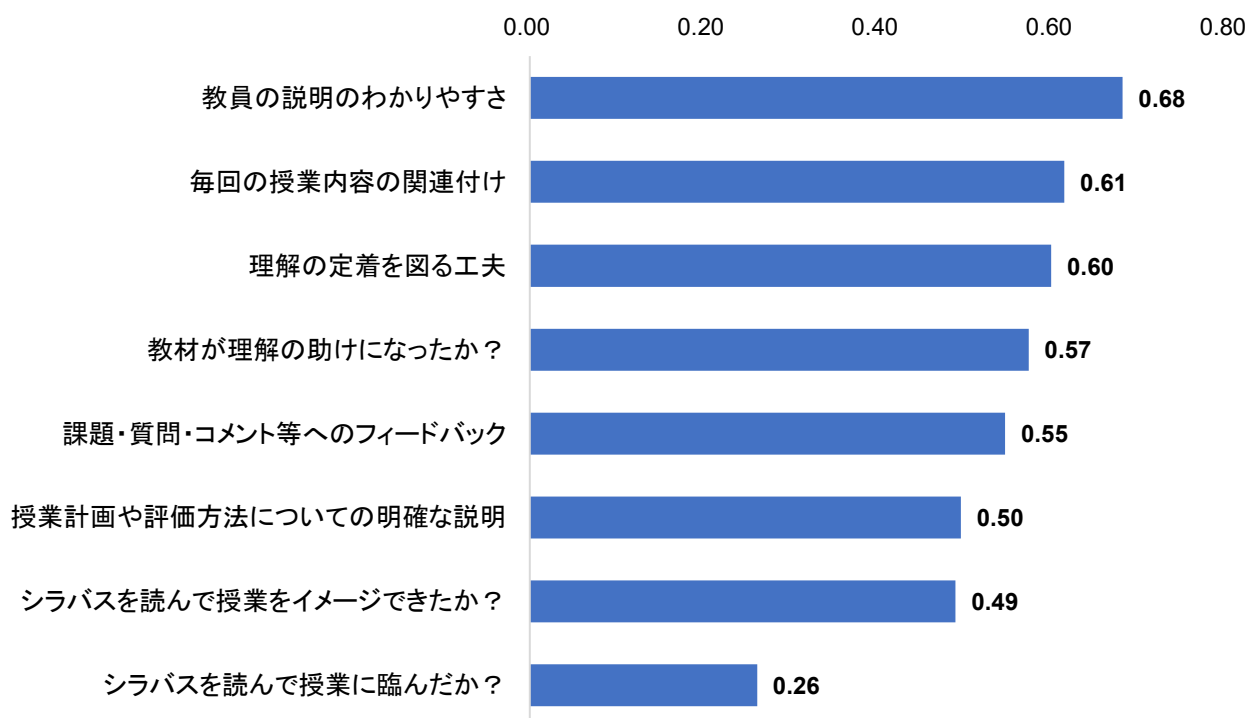
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【観光まちづくり学部】

- 下の図は、観光まちづくり学部の学生回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目(8要素)との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「毎回の授業内容の関連付け」「理解の定着を図る工夫」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

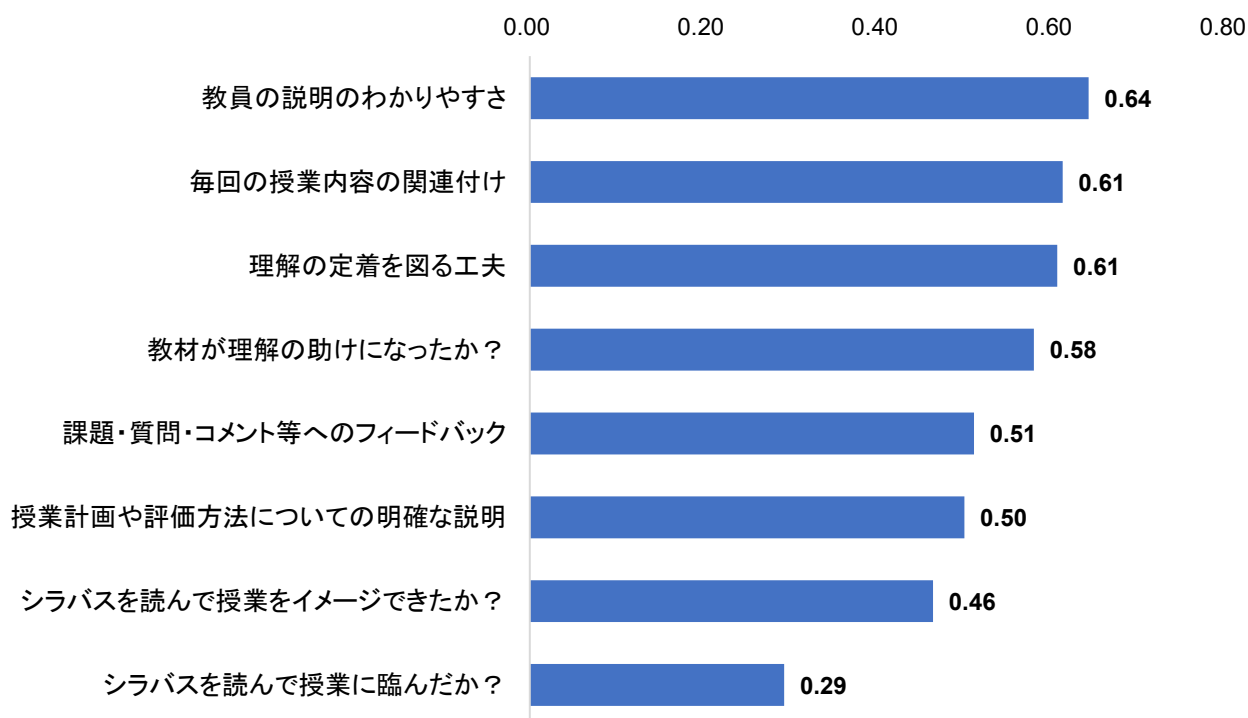
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【1年生】

- 下の図は、1年生の回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目（8要素）との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「毎回の授業内容の関連付け」「理解の定着を図る工夫」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

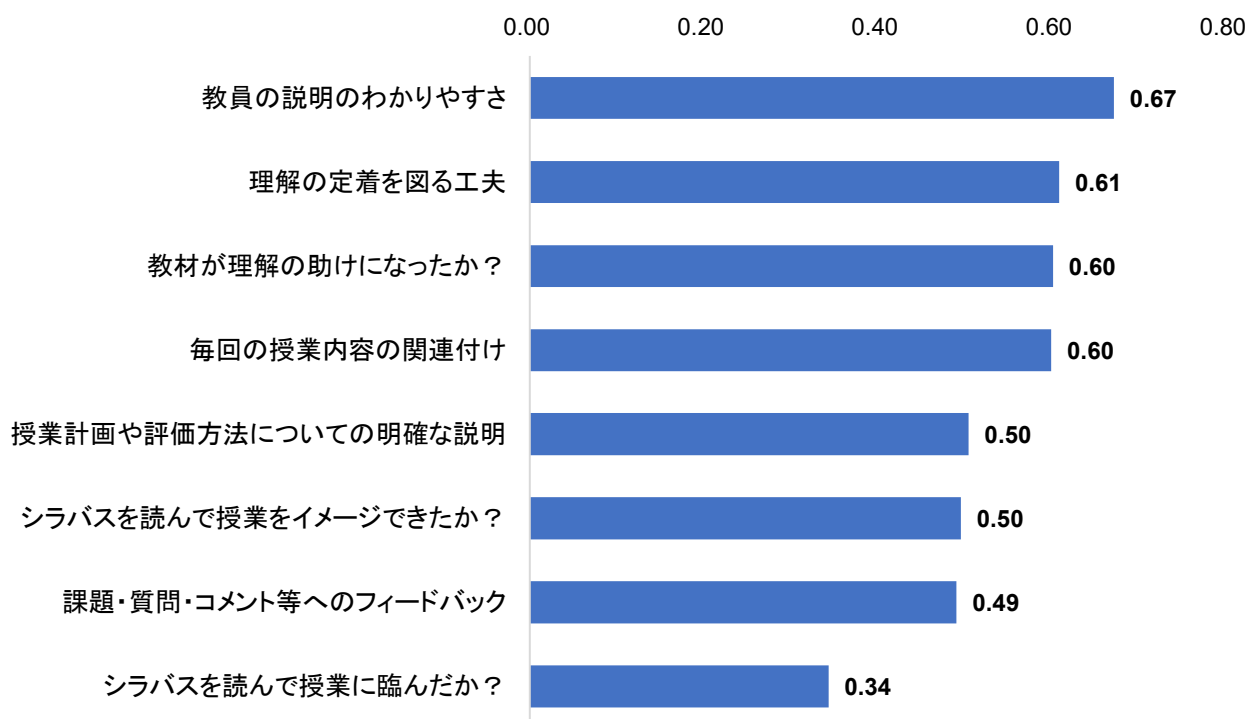
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【2年生】

- 下の図は、2年生の回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目（8要素）との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「教材が理解の助けになったか?」「毎回の授業内容の関連付け」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

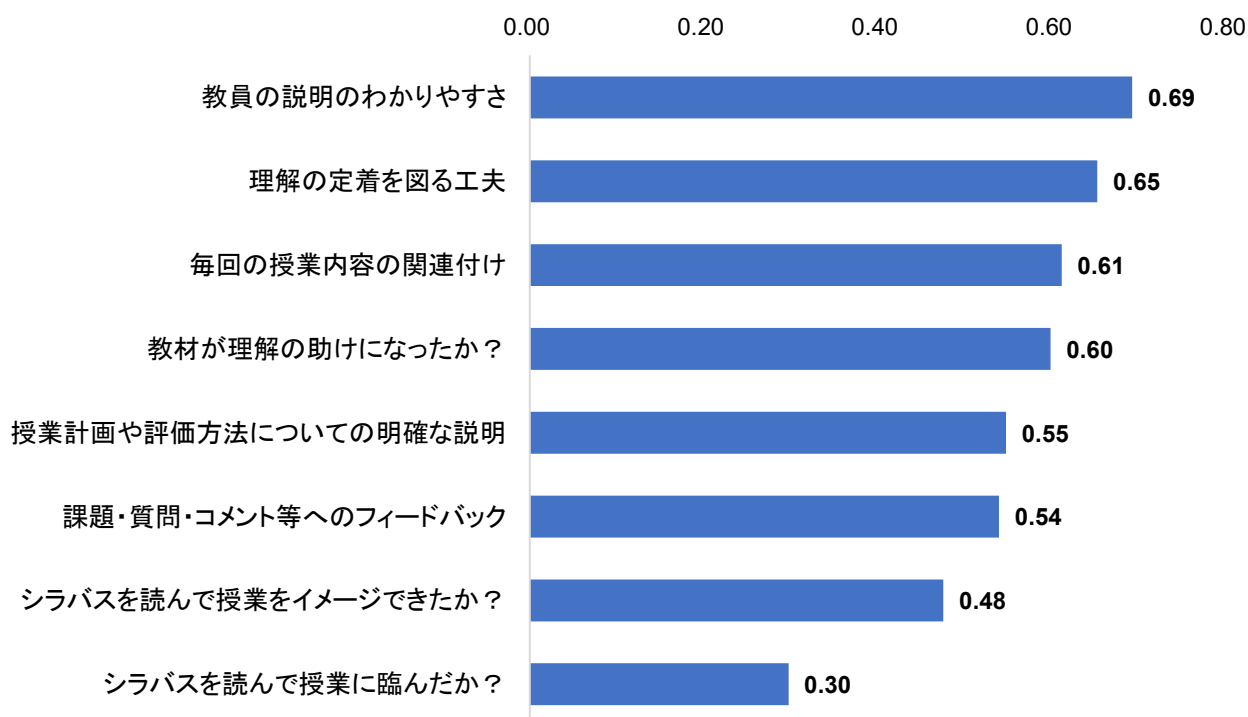
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【3年生】

- 下の図は、3年生の回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目（8要素）との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

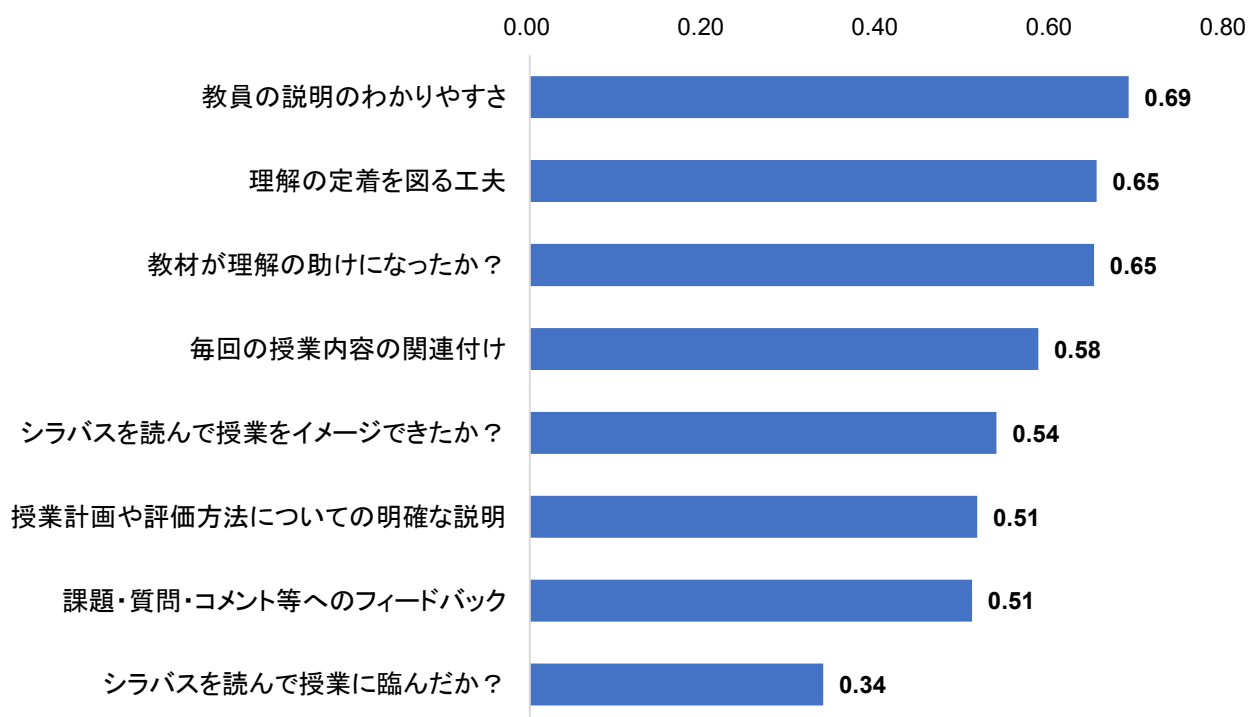
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



【4年生】

- 下の図は、4年生の回答について、Q11「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」と、授業評価に関する他の設問項目（8要素）との相関を示したものです。図中の数値は相関係数で、1に近いほど相関関係が強いことを表します。
- これによると、「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」と相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

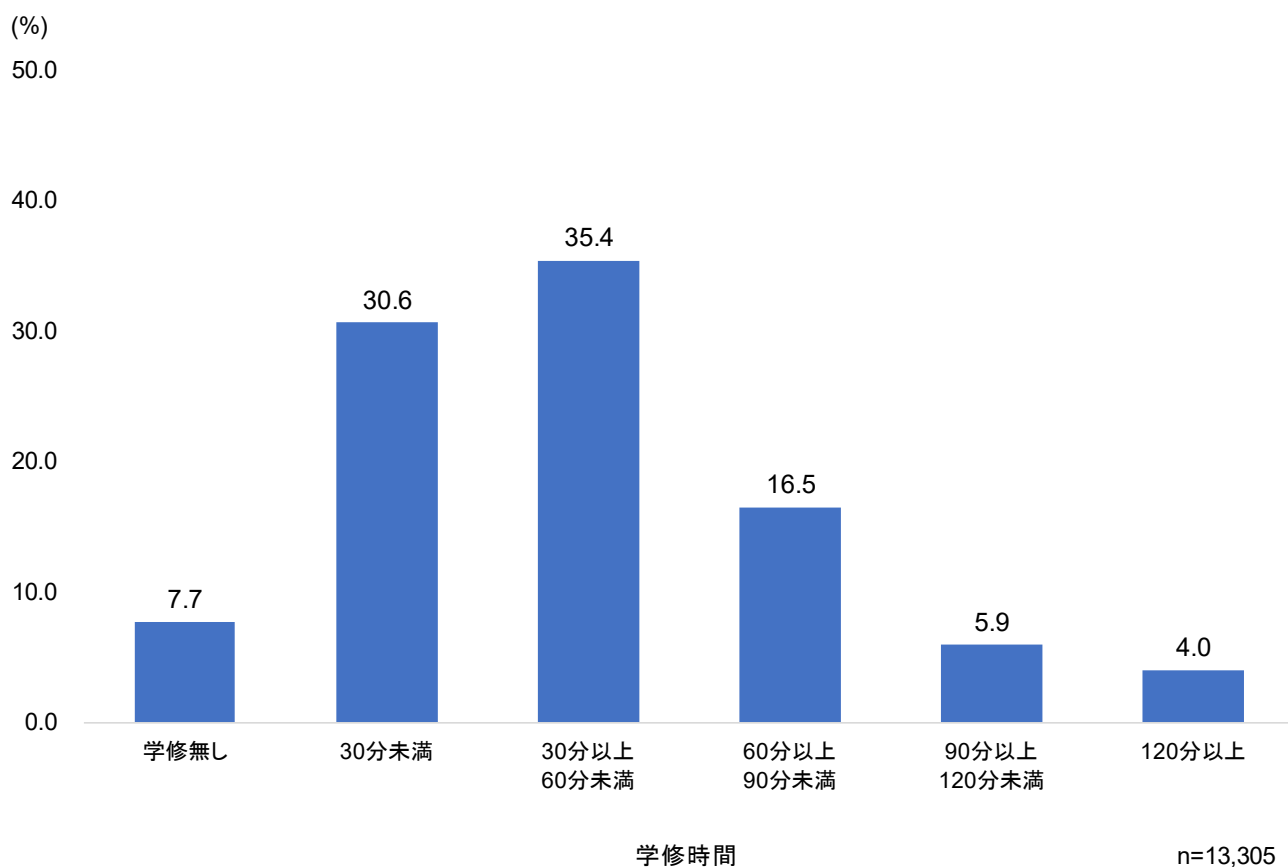
「授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まり」との相関



8. 考察(2)本学学士課程学生の授業外学修時間の現状(後期)

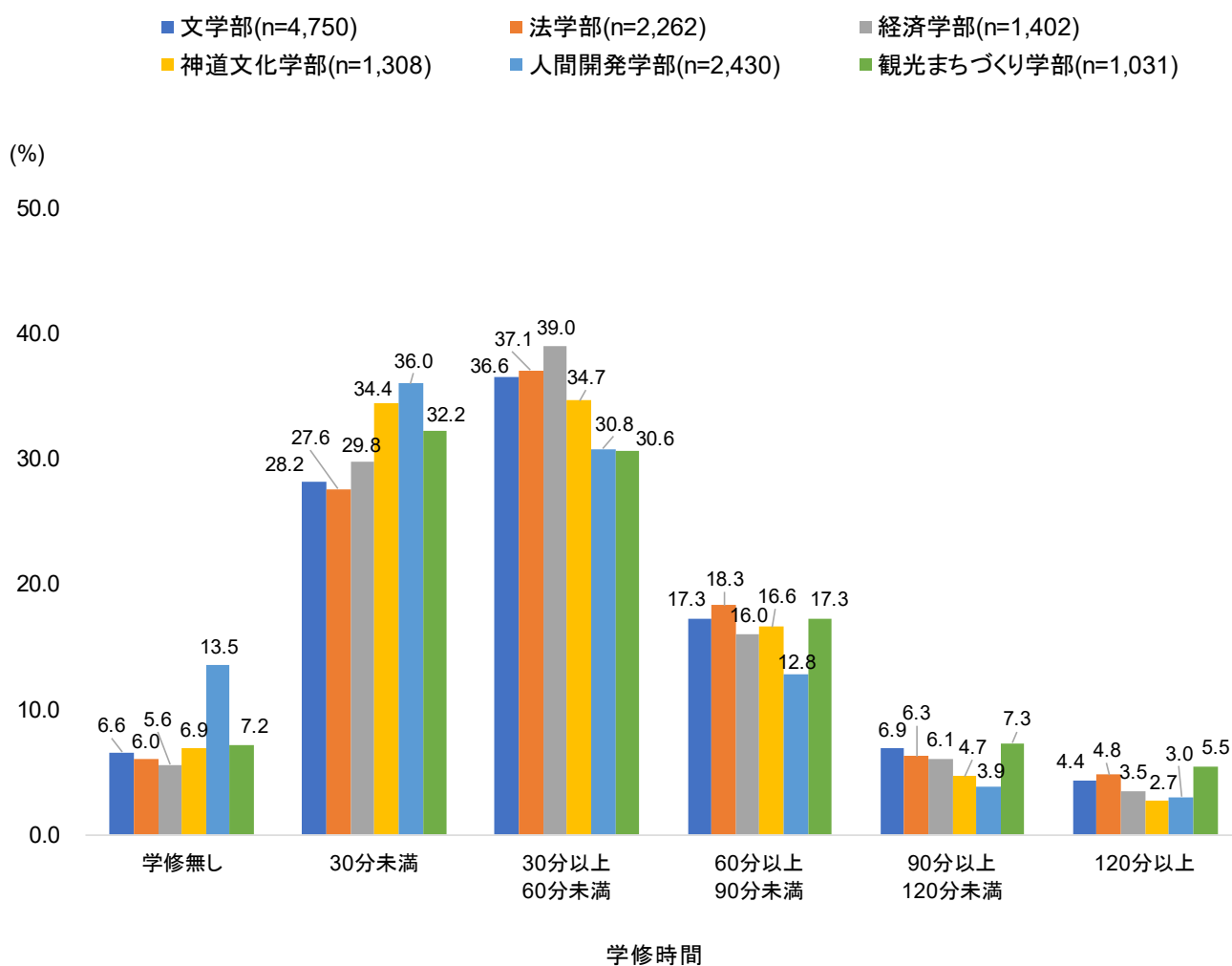
8-1 学士課程全体における学修時間の分布

- 下の図は、Q12「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」の回答結果の分布を示したものです。
- 学生課程全体の授業外学修時間としては、「学修無し」が7.7%、「学修あり(60分未満)」で66.0%、「学修あり(60分以上)」で26.4%となっています。



8-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部で区分して示したものです。
- 全ての学部において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、人間開発学部において「学修無し」の割合が13.5%と、他と比べて高くなっています。



8-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布

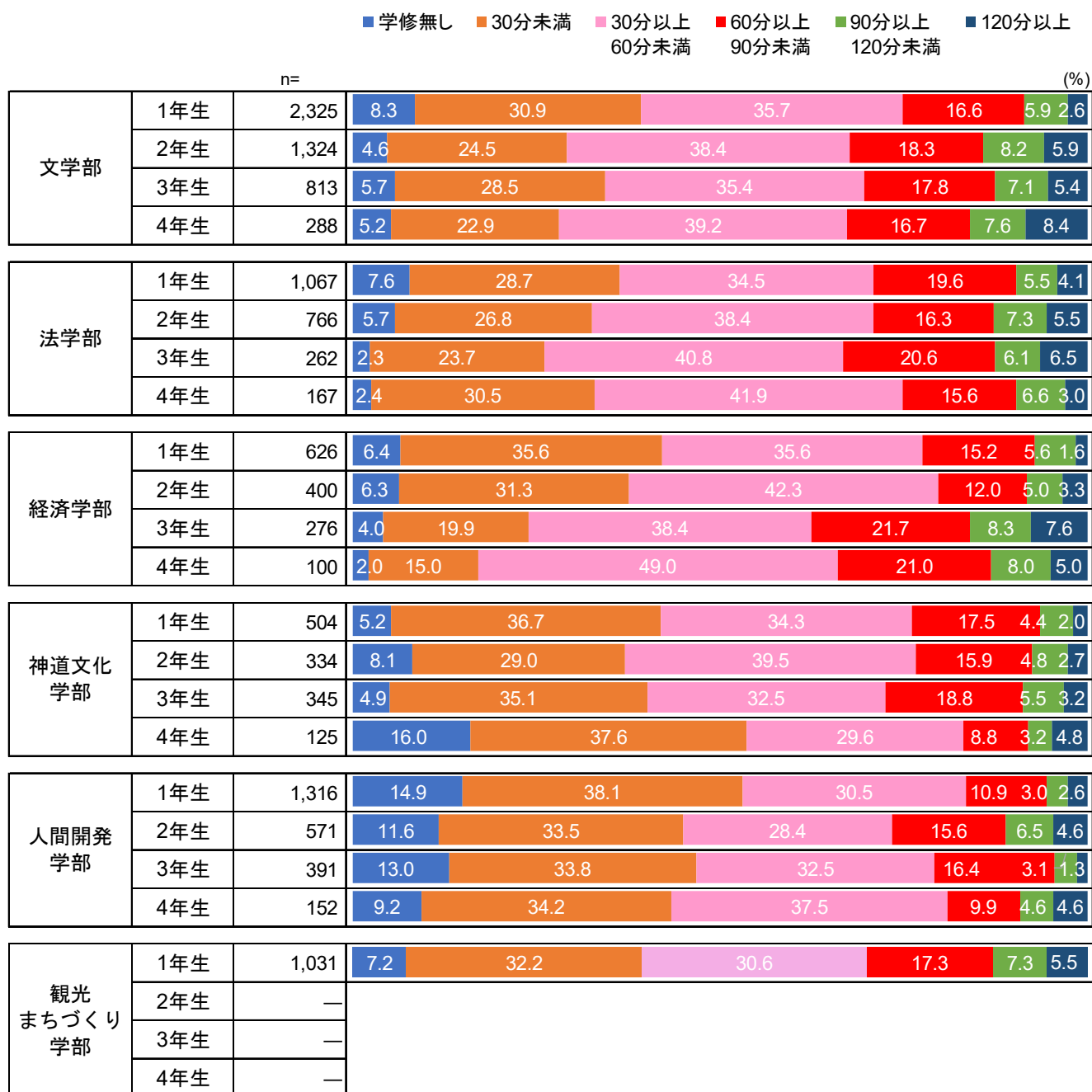
- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科・専攻において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。「学修あり(60分以上)」の割合が高いのは、法律専門職専攻(40.9%)、政治専攻(39.3%)など。一方、「学修無し」の割合が10%を超えているのは、中国文学科(13.2%)、初等教育学科(10.9%)、健康体育学科(22.3%)。

■ 学修無し ■ 30分未満 ■ 30分以上 60分未満 ■ 60分以上 90分未満 ■ 90分以上 120分未満 ■ 120分以上

	n=	(%)					
日本文学科	1,958	6.6	28.4	35.6	17.4	7.7	4.3
中国文学科	304	13.2	19.7	29.6	20.4	9.5	7.6
外国語文化学科	693	4.3	32.9	40.5	14.3	4.6	3.4
史学科	1,421	6.5	25.6	36.8	19.2	6.8	5.1
哲学科	374	6.1	35.6	39.3	12.3	4.8	1.9
法律専攻	1,806	6.4	29.2	37.7	17.6	5.9	3.1
法律専門職専攻	210	6.7	21.0	31.4	21.4	7.6	11.9
政治専攻	246	2.0	21.1	37.4	20.7	8.1	10.5
経済学科	729	4.1	30.3	39.0	16.7	6.9	3.0
経済ネットワーク学科	37	2.6	65.1	64.1	17.9	7.7	2.6
経営学科	634	7.4	30.8	37.5	15.0	5.2	4.1
神道文化学科	1,308	6.9	34.4	34.7	16.6	4.7	2.7
初等教育学科	945	10.9	33.0	32.6	15.7	4.4	3.4
健康体育学科	930	22.3	37.8	25.9	10.1	3.0	0.8
子ども支援学科	555	3.1	38.2	35.9	12.6	4.5	5.8
観光まちづくり学科	1,031	7.2	32.2	30.6	17.3	7.3	5.5

8-4 回答学生の所属学部×学年別に見た学修時間の分布

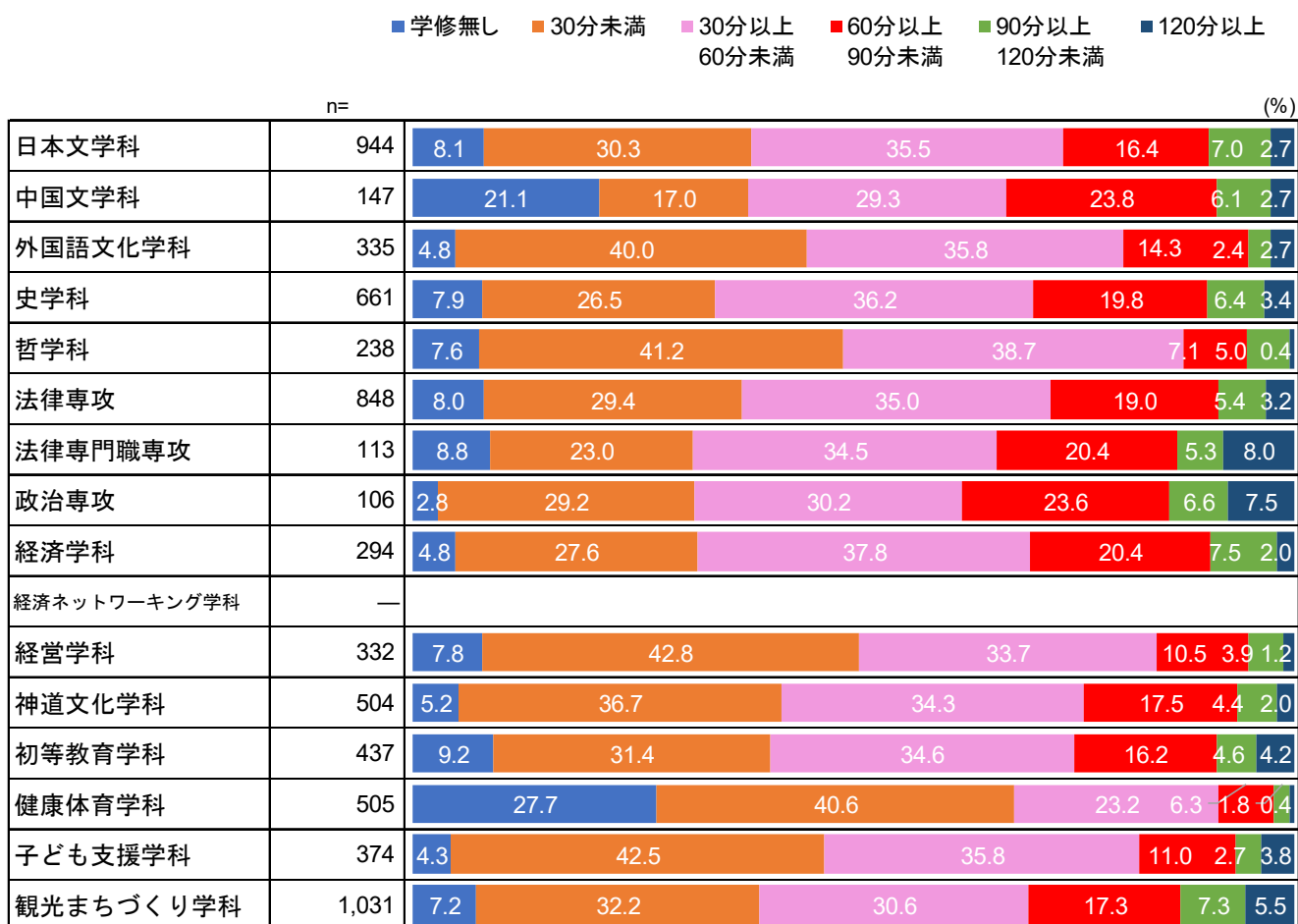
- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部×学年で区分して示したものです。
- 全ての所属学科×学年において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、人間開発学部の1～3年生、神道文化学部の4年生においては、「学修無し」の割合が10%を超えています。



8-5 回答学生の学年×所属学科・専攻別に見た学修時間の分布

【1年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(1年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、「学修無し」の割合は、中国文学科(21.1%)や健康体育学科(27.7%)が他と比べて高くなっています。



【2年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(2年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- ほとんどの所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、経営学科、初等教育学科、健康体育学科において「学修無し」の割合が10%以上となっています。

■ 学修無し ■ 30分未満 ■ 30分以上 60分未満 ■ 60分以上 90分未満 ■ 90分以上 120分未満 ■ 120分以上

	n=	(%)					
日本文学科	552	5.3	23.6	37.1	18.7	9.1	6.4
中国文学科	103	5.8	22.3	27.2	17.5	11.7	15.5
外国語文化学科	209	2.4	23.4	48.8	16.3	5.7	3.3
史学科	385	4.7	25.5	36.9	19.7	8.3	4.9
哲学科	75	4.0	33.3	42.7	14.7	4.0	1.3
法律専攻	628	6.2	30.4	37.6	15.4	6.8	3.5
法律専門職専攻	55	5.5	9.1	36.4	27.3	5.5	16.4
政治専攻	83	2.4	10.8	45.8	15.7	12.0	13.2
経済学科	242	2.9	39.7	43.0	6.6	4.5	3.3
経済ネットワーク学科	—						
経営学科	158	11.4	18.4	41.1	20.3	5.7	3.2
神道文化学科	334	8.1	29.0	39.5	15.9	4.8	2.7
初等教育学科	240	15.8	31.7	30.4	13.8	6.3	2.1
健康体育学科	226	12.4	38.9	27.4	15.5	4.0	1.8
子ども支援学科	105	0.0	25.7	25.7	20.0	12.4	16.2
観光まちづくり学科	—						

【3年生】

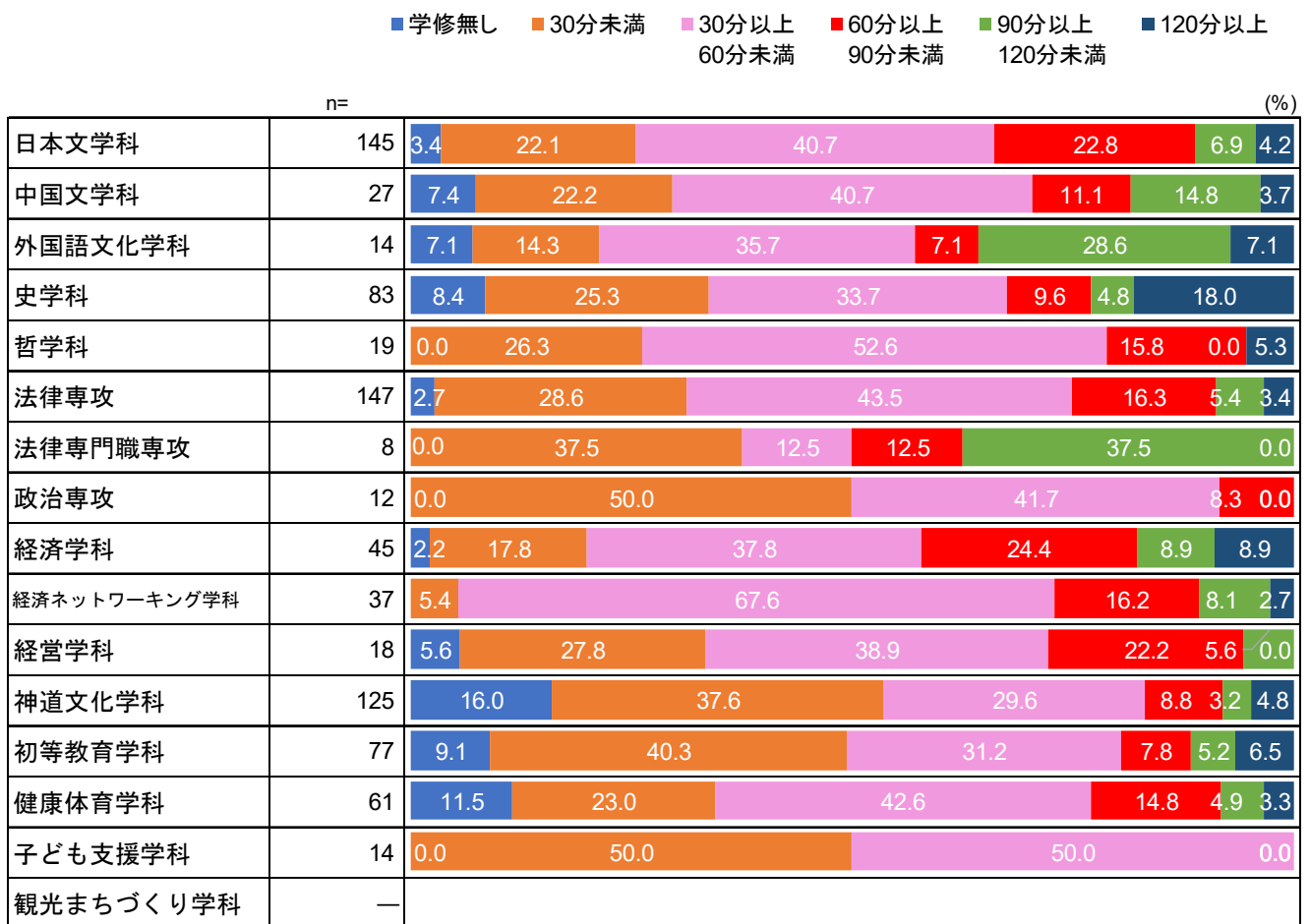
- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(3年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- ほとんどの所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、「学修無し」の割合は、健康体育学科(23.2%)が他と比べて高くなっています。

■学修無し ■30分未満 ■30分以上60分未満 ■60分以上90分未満 ■90分以上120分未満 ■120分以上

	n=	(%)					
日本文学科	317	6.0	34.1	31.2	15.8	7.9	5.0
中国文学科	27	3.7	22.2	29.6	22.2	14.8	7.4
外国語文化学科	135	5.9	31.9	40.0	11.9	5.9	4.4
史学科	292	5.5	24.0	39.0	19.9	6.2	5.5
哲学科	42	4.8	11.9	31.0	35.7	7.1	9.5
法律専攻	183	2.7	25.1	45.9	19.7	4.9	1.6
法律専門職専攻	34	2.9	29.4	17.6	17.6	11.8	20.6
政治専攻	45	13.3	37.8	26.7	6.7	15.6	
経済学科	148	5.4	24.3	35.1	23.6	8.8	2.7
経済ネットワーク学科	2	50.0	0.0	50.0	0.0		
経営学科	126	1.6	15.1	42.9	19.0	7.9	13.5
神道文化学科	345	4.9	35.1	32.5	18.8	5.5	3.2
初等教育学科	191	9.4	35.6	31.4	19.9	1.6	2.0
健康体育学科	138	23.2	32.6	26.1	13.0	5.1	0.0
子ども支援学科	62	1.6	30.6	50.0	12.9	3.2	1.6
観光まちづくり学科	—						

【4年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(4年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 回答数が30以上の全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、神道文化学科、健康体育学科で「学修無し」の割合が10%を超えています。



9. 自由記述設問の検討(後期)

9-2 代表的な肯定的意見

【Q15 この授業でとても良いと思ったこと】

- 下記は、Q15「この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「授業内容」「課題・テスト・評価方法」「授業環境・実施形態」「教員」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従って、ここで記載した意見をどのように参考にされるかは、個々の先生方の裁量となります。

【授業内容について】

学生に教えるだけでなく、学生自身に考えさせるような講義内容だった
他の人の考えが聞けると考えの幅が広がるので、グループディスカッションが多かったのは良かった
テキスト内の理解しにくい点を、具体例などを用いてかみ砕いて説明してくれ、非常に理解しやすかった
全部の授業がこうであったらいいと思うくらい資料が分かりやすかった

【課題・テスト・評価方法について】

課題の量が多すぎず、分かりやすい解説資料を添付してくれた
毎週の課題の提出期間が長くて助かった
しっかり取り組んでいる人をちゃんと評価してくれるのがよい
毎回の課題に対してどこが良かったか、悪かったかを示してくれるのでモチベーションが保つことができた

【授業環境・実施形態について】

授業動画を分割して配信しており、集中力を持続できた
Slidoというアプリを使った新しいタイプの授業形式がとても面白かった
オンデマンドと対面を選択できるので体調不良や感染症の影響がない
ライブ授業の後で授業動画を配信してくれたのが非常にありがたかった

【教員について】

学生一人ひとりの顔と名前をしっかりと覚えてくれたことが嬉しかった
クセが強く、好き嫌いがはっきりするであろうが、教員としては一番優れた方だと感じる
話が面白く、参加型なので楽しく授業を受けられた。同様の授業形態の授業があるならまた受りたい
先生の和やかな雰囲気がいいつも落ち着かせてくれて、授業に臨みやすい環境を作ってくれた

9-4 代表的な消極的意見

【Q16 この授業について改善したほうがよいと思ったこと】

- 下記は、Q16「この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「教員」「授業内容」「課題・テスト・評価方法」「授業環境・実施形態」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従って、ここで記載した意見をどのように参考にされるかは、個々の先生方の裁量となります。

【教員について】

高圧的な態度で、コミュニケーションが一方通行なため、学生との意思疎通ができていない
先生の個人的な理由で休講になった際、補講は対面ではなくオンデマンドで行ってほしい
レポートや課題に対するコメントが批判的すぎてやる気を失う
生徒を見下すような発言が多く、何度も馬鹿にされているように感じた

【授業内容について】

シラバスに載っている内容と実際に行う授業の内容が違うことが多かった
授業料を支払っているにもかかわらず、授業の質があまりにも低かった
講義時間がオーバーすることがよくあり、コメントペーパーに記入する時間がなかった
スライドを動かすのが早すぎるし、声も早口で何を言ってるのか聞き取れないことが多々あった

【課題・テスト・評価方法について】

先生の説明が分かりにくく、課題で何をすればいいかわからない時があった
授業内容に対してテストが難しすぎる
もっと明確に成績評価の方法を伝えてほしい
課題の提出先がアンケートだったり、課題提出欄だったりして混乱した

【授業環境・実施形態について】

教室内が騒がしいと感じることが多かった
画面上に教員が顔を出さないのはよくない
動画のURLについて、K-SMAPYの掲示のみだと不便なのでメールでも通知するようにしてほしい
Wi-Fi接続がしづらく、授業資料のダウンロードなどの作業に支障をきたすことが多々あった

10. 教員ベスト30(専任・兼任教員) ～到達目標達成度・総合満足度に基づく～

10-1 専任・兼任教員上位者 30 名 [50 音順]

【算出方法】

1) 教員が担当した授業科目のアンケート結果を1つに集計。

[例]

教員名	授業科目名	学期	回答数
國學 太郎	國學院の歴史	前期	21 件
國學 太郎	神道精神	前期	11 件
國學 太郎	日本の伝統	後期	38 件
こくびょん	文学概論	前期	14 件
こくびょん	日本文学入門	後期	6 件



教員名	回答数
國學 太郎	70 件
こくびょん	20 件

2) 上記の集計をしたのち、合計回答数が 50 人以上の教員を対象とする。

[例]

教員名	回答数	
國學 太郎	70 件	← 対象
こくびょん	20 件	← 対象外

3) 指標とする設問①②の回答結果を、それぞれ得点化する。

[指標とする設問]

- ①到達目標達成度 「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。」(設問番号:前期 Q17/期 Q17)
 ②総合満足度 「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。」(設問番号:前期 Q18/後期 Q18)

[得点化の方法]

(例)「國學 太郎」先生の場合(到達目標達成度・総合満足度ともに同様の計算式とする)

教員氏名:國學 太郎	配点	回答数	回答数×配点=点数
かなりそう思う	4 点	15 件	60 点
そう思う	3 点	30 件	90 点
あまりそう思わない	2 点	22 件	44 点
そう思わない	1 点	3 件	3 点
合計	-	70 件	197 点

得点: $197 \div 70 = 2.814$ 点

4) 指標とする設問①②の「得点」を合計した数値を「総合得点」とする。

[例]

教員名	①の得点	②の得点	①+②の合計(総合得点)
國學 太郎	2.8	3.1	5.9

5) 上記「総合得点」に基づき、上位 30 名の教員(教員ベスト 30)を選出。

※本「分析報告書」では順位掲載は行わず、上位 30 名を 50 音順に掲載しています。

10-2 「教員ベスト 30」一覧表（上位 30 名を 50 音順で掲載しています）

【専任教員】

教員氏名	所 属	総合得点
甘利 航司	法学部	7.286
飯倉 義之	文学部	7.418
石井 研士	神道文化学部	7.277
伊藤 龍平	文学部	7.405
上野 誠	文学部	7.264
大矢 隆二	人間開発学部	7.366
金 今善	観光まちづくり学部	7.540
近藤 良彦	人間開発学部	7.394
齋藤 智哉	文学部	7.366
進藤 久乃	文学部	7.484
杉田 洋	人間開発学部	7.378
鈴木 聡子	神道文化学部	7.309
鈴木 みゆき	人間開発学部	7.275
高橋 信行	法学部	7.284
高屋 景一	文学部	7.294
多和田 真理子	文学部	7.295
辻 和洋	経済学部	7.410
富田 一誠	人間開発学部	7.297
野中 哲照	文学部	7.539
野村 ひかり	文学部	7.426
服部 比呂美	文学部	7.333
針谷 壮一	文学部	7.401
備前 嘉文	人間開発学部	7.483
平藤 喜久子	神道文化学部	7.293
藤澤 紫	文学部	7.451
藤嶋 亮	法学部	7.440
藤野 敬介	文学部	7.269
星野 広和	経済学部	7.313
矢部 健太郎	文学部	7.630
渡辺 啓太	人間開発学部	7.329

【兼任教員】

教員氏名	所 属	総合得点
安部 保海	兼任講師	7.482
井口 俊	兼任講師	7.210
伊澤 冬子	兼任講師	7.297
大塚 雄祐	兼任講師	7.418
加藤 澄恵	兼任講師	7.147
久保 哲也	兼任講師	7.803
暮井 真絵子	兼任講師	7.179
黒川 徳男	兼任講師	7.333
齋藤 史夫	兼任講師	7.175
坂本 薫	兼任講師	7.086
佐藤 孝祐	兼任講師	7.407
渋澤 寿一	兼任講師	7.416
島田 潔	兼任講師	7.368
駿河 昌樹	兼任講師	7.443
関口 博巨	兼任講師	7.294
高村 聰史	兼任講師	7.297
田中 章義	兼任講師	7.607
種稻 秀司	兼任講師	7.463
手島 純	兼任講師	7.483
土手 昭伸	兼任講師	7.074
中 大輔	兼任講師	7.138
長浜 尚史	兼任講師	7.703
バック ジョン	兼任講師	7.145
花田 弘介	兼任講師	7.403
福島 隆	兼任講師	7.443
増山 栄一エリック	兼任講師	7.471
三木 千絵	兼任講師	7.222
森田 聡	兼任講師	7.298
矢澤 憲一	兼任講師	7.167
吉原 裕一	兼任講師	7.203

11. 全体総括(まとめ)

これまで、令和4年度授業評価アンケートについて、設問別にいくつかの観点から集計と分析を試みました。この節では、「まとめ」としてこれまでの集計結果を簡潔に整理しておきたいと思います。

【2. 前期集計結果について】

- 各開講科目の所属別集計をみると、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」では、「対面のみ」の実施形態が、共通教育科目や人間開発学部(専門)で8割前後の一方、法学部(専門)や経済学部(専門)、教職・資格課程科目では6割未満となっています。Q3「シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか」では、学士課程全体で肯定回答(「強くそう思う」と「そう思う」の合計)の割合が92.4%、学部別では文学部(専門)や神道文化学部(専門)が95%以上と非常に高くなっています。Q4「教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか」およびQ5「教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか」では、いずれも全ての所属において肯定回答が9割を超える高い結果となっています。Q6「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」およびQ7「教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか」では、経済学部(専門)のみ肯定回答の割合が9割に届きませんでした。Q9「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」では、学士課程全体で「ちょうどよい」との回答が76.4%でした。

以上の通り、Q12の授業外学修時間と、Q15、Q16の自由記述を除く設問項目を中心に検討しました。全体的な傾向として、ほとんどの設問で肯定回答が9割を上回る所属が多く、授業到達目標達成度や満足度においても学士課程全体で肯定回答は9割を上回っています。なお、学士課程全体で肯定回答が9割に達しなかった項目は「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」のみとなっており、この点に注力する必要があると考えられます(2-1)。

【3. 考察(1)設問間のクロス表分析など(前期)】

ここでは、属性や設問項目間との関係性を検討するために、クロス集計や相関分析を行いました。

- 3-1-1では、授業形態ごとに授業到達目標達成度・満足度について検討しました。受講者が多い対面のみ、またはオンデマンドの場合、全ての学部、学年において、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。対面・遠隔それぞれの特長を活かした授業内容により、授業到達目標達成度や満足度が高くなると考えられます。
- 3-1-2では、課題の量の多さが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。提出物・課題の量が「ちょうどよい」と回答した場合は、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合は、授業到達目標達成度が80.7%、満足度が78.3%と低い結果となっています。このことから、提出物・課題等の分量が適切でないと、多すぎても少なすぎても授業到達目標達成度や満足度が下がると考えられます。
- 3-1-3では、予復習・課題にかけた時間の長さが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。その結果、120分未満で学修ありの場合には、9割以上が授業到達目標を達成したと認識、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方で、学修無し、あるいは120分以上の学修ありの場合は、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は8~9割となっています。このことから、課題の量の多さと同様、あまり負担にならない程度で予復習・課題にかけた時間が、学生の授業到達目標達成度や満足度につながると考えられます。

- 3-2-1では、シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできたかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などをイメージできた場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、シラバスを読んでも授業内容をイメージできなかった場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は6割程度となっています。このことから、授業の目的・内容・課題などをよくイメージできるシラバスを用意するかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に影響すると考えられます。
- 3-2-2では、教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員から授業計画・変更・評価方法について明確な説明がなされた場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、教員から明確な説明がなされなかった場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割前後となっています。このことから、教員が授業計画・変更・評価方法について明確に説明することが、学生の授業到達目標達成度や満足度につながると考えられます。
- 3-2-3では、教員が提供した教材が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が提供した教材が理解の助けになった場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、教材が理解の助けにならなかった場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割前後となっています。このことから、教員が提供する教材が理解の助けになるかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に影響すると考えられます。
- 3-2-4では、授業における教員の説明が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。授業における教員の説明がわかりやすい場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、教員の説明がわかりにくかった場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割前後となっています。このことから、授業における教員の説明がわかりやすいかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に影響すると考えられます。
- 3-2-5では、理解の定着を図る工夫が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。学生の理解の定着を図る工夫を行った場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、理解の定着を図る工夫を行っていない場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割前後となっています。このことから、教員が課題や小テスト等によって学生の理解の定着を図る工夫を行うことが、学生の授業到達目標達成度や満足度につながると考えられます。
- 3-2-6では、教員の積極的な対話・フィードバックが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行った場合、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、そうでない場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は7割未満となっています。このことから、教員が学生との対話や、課題・質問・コメントへのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行うかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に影響すると考えられます。

- 3-2-7では、毎回の授業内容の関連付けが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が毎回の授業を関連付けて授業を進めた場合、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、授業内容の関連付けがない場合は、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が4割程度となっています。このことから、毎回の授業内容を関連付けて授業を進めるかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に影響すると考えられます。

- 3-3では、授業や関連するテーマへの関心の高まりと、授業評価に関する他の諸要素との相関分析を行いました。全ての学部、学年において、授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まりと相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

以上の通り、授業の実施形態に対する学生の反応について検証を行いました。まず、課題の量の適切さ、あるいは学生が予復習にかけける時間などが授業評価につながるということがわかりました。

また、学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証では、説明のわかりやすさ、理解の定着を図る工夫、積極的な対話・フィードバック等が学生の達成度や満足度に影響を与えていることが明らかになりました。

さらに、授業や関連するテーマへの学生の関心を高めるためには、説明のわかりやすさ、理解の定着を図る工夫、毎回の授業内容の関連付け、理解の助けになる教材、等の評価が重要であることがわかりました。

これらの結果をもとに、教員の授業運営を検討する必要があると思われます。

【4. 考察(2)本学学士課程学生の授業外学修時間の現状(前期)】

ここでは、授業外学修時間の現状分析を行いました。

- 本学全体の令和4年度前期授業科目における授業1回あたりの授業外学修時間は、学修無しが8.8%、60分未満の学修ありが65.8%、60分以上の学修ありが25.4%という結果になっています。
- 所属学部別(4-2)、学科・専攻別(4-3)に分布をみると、ほぼ全ての集計区分で60分未満の学修ありと回答した割合がもっとも多い結果となっています。法律専門職専攻や政治専攻では、60分以上の学修ありが3割を超えている一方、健康体育学科では、学修無しの割合が2割近くとなっています。
- 学年×所属学部(4-4)、学年×所属学科・専攻別(4-5)に分布をみると、中国文学科と健康体育学科の1年生において学修無しの割合が25%を超えており、他と比べて学修時間が少ない傾向となっています。

【5. 自由記述設問の検討(前期)】

ここでは、学生のコメント分析を行いました。

- 5-1では、Q15「この授業について、とても良いと思ったことを書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等を分析しています。「授業が非常にわかりやすく、質問にも丁寧に対応してくれた」「先生の説明が丁寧で、レジュメもわかりやすい」「グループワークを通して、他の人の意見を聞くことができ面白かった」といった意見が多く挙げられています。

- 5-2では、Q15「この授業について、とても良いと思ったことを書いてください」について、代表的な意見として、「授業内容」「課題・テスト・評価方法」「授業環境・実施形態」「教員」の4項目について挙げています。授業内容については、「毎回の授業の目標ややるべきことが明確で取り組みやすかった」「この授業でしか学べないことがあったため、とても専門的な知識を身につけることができた」など、授業目標の明確さや専門性の高さなどが満足度につながっていることがわかります。課題・テスト・評価方法については、「毎回課題があることにより定着度が上がった」「フィードバックが丁寧で、授業の内容がより理解できた」など、適切な課題量・頻度や提出後のフィードバックによって理解の定着が進む点を評価する意見が多く見られました。授業環境・実施形態については、「オンラインであってもきちんと顔出しをしていたので、孤独を感じず授業に参加できた」「席を入れ替えることで色々な人と話せて楽しかった」など、対面・遠隔どちらもコミュニケーション面で配慮された授業に対する好意的な意見がありました。教員については「学生思いの先生で、安心して意欲的に毎回の授業を受けられた」などの意見が挙げられています。

- 5-3では、Q16「この授業について、改善したほうが良いと思ったことを書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等を分析しています。「説明が少し早く、内容を理解するのが難しかった」「授業で使用したスライドを配布してほしかった」「一回の課題の量が多く、提出期限まで短い」「オンデマンドの授業時間が長い」「評価方法がシラバスと違う」などの意見が多く挙げられています。

- 5-4では、Q16「この授業について、改善したほうが良いと思ったことを書いてください」について、代表的な意見として「教員」「授業内容」「課題・テスト・評価方法」「授業環境・実施形態」の4項目について挙げています。教員については、「生徒の関心や理解に寄り添わない独りよがりな授業」「教員という強い立場を利用して高圧的な態度で授業に臨み、多くの生徒がやる気を失っていた」など、一方的な授業の進め方や威圧的な態度などについて不快感を示す意見がありました。授業内容については、「配布されたレジュメをただ読んでいだけという授業で、対面である意味が全く見いだせなかった」「資料の情報量が多すぎるため、もう少し簡潔にまとめてほしい」等の意見がありました。課題・テスト・評価方法については、「アンケートの回答を示してほしい。答え合わせをしたい」「シラバスには平常点 100%で評価すると書かれていたのに、試験が実施された」などの要望・不満が述べられました。授業環境・実施形態については、「マイクの音量が小さくて聞き取りにくかった」「大教室の授業は人数が多すぎる。先生と生徒の距離が近い 50 人ほどのクラスが楽しい」などの意見がみられました。

以上の結果について、より詳細な検討が必要ではありますが、授業内容や教員に関するコメントからは、学生とのコミュニケーションや資料作成の工夫などにおいて、肯定的・消極的いずれの意見にも授業運営の参考にできる点が多いと思われます。

【6. 後期集計結果について】

- 各開講科目の所属別集計をみると、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」では、「対面のみ」の実施形態が、観光まちづくり学部(専門)で8割を超えている一方、法学部(専門)や経済学部(専門)では5割未満でした。Q3「シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか」では、全ての所属において肯定回答(「強くそう思う」と「そう思う」の合計)の割合が9割を超えています。Q4「教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか」でも、全ての所属で肯定割合が9割を超え、特に神道文化学部(専門)では97.2%と非常に高くなっています。Q5「教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか」およびQ6「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」では、経済学部(専門)のみ肯定回答が9割に届かず、他の学部に比べ低くなっています。Q7「教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか」では、学士課程全体の肯定回答の割合が91.0%である一方、経済学部(専門)と観光まちづくり学部(専門)の肯定割合は9割に届きませんでした。Q9「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」では、学士課程全体で「ちょうどよい」の肯定回答が78.4%でした。

以上の通り、Q12の授業外学修時間と、Q15、Q16の自由記述を除く設問項目を中心に検討しました。全体的な傾向として、ほとんどの設問で肯定回答が9割を上回る所属が多く、授業到達目標達成度や満足度においても学士課程全体の肯定回答は9割を上回っています。なお、学士課程全体で消極的な回答(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計)が10%以上だった項目は「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」であり、この点に注力する必要があると考えられます(6-1)。

【7. 考察(1)設問間のクロス表分析など(後期)】

ここでは、属性や設問項目間との関係性を検討するために、クロス集計や相関分析を行いました。

- 7-1-1では、授業形態ごとに授業到達目標達成度・満足度について検討しました。受講者が多い対面のみ、またはオンデマンドの場合、全ての学部、学年において、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修してよかったと回答しています。授業の臨場感や遠隔授業のメリットを活かした授業内容により、授業到達目標達成度や満足度が高くなると考えられます。

- 7-1-2では、課題の量の多さが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。提出物・課題の量が「ちょうどよい」と回答した場合は、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合は、授業到達目標達成度が80.4%、満足度が76.1%と低い結果となっています。このことから、提出物・課題等の分量は、多すぎても少なすぎても授業到達目標達成度や満足度が下がると考えられます。

- 7-1-3では、予復習・課題にかけた時間の長さが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。その結果、120分未満で学修ありの場合には、9割以上が授業到達目標を達成したと認識、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、学修無し、あるいは120分以上の学修ありの場合は、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は9割未満となっています。このことから、あまり負担にならない程度の学修時間が、学生の授業到達目標達成度や満足度につながると考えられます。

○ 7-2-1では、シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などについてイメージできたかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。シラバスを読んで、授業の目的・内容・課題などをイメージできた場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、シラバスを読んでも授業内容をイメージできなかった場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は6割未満となっています。このことから、シラバスによって授業の目的・内容・課題などをよくイメージできるかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に影響すると考えられます。

○ 7-2-2では、教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員から授業計画・変更・評価方法について明確な説明がなされた場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、教員から明確な説明がなされなかった場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割前後となっています。このことから、教員が授業計画・変更・評価方法について明確に説明することが、学生の授業到達目標達成度や満足度につながると考えられます。

○ 7-2-3では、教員が提供した教材が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が提供した教材が理解の助けになった場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、教材が理解の助けにならなかった場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割未満となっています。このことから、教員が提供する教材が理解の助けになるかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に影響すると考えられます。

○ 7-2-4では、授業における教員の説明が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。授業における教員の説明がわかりやすい場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、教員の説明がわかりにくかった場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割以下となっています。このことから、授業における教員の説明がわかりやすいかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に影響すると考えられます。

○ 7-2-5では、理解の定着を図る工夫が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。学生の理解の定着を図る工夫を行った場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、理解の定着を図る工夫を行っていない場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割前後となっています。このことから、教員が課題や小テスト等によって学生の理解の定着を図る工夫を行うことが、学生の授業到達目標達成度や満足度につながると考えられます。

○ 7-2-6では、教員の積極的な対話・フィードバックが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行った場合、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、教員からのフィードバックが積極的になされていない場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は6～7割となっています。このことから、教員が学生との対話や、課題・質問・コメントへのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行うかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に影響すると考えられます。

○ 7-2-7では、毎回の授業内容の関連付けが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が毎回の授業を関連付けて授業を進めた場合、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、そうでない場合は、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が4割未満となっています。このことから、毎回の授業内容を関連付けて授業を進めるかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に影響すると考えられます。

○ 7-3では、授業や関連するテーマへの関心の高まりと、授業評価に関する他の諸要素との相関分析を行いました。全ての学部、学年において、授業のテーマ・関連するテーマへの関心の高まりと相関が高いのは「教員の説明のわかりやすさ」「理解の定着を図る工夫」「毎回の授業内容の関連付け」「教材が理解の助けになったか？」等となっており、これらの項目の評価を高めることが、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにつながると考えられます。

以上の通り、授業の実施形態に対する学生の反応について検証を行いました。まず、課題の量の適切さや学生が予復習にかける時間などが授業評価につながるということがわかりました。

次に、学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証では、説明のわかりやすさ、理解の定着を図る工夫、積極的な対話・フィードバック等が学生の達成度や満足度に影響を与えていることが示されました。

さらに、授業や関連するテーマへの学生の関心を高めるためには、説明のわかりやすさ、理解の定着を図る工夫、毎回の授業内容の関連付け、理解の助けになる教材、等の評価が重要であることがわかりました。

これらの結果をもとに、教員の授業運営を検討する必要があると思われれます。

【8. 考察(2)本学学士課程学生の授業外学修時間の現状(後期)】

ここでは、授業外学修時間の現状分析を行いました。

○ 本学の令和4年度後期授業科目における授業1回あたりの授業外学修時間は、学修無しが7.7%、60分未満の学修ありが66.0%、60分以上の学修ありが26.4%という結果になっています。

○ 所属学部別(8-2)、学科・専攻別(8-3)に分布をみると、ほぼ全ての集計区分で60分未満の学修ありと回答した割合がもっとも多い結果となっています。法律専門職専攻や政治専攻では、60分以上の学修ありがおよそ4割である一方、健康体育学科では、学修無しの割合が2割を超えています。

○ 学年×所属学部(8-4)、学年×所属学科・専攻別(8-5)に分布をみると、中国文学科の1年生、健康体育学科の1年生および3年生において学修無しの割合が25%を超えており、他に比べて学修時間が少ない傾向となっています。

【9. 自由記述設問の検討(後期)】

ここでは、学生のコメント分析を行いました。

○ 9-1では、Q15「この授業について、とても良いと思ったことを書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等を分析しています。「説明が分かりやすく講義が楽しく、さらに興味を持つことができた」「課題を提出すると毎回、先生のフィードバックがあり学習意欲が高まった」といった意見が多く挙げられました。さらに「感謝を伝えずにはいられません。1年間、学びの多い授業でした。ありがとうございました」とのような感謝の声もありました。

○ 9-2では、Q15「この授業について、とても良いと思ったことを書いてください」について、代表的な意見として、「授業内容」「課題・テスト・評価方法」「授業環境・実施形態」「教員」の4項目について挙げています。授業内容については、「テキスト内の理解しにくい点を、具体例などを用いてかみ砕いて説明してくれ、非常に理解しやすかった」「全部の授業がこうであつたらいいと思うくらい資料が分かりやすかった」など、授業中の説明や資料の分かりやすさなどが満足度につながっていることがわかります。課題・テスト・評価方法については、「課題の量が多すぎず、分かりやすい解説資料を添付してくれた」「しっかり取り組んでいる人をちゃんと評価してくれるのがよい」など、課題の取り組みやすさや評価の公平性などに関する意見が多く見られました。授業環境・実施形態については、「授業動画を分割して配信しており、集中力を持続できた」「ライブ授業の後で授業動画を配信してくれたのが非常にありがたかった」「Slido というアプリを使った新しいタイプの授業形式がとても面白かった」など、動画配信に関する気配りや新しいツールの導入に対する好意的な意見がありました。教員については「先生の和やかな雰囲気がいずれも落ち着かせてくれて、授業に臨みやすい環境を作ってくれた」などの意見が挙げられています。

○ 9-3では、Q16「この授業について、改善したほうが良いと思ったことを書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等を分析しています。「授業内容について先生からもう少し詳しい説明を聞きたかった」「履修後に途中で評価方法が変わるのはよくない」「スライドが読みにくい／分かりにくい」「教室の Wi-Fi 環境を改善してほしい」などの意見が多く挙げられています。

○ 9-4では、Q16「この授業について、改善したほうが良いと思ったことを書いてください」について、代表的な意見として「教員」「授業内容」「課題・テスト・評価方法」「授業環境・実施形態」の4項目について挙げています。教員については、「レポートや課題に対するコメントが批判的すぎてやる気を失う」「生徒を見下すような発言が多く、何度も馬鹿にされているように感じた」など、学習意欲を低下させるような教員の態度・コメントなどに関する意見がみられました。授業内容については、「シラバスに載っている内容と実際に行う授業の内容が違うことが多かった」「スライドを動かすのが早すぎるし、声も早口で何を言ってるのか聞き取れないことが多々あった」等の意見がありました。課題・テスト・評価方法については、「先生の説明が分かりにくく、課題で何をすればいいかわからない時があった」「授業内容に対してテストが難しすぎる」「もっと明確に成績評価の方法を伝えてほしい」などの不満・要望が述べられました。授業環境・実施形態については、「教室内が騒がしいと感じることが多かった」「画面上に教員が顔を出さないのはよくない」「Wi-Fi 接続がしづらく、授業資料のダウンロードなどの作業に支障をきたすことが多々あった」などの意見がありました。

今年度、前期および後期を通して、Q13.到達目標の達成度、及び Q14.授業の満足度については、全体として9割以上の学生が肯定的な評価をしています。学部別では、文学部、神道文化学部、人間開発学部の満足度が、他学部よりやや高い傾向を示しました。また、課題の量の適切さや予復習・課題に対する学生の学修時間等は、目標達成度や授業満足度に影響を与えていることが示唆されました。さらに、教員の説明のわかりやすさや理解の定着を図る工夫、理解の助けとなる教材などは、目標達成度や授業満足度だけでなく、授業のテーマや関連するテーマに対する学生の関心を高めることにもつながることが示されました。これらの結果をもとに、授業運営の方法やカリキュラム内容に関して検討が必要と思われます。

最後に、令和4年度学生による授業評価アンケートへご協力いただいた先生方、そして真摯に回答して下さった学生の皆さんに心より御礼申し上げます。

以上

資料編

前期集計データ

● 学年

学年	回答件数	%
1年生	11,716	55.4%
2年生	4,666	22.1%
3年生	3,491	16.5%
4年生	1,180	5.6%
その他	90	0.4%
合計	21,143	100.0%

● 所属学部

学部	回答件数	%
文学部	7,312	34.6%
法学部	3,506	16.6%
経済学部	3,094	14.6%
神道文化学部	1,791	8.5%
人間開発学部	4,101	19.4%
観光まちづくり学部	1,249	5.9%
その他	90	0.4%
合計	21,143	100.0%

● 所属学科

学年	回答件数	%
日本文学科	2,931	13.9%
中国文学科	369	1.7%
外国語文化学科	989	4.7%
史学科	2,426	11.5%
哲学科	597	2.8%
法律専攻	2,846	13.5%
法律専門職専攻	316	1.5%
政治専攻	344	1.6%
経済学科	1,471	7.0%
経済ネットワーク学科	92	0.4%
経営学科	1,531	7.2%
神道文化学科	1,791	8.5%
初等教育学科	1,466	6.9%
健康体育学科	1,791	8.5%
子ども支援学科	844	4.0%
観光まちづくり学科	1,249	5.9%
その他	90	0.4%
合計	21,143	100.0%

● 単純集計表

【学士課程教育全体】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	69.5%	2.1%	4.4%	2.0%	22.1%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		62.4%	29.4%	5.9%	2.3%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		57.1%	35.3%	5.7%	1.9%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		71.0%	24.0%	3.8%	1.2%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		69.4%	23.9%	4.7%	2.0%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		64.2%	27.3%	5.9%	2.6%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		61.9%	29.7%	6.2%	2.1%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		61.2%	27.2%	8.6%	3.0%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		6.4%	14.4%	76.4%	2.2%	0.7%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		68.7%	27.6%	2.8%	0.9%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		60.1%	31.0%	6.0%	2.9%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		8.8%	29.7%	36.1%	15.8%	5.6%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		2.0%	0.8%	0.4%	0.8%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		43.3%	47.6%	7.0%	2.0%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		66.2%	26.2%	4.7%	2.9%	

【文学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	67.8%	1.1%	3.2%	1.9%	26.0%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		70.2%	23.7%	3.9%	2.2%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		62.5%	31.7%	4.3%	1.5%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		73.6%	21.7%	3.6%	1.1%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		71.0%	22.8%	4.6%	1.6%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		66.9%	25.3%	5.7%	2.1%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		63.6%	28.4%	6.4%	1.7%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		63.4%	25.0%	8.6%	3.0%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		4.7%	11.2%	80.9%	2.5%	0.6%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		71.3%	25.6%	2.4%	0.6%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		62.3%	29.3%	5.6%	2.7%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		8.4%	27.7%	36.2%	16.9%	6.2%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		2.4%	0.9%	0.5%	0.9%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		41.9%	48.9%	7.2%	2.0%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		68.1%	24.6%	4.7%	2.7%	

【法学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	65.4%	1.9%	1.1%	3.5%	28.2%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		66.2%	26.8%	4.1%	2.9%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		57.9%	34.2%	4.8%	3.1%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		70.3%	23.9%	4.0%	1.8%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		67.5%	24.1%	5.2%	3.2%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		60.5%	30.0%	5.9%	3.6%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		59.4%	31.9%	5.6%	3.2%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		57.5%	29.2%	9.1%	4.2%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		8.1%	14.7%	73.6%	2.3%	1.4%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		67.5%	27.8%	3.1%	1.6%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		57.4%	31.9%	6.6%	4.2%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		5.1%	25.7%	39.2%	17.8%	6.7%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		2.4%	1.1%	0.9%	1.0%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		43.6%	45.7%	7.9%	2.8%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		63.3%	27.4%	5.0%	4.2%	

【経済学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	71.1%	5.5%	1.2%	0.7%	21.6%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		51.7%	35.8%	9.5%	2.9%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		49.0%	40.9%	7.9%	2.2%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		67.5%	26.7%	4.4%	1.3%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		65.2%	27.1%	5.2%	2.5%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		59.7%	30.4%	6.4%	3.4%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		58.1%	32.6%	6.4%	2.8%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		56.6%	30.6%	9.2%	3.6%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		8.0%	20.3%	68.4%	2.5%	0.8%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		62.2%	33.1%	3.5%	1.2%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		53.7%	35.8%	6.8%	3.7%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		8.6%	37.4%	35.1%	13.0%	4.0%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		1.0%	0.3%	0.2%	0.4%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		41.3%	47.9%	8.4%	2.3%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		60.7%	30.0%	5.7%	3.7%	

【神道文化学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	62.5%	0.7%	11.1%	2.2%	23.6%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		65.8%	28.8%	3.9%	1.6%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		58.3%	36.7%	4.3%	0.7%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		74.2%	23.4%	2.1%	0.3%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		74.1%	20.8%	4.0%	1.1%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		74.1%	20.8%	4.0%	1.1%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		65.2%	27.8%	5.6%	1.4%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		62.5%	26.6%	8.8%	2.1%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		5.9%	10.0%	81.3%	2.2%	0.6%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		73.4%	24.6%	1.7%	0.3%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		63.1%	30.3%	4.8%	1.8%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		5.7%	31.7%	38.1%	16.3%	5.0%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		2.0%	0.5%	0.2%	0.4%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		42.8%	47.8%	7.8%	1.6%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		67.7%	26.7%	3.6%	2.0%	

【人間開発学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	75.9%	2.4%	9.1%	2.2%	10.4%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		49.9%	38.8%	9.4%	2.0%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		51.3%	38.9%	8.2%	1.6%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		67.8%	27.1%	4.0%	1.1%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		68.9%	24.3%	4.7%	2.0%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		64.7%	27.3%	5.7%	2.4%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		62.3%	29.0%	6.5%	2.2%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		62.4%	27.4%	7.8%	2.4%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		7.4%	18.8%	72.0%	1.2%	0.5%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		66.7%	29.7%	2.8%	0.9%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		62.3%	30.7%	5.4%	1.6%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		14.3%	30.0%	32.9%	14.5%	4.7%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		1.6%	0.7%	0.4%	1.0%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		46.9%	47.5%	4.6%	1.0%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		68.7%	25.4%	3.8%	2.0%	

【観光まちづくり学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	74.8%	0.8%	2.7%	0.6%	21.1%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		66.1%	26.0%	5.8%	2.1%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		59.6%	32.3%	5.6%	2.5%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		72.8%	21.5%	4.5%	1.3%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		68.9%	25.0%	4.4%	1.7%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		62.3%	27.5%	8.2%	1.9%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		61.6%	29.9%	6.9%	1.5%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		63.8%	26.2%	7.6%	2.4%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		4.4%	9.8%	83.7%	2.0%	0.1%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		70.9%	23.8%	4.3%	1.0%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		57.5%	30.0%	8.5%	4.0%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		8.3%	29.3%	34.5%	15.4%	7.9%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		3.3%	0.8%	0.2%	0.3%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		46.1%	43.4%	7.0%	3.4%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		64.1%	25.7%	6.8%	3.4%	

後期集計データ

● 学年

学年	回答件数	%
1年生	6,869	51.6%
2年生	3,395	25.5%
3年生	2,087	15.7%
4年生	832	6.3%
その他	122	0.9%
合計	13,305	100.0%

● 所属学部

学部	回答件数	%
文学部	4,750	35.7%
法学部	2,262	17.0%
経済学部	1,402	10.5%
神道文化学部	1,308	9.8%
人間開発学部	2,430	18.3%
観光まちづくり学部	1,031	7.7%
その他	122	0.9%
合計	13,305	100.0%

● 所属学科

学年	回答件数	%
日本文学科	1,958	14.7%
中国文学科	304	2.3%
外国語文化学科	693	5.2%
史学科	1,421	10.7%
哲学科	374	2.8%
法律専攻	1,806	13.6%
法律専門職専攻	210	1.6%
政治専攻	246	1.8%
経済学科	729	5.5%
経済ネットワーク学科	39	0.3%
経営学科	634	4.8%
神道文化学科	1,308	9.8%
初等教育学科	945	7.1%
健康体育学科	930	7.0%
子ども支援学科	555	4.2%
観光まちづくり学科	1,031	7.7%
その他	122	0.9%
合計	13,305	100.0%

● 単純集計表

【学士課程教育全体】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	65.7%	1.8%	3.8%	1.8%	26.9%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		65.9%	27.3%	4.5%	2.2%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		60.1%	33.1%	5.0%	1.8%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		71.7%	22.9%	3.9%	1.5%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		69.8%	23.3%	4.6%	2.3%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		65.4%	26.0%	6.0%	2.7%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		63.3%	27.7%	6.5%	2.4%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		61.2%	26.6%	8.9%	3.3%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		5.4%	13.2%	78.4%	2.2%	0.7%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		70.0%	26.1%	3.0%	0.9%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		62.1%	29.2%	5.9%	2.8%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		7.7%	30.6%	35.4%	16.5%	5.9%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		2.0%	0.8%	0.4%	0.7%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		44.1%	47.0%	7.0%	1.9%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		67.3%	24.9%	5.0%	2.9%	

【文学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	67.1%	0.4%	2.3%	1.6%	28.6%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		72.0%	22.7%	3.5%	1.9%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		66.0%	29.1%	3.7%	1.2%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		75.2%	20.4%	3.2%	1.1%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		72.6%	22.3%	3.4%	1.7%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		68.4%	25.3%	4.4%	1.9%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		66.1%	26.6%	5.6%	1.7%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		64.7%	24.8%	8.0%	2.5%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		4.6%	11.7%	80.6%	2.6%	0.5%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		73.4%	23.3%	2.5%	0.8%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		64.6%	27.8%	5.1%	2.5%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		6.6%	28.2%	36.6%	17.3%	6.9%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		2.1%	1.0%	0.5%	0.8%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		44.9%	46.8%	6.5%	1.8%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		70.3%	22.7%	4.6%	2.4%	

【法学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	55.5%	0.1%	1.0%	2.9%	40.5%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		69.7%	26.2%	2.7%	1.4%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		61.3%	32.7%	4.5%	1.6%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		69.8%	24.5%	3.7%	1.9%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		68.4%	24.4%	4.7%	2.4%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		63.1%	27.9%	6.3%	2.7%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		61.5%	29.0%	6.7%	2.7%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		56.7%	29.8%	9.5%	3.9%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		5.3%	14.0%	76.7%	3.0%	1.1%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		68.3%	28.3%	2.6%	0.8%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		60.5%	30.5%	6.1%	2.9%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		6.0%	27.6%	37.1%	18.3%	6.3%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		2.3%	0.9%	0.6%	1.0%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		45.8%	45.7%	6.9%	1.6%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		65.3%	26.6%	5.0%	3.0%	

【経済学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	50.1%	5.3%	1.6%	3.3%	39.7%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		59.1%	34.5%	4.6%	1.9%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		50.3%	39.7%	7.6%	2.5%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		63.2%	27.8%	5.9%	3.1%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		59.6%	28.7%	6.5%	5.2%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		56.3%	29.5%	7.9%	6.3%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		54.4%	32.0%	8.6%	5.1%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		51.3%	31.0%	11.4%	6.3%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		6.1%	16.0%	74.8%	2.3%	0.9%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		59.7%	33.6%	4.4%	2.4%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		50.4%	35.5%	9.2%	4.9%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		5.6%	29.8%	39.0%	16.0%	6.1%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		2.2%	0.6%	0.4%	0.3%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		38.4%	49.1%	8.8%	3.8%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		55.3%	31.9%	6.9%	5.9%	

【神道文化学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
		63.1%	0.4%	7.3%	2.1%	27.1%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		69.6%	24.2%	4.7%	1.5%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		64.1%	29.9%	4.0%	2.0%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		77.8%	18.8%	2.4%	0.9%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		77.2%	17.0%	4.1%	1.7%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		70.0%	22.2%	5.6%	2.1%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		68.9%	23.1%	5.9%	2.1%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		66.7%	21.7%	8.9%	2.8%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		6.7%	8.1%	81.5%	2.5%	1.1%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		78.4%	18.5%	2.6%	0.5%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		70.0%	22.2%	5.0%	2.8%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		6.9%	34.4%	34.7%	16.6%	4.7%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		1.2%	0.9%	0.0%	0.6%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		45.5%	43.6%	9.2%	1.8%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		74.3%	18.8%	4.6%	2.3%	

【人間開発学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	75.8%	5.3%	9.1%	0.7%	9.1%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		49.4%	37.6%	8.8%	4.2%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		50.2%	40.1%	6.9%	2.8%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		67.2%	26.8%	4.8%	1.2%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		66.7%	25.3%	5.9%	2.1%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		63.5%	26.6%	7.7%	2.2%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		61.8%	29.3%	7.1%	1.9%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		60.4%	27.5%	9.1%	3.0%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		5.8%	16.2%	76.9%	0.9%	0.2%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		65.7%	29.4%	4.1%	0.8%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		60.4%	32.1%	5.6%	1.9%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		13.5%	36.0%	30.8%	12.8%	3.9%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		1.5%	0.5%	0.2%	0.7%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		42.7%	50.0%	6.1%	1.2%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		65.5%	27.2%	5.1%	2.1%	

【観光まちづくり学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面授業	ハイフレックス授業	ブレンド授業	ライブ授業	オンデマンド授業
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	79.4%	0.5%	2.3%	0.2%	17.6%
Q2	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		70.5%	23.0%	3.6%	2.9%	
Q3	シラバスを読んで、この授業の目的・内容・課題などについてイメージをもつことができましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		59.2%	33.2%	5.3%	2.3%	
Q4	教員は、学生に、授業計画や評価方法について(変更等も含めて)明確な説明を行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		71.9%	21.7%	4.4%	2.0%	
Q5	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		69.9%	22.6%	5.0%	2.4%	
Q6	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		64.8%	24.8%	6.7%	3.7%	
Q7	教員は、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		61.1%	28.0%	7.5%	3.4%	
Q8	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		64.0%	24.9%	8.1%	2.9%	
Q9	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		6.2%	14.6%	76.4%	1.9%	0.8%
Q10	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		69.3%	26.6%	3.2%	1.0%	
Q11	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		59.9%	28.8%	7.8%	3.5%	
Q12	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	30分未満	30～ 60分未満	60～ 90分未満	90～ 120分未満
		7.2%	32.2%	30.6%	17.3%	7.3%
		120～ 150分未満	150～ 180分未満	180～ 240分未満	240分以上	
		3.3%	0.9%	0.4%	0.9%	
Q13	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		43.0%	47.7%	7.1%	2.2%	
Q14	あなたは、この授業を受講して良かったと思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
		65.7%	25.8%	4.9%	3.6%	

令和4（2022）年度 教育開発センター委員

[委員長]	教育開発センター長	石川 則夫
[委員]	副センター長	
	・教育開発推進機構事務課次長	原田 佳昌
	教務部長	山田 佳弘
	文学部准教授	スピアーズ・スコット
	法学部教授	藤嶋 亮
	経済学部助教	辻 和洋
	神道文化学部助教	柏木 亨介
	人間開発学部教授	坂本 正徳
	観光まちづくり学部教授	十代田 朗
	教育開発推進機構准教授	新井 大祐
	教育開発推進機構准教授	小濱 歩
	教学事務部長	仙北谷 穂高
[幹事]	教育開発推進機構事務課書記	富永 萌香

* 職名は当時のもの

令和4（2022）年度
学生による授業評価アンケート分析報告書

編集・発行 國學院大學 教育開発推進機構
教育開発センター

分析・執筆 株式会社 グループワークス

刊行年月日 令和5年12月1日